

国立国語研究所共同研究報告 13-02

首都圏の言語の実態と動向に関する研究 成果報告書

『首都圏言語研究の視野』別冊

首都圏の言語に関する研究文献目録（稿）

吉田 雅子・三樹 陽介 編

2014（平成 26）年 2 月

国立国語研究所共同研究報告 13-02

首都圏の言語の実態と動向に関する研究 成果報告書

『首都圏言語研究の視野』別冊

首都圏の言語に関する研究文献目録（稿）

吉田 雅子・三樹 陽介 編

2014（平成 26）年 2 月

まえがき

本書は、国立国語研究所萌芽・発掘型共同研究プロジェクト「首都圏の言語の実態と動向に関する研究」（略称：「首都圏言語」，研究期間：2010年11月～2013年10月（取りまとめ期間：～2014年3月），プロジェクトリーダー：三井はるみ）で作成した，「首都圏の言語に関する研究文献目録」（2013年11月現在版）の冊子版である。本目録のデータは，プロジェクト成果公開 Web サイト（http://www.ninjal.ac.jp/shutoken/3_summary.html）で公開しており，検索を行うことができる。目録の作成には，三樹陽介（2011年6月～2013年6月）と吉田雅子（2013年6月～）があたった。

「首都圏言語」プロジェクトの目的は，「首都圏の言語に関する総合的研究の基盤を築くこと」であった。「首都圏の言語」という，言語圏としての範囲が必ずしも明確でなく，かつ，多様な方法論によるアプローチが重ねられてきた対象について，これまでの研究の蓄積を踏まえ，今後の研究の展開を図るために，「研究資産の再構築」の一環として取り組んだのが，本目録である。関連する文献を，極力網羅的に採録することを方針とした。

本目録のような，分野を限定した研究文献目録は，研究文献を探すために利用できることはもちろんだが，全体を概観することで，当該研究分野の研究動向を把握するのに役立つことができる。三樹陽介（2014）「「首都圏の言語に関する研究文献目録」から見る研究動向」（国立国語研究所共同研究報告 13-02『首都圏の言語の実態と動向に関する研究成果報告書 首都圏言語研究の視野』，国立国語研究所，pp.315-323）はそのような試みの一つである。

現時点では，主として既存の文献データベースから情報を得ており，また，記載事項も書誌情報に限られている。今後は，採録文献をさらに拡充するとともに，文献の内容を精査し，研究情報の付与を進めていく予定である。その作業はすでに，JSPS 科研費挑戦的萌芽研究「新規言語事象の集中的多角的調査による首都圏の言語状況の把握」（課題番号：25580103，研究期間：2013～2014年度，研究代表者：三井はるみ）で開始している。

今後の首都圏言語研究の一助となることを期して，本冊子を刊行する。

2014年1月28日

三井 はるみ

「首都圏の言語に関する研究文献目録」 補充版

吉田 雅子

0-1. 概要

本稿は、首都圏の言語研究に関する研究基盤の一つとして作成された研究文献目録である。

対象地域を、東京都（島嶼部を除く）、千葉県、埼玉県、神奈川県 の 1 都 3 県とし、これらの地域の方言研究のほか、共通語・標準語論、現代日本語研究、江戸語・明治期東京語、放送用語、若者語、新語、都市言語等を主たるテーマとした文献も、「首都圏」という地域や、この地域の言語（特に話しことば）、言語状況に関心を持って行われている研究であれば、比較的広く採用した。また、地名、地誌などの関連分野の文献も含む。この採用範囲の広がり自体が、首都圏の言語の多面的性格を反映するものと言える。

作成にあたっては、主に以下の資料・データベースを用いた。

(1) 日本方言研究会編(2005)『20 世紀方言研究のあゆみ』国書刊行会

(2) 国立国語研究所「日本語研究・日本語教育文献データベース」

<http://www.ninjal.ac.jp/database/bunken/>

(3) 国立国語研究所「国立国語研究所蔵書目録データベース」

<http://libgw.ninjal.ac.jp/mylimedio/search/search-input.do>

(4) 日本方言研究会「日本方言研究会方言書目データベース」

<http://dialectology-jp.org/wiki.cgi?page=%A5%C7%A1%BC%A5%BF%A5%D9%A1%BC%A5%B9%2F%CA%FD%B8%C0%B4%D8%B7%B8%BD%F1%CC%DC>

現時点で、2012 年 12 月までの文献を取り上げている。

この文献目録の作成は、三樹陽介と吉田雅子が担当した。三樹は 2013 年 6 月まで作業を担当し、その目録データは当プロジェクトのホームページにおいてデータ検索できる形にしている¹。三樹の担当した作業をその後吉田が引き継ぎ、校正とデータ補充を加えて本稿とした。本稿は先述の当プロジェクトホームページの文献目録データと連動している。

採録範囲、採録文献、書誌情報とも、今後さらに改良、改訂していく予定である。

0-2. 凡例

・ 目録の内容は、次の 3 種別である。

1. 図書：1 冊の図書として刊行されたもの。
2. 論文：主として雑誌や文献、新聞等に収載されたもの。
3. 予稿集：主として学会の研究発表会用予稿集に収載されたもの。

¹ http://www.ninjal.ac.jp/shutoken/3_summary.html

「1. 図書」の凡例

- ・ 1 文献につき、以下の 5 つの情報を示す。
 - ①番号……文献に付した番号。当プロジェクトホームページの「研究文献目録 データ検索」と同番号としている。
 - ②題名……文献の題名。データによってはシリーズ名、レーベル名などを示した。また謄写印刷のもの、稿本・自筆本は、その旨を示した。
 - ③編著者……データによっては「編、監修」等の情報を示した。
 - ④発行地：発行所……データによっては発行地の後に（ ）で補助情報を示した。
 - ⑤発行年月……西暦年月で示した。文献によっては西暦年だけを示した。
- ・ ①②を 1 行目として同行で示し、③から改行して示した。③④⑤の情報ごとに全角コンマ(,)で区切りを示した。
- ・ 原則として発行年月順に番号を付し、古いものから順に掲載した。

「2. 論文」と「3. 予稿集」の凡例

- ・ 1 文献につき、以下の 6 つの情報を示す。
 - ①番号……文献に付した番号。当プロジェクトホームページの「研究文献目録 データ検索」と同番号としている。
 - ②題名……論文の題名。
 - ③編著者……データによっては「司会、聞き手」等の情報を示した。
 - ④所収誌・書名……論文の所収誌書名。
 - ⑤発行地：発行所……データによっては発行地の後に（ ）で補助情報を示した。
 - ⑥発行年月……西暦年月で示した。文献によっては西暦年だけを示した。
- ・ ①②を 1 行目として同行で示し、③から改行して示した。③④⑤⑥の情報ごとに全角コンマ(,)で区切りを示した。
- ・ 原則として発行年月順に番号を付し、古いものから順に掲載した。

1. 図書

- ▼1. 諸国方言 物類称呼（物類称呼諸国方言 須原屋本の序）五卷
越谷吾山，江都：江都書林大阪屋，1775 年
- ▼2. 日本大辞書
山田美妙編，東京：日本大辞書発行所，1893 年
- ▼3. 日本大辞書，第 4 改版
山田美妙編，東京：明法堂，1894 年 2 月
- ▼4. 日本大辞書，全 第 7 改版
山田美妙編，東京：明法堂，1896 年 5 月
- ▼5. 埼玉県北足立郡内方言訛語調査表
北足立小学校，埼玉：北足立小学校，1903 年 1 月
- ▼6. 音韻調査報告書
国語調査委員会，東京：日本書籍，1905 年 3 月
- ▼7. 口語法調査報告書
国語調査委員会編纂，東京：国定教科書共同販売所，1906 年 12 月
- ▼8. 東京弁
今村明恒，東京：日本のローマ字社，1915 年 7 月
- ▼9. 東京語辞典
小峰大羽，東京：新潮社，1917 年 10 月
- ▼10. 金子村地方訛語・俗語・小児語及調査研究 [謄写印刷]
萩原幸八，埼玉：萩原幸八，1930 年
- ▼11. 埼玉県川越市近傍言語集稿 [謄写印刷]
杉山正世，埼玉：杉山正世，1930 年 8 月
- ▼12. 埼玉県入間郡宗岡村言語集 [謄写印刷]
池之内好次郎，埼玉：池之内好次郎，1930 年 9 月
- ▼13. 物類称呼（日本古典全集）
正宗敦夫，東京：日本古典全集刊行会，1931 年
- ▼14. 相州漁夫の言葉（方言資料第一輯）[謄写印刷]
木下虎一郎，盛岡：一言社，1931 年 1 月
- ▼15. 国語發音アクセント辞典
神保格・常深千里編，東京：厚生閣，1932 年 11 月
- ▼16. 千葉県郡別方言集（民俗研究特輯号）[謄写印刷]
本山桂川，東京：日本民俗研究会，1932 年
- ▼17. 入間の方言考 高麗川 [謄写印刷]
鈴木良文，埼玉：鈴木良文，1932 年
- ▼18. 「おてだま」の異称—埼玉県— [稿本・自筆本] [謄写印刷]
杉山正世，埼玉：杉山正世，1932 年 3 月
- ▼19. 民俗研究 40・43・46，千葉県郡別方言集上・中・下 [謄写印刷]
日本民俗研究会，東京：日本民俗研究会，1932 年 4 月
- ▼20. 相州内郷村近傍方言（方言誌第二輯）[謄写印刷]
鈴木重光採集，東京：國學院大學方言研究会，1932 年 5 月
- ▼21. 埼玉県幸手方言誌 [謄写印刷]
上野勇，埼玉：上野勇，1933 年 2 月

- ▼22. 埼玉県に於ける蝸牛の称呼、蟻螂と蜥蜴との称呼 [謄写印刷]
杉山正世, 埼玉: 杉山正世, 1933 年 8 月
- ▼23. アクセントと方言 (国語科学講座)
服部四郎, 東京: 明治書院, 1933 年 8 月
- ▼24. 校本物類称呼 諸国方言索引
吉沢義則, 東京: 立命館出版部, 1933 年 9 月
- ▼25. 埼玉県幸手方言集 (趣味叢書第六編)
上野勇, 起町(愛知県): 土俗趣味社, 1933 年 9 月
- ▼26. 方言学概説 (国語科学講座)
東条操, 東京: 明治書院, 1933 年 12 月
- ▼27. 奥秩父大滝村方言採集帖 [謄写印刷]
大滝小学校, 埼玉: 大滝小学校, 1934 年 8 月
- ▼28. 東京方言集 [謄写印刷]
斎藤秀一, 山添村(山形県東田川郡): 斎藤秀一, 1935 年 1 月
- ▼29. 郷土の方言訛言集 [謄写印刷]
志木小学校, 志木: 志木尋常高等小學校, 1936 年
- ▼30. 旧・西村ニ於ケル話シ言葉ノ調査 [謄写印刷]
葛西小学校, 東京: 葛西小学校国語研究部, 1936 年 1 月
- ▼31. 地言葉の種々相 [謄写印刷]
小鹿野小学校・高田喜好, [発行地不明]: 小鹿野小学校・高田喜好, 1936 年 9 月
- ▼32. 岩槻町地方に於ける方言訛語卑語の一部に就て
小島三朗, [発行地不明]: 小島三朗, 1936 年 9 月
- ▼33. 方言と方言学
東条操, 東京: 春陽堂, 1938 年 6 月
- ▼34. 言語地理学 (富山房百科文庫 37)
ドーザ・松原秀治訳, 東京: 富山房, 1938 年 10 月
- ▼35. 全日本アクセントの諸相
平山輝男, 東京: 育英書院, 1940 年 6 月
- ▼36. 日本語のアクセント
日本方言学会, 東京: 中央公論社, 1942 年 3 月
- ▼37. 日本語アクセント辞典
日本放送協會編, 東京: 日本放送出版協会, 1943 年 1 月
- ▼38. 国語アクセントの話
日本方言学会, 東京: 春陽堂, 1943 年 3 月
- ▼39. 標準語の問題
石黒魯平, 東京: 三省堂, 1944 年 5 月
- ▼40. 方言と方言学 (増訂版)
東条操, 東京: 春陽堂, 1944 年 8 月
- ▼41. 東京語の性格
中村通夫, 東京: 川田書房, 1948 年 11 月
- ▼42. 言語地理学
土川正男, 諏訪: あしかび書房, 1948 年 11 月
- ▼43. 埼玉県下に分布する特殊アクセントの考察 [謄写印刷]
金田一春彦, 町田: 金田一春彦, 1948 年 12 月

- ▼44. 標準語と方言
柳田国男，東京：明治書院，1949年5月
- ▼45. 神奈川県方言（来る）の未然形・仮定形および（ください）の実態（地方研究員報告）[稿本・自筆本]
金田元彦，東京：国立国語研究所，1950年
- ▼46. 神奈川県方言の概観（地方研究員報告）[稿本・自筆本]
金田元彦，東京：国立国語研究所，1950年
- ▼47. 神奈川県方言の概観（地方研究員報告）[稿本・自筆本]
寺田泰政，東京：国立国語研究所，1950年
- ▼48. 千葉県方言研究の概観（地方研究員報告）[稿本・自筆本]
大岩正伸，東京：国立国語研究所，1950年
- ▼49. 埼玉県方言研究の概観（地方研究員報告）[稿本・自筆本]
池之内好次郎，東京：国立国語研究所，1950年
- ▼50. 煤ヶ谷村方言集 [謄写印刷]
竹内武男，[発行地不明]：竹内武男，1950年
- ▼51. 標準語
石黒魯平，東京：明治図書出版，1950年1月
- ▼52. 方言と昔：他（朝日文庫9）
柳田国男，大阪：朝日新聞社，1950年1月
- ▼53. 方言採集手帖
東条操・金田一春彦，東京：刀江書院，1950年6月
- ▼54. 方言語彙学的研究
小林好日，東京：岩波書店，1950年11月
- ▼55. 日本語アクセント辞典（改訂版）
日本放送協会，東京：日本放送出版協会，1951年3月
- ▼56. 国語学新講（改修版）
東条操，東京：筑摩書房，1951年10月
- ▼57. 全国方言辞典
東条操，東京：東京堂，1951年12月
- ▼58. 終助詞による待遇表現（関東・中部）（地方研究員報告）[稿本・自筆本]
国立国語研究所地方調査員，東京：国立国語研究所，1952年
- ▼59. 国語アクセント論叢
寺川喜四男・金田一春彦・稲垣正幸，東京：法政大学出版局，1952年12月
- ▼60. 方言と国語教育（国語シリーズ 11）
東条操，東京：文部省，1953年7月
- ▼61. 標準語のアクセント教本
田代晃二，大阪：創元社，1953年10月
- ▼62. 日本方言学
東条操，東京：吉川弘文館，1953年12月
- ▼63. 北足立郡北本宿村方言の記述（地方研究員報告）[稿本・自筆本]
大久保忠国，東京：国立国語研究所，1954年
- ▼64. 愛甲郡煤ヶ谷村方言の記述（地方研究員報告）[稿本・自筆本]
日野資純，東京：国立国語研究所，1954年
- ▼65. 農村児童の言語生活の実態
神奈川県中部小学校教育研究会，中郡(神奈川県)：神奈川県中部小学校教育研究会，1954年2月

- ▼66. 北埼玉邑楽両郡の利根川沿岸の言語調査〔謄写印刷〕
埼玉大学国語研究会，埼玉：埼玉大学国語研究会，1954年3月
- ▼67. 共通語の学習指導法
上甲幹一，東京：光風出版，1954年8月
- ▼68. 津久井郡の民俗語彙
尾崎恒雄，神奈川：津久井郡勢誌編集委員会，1954年11月
- ▼69. 標準語引分類方言辞典
東条操，東京：東京堂，1954年12月
- ▼70. 標準語と方言 1（国語シリーズ 28）
文部省，東京：明治図書出版，1956年3月
- ▼71. 隠語辞典
榎垣実，東京：東京堂，1956年8月
- ▼72. 標準語と方言 2（国語シリーズ 31）
文部省，東京：明治図書出版，1956年12月
- ▼73. 標準語アクセント独習三十日
田代晃二，東京：東京創元社，1956年12月
- ▼74. 日本語（岩波新書）
金田一春彦，東京：岩波書店，1957年1月
- ▼75. 江戸語東京語の研究
松村明，東京：東京堂，1957年4月
- ▼76. 神奈川県未刊方言資料 1〔謄写印刷〕
日野資純，横浜：ひでばち民俗談話会，1957年5月
- ▼77. 日本語音調の研究
平山輝男，東京：明治書院，1957年6月
- ▼78. NHK 国語講座方言と文化
日本放送協会，東京：宝文館，1957年10月
- ▼79. 明治東京風俗語事典
正岡容，東京：有光書房，1957年12月
- ▼80. 日本の方言（岩波新書）
柴田武，東京：岩波書店，1958年4月
- ▼81. 明解日本語アクセント辞典
三省堂編修所編/金田一春彦監修，東京：三省堂，1958年6月
- ▼82. 大野誌
平塚市教育委員会，平塚市：平塚市教育委員会，1958年6月
- ▼83. 標準日本語の発音・アクセント
佐久間鼎，東京：恒星社厚生閣，1959年3月
- ▼84. 日本語アクセント教本
田代晃二，東京：東京創元社，1959年9月
- ▼85. 全国アクセント辞典
平山輝男，東京：東京堂，1960年6月
- ▼86. 最近の国語学と方言学
東条操，東京：筑摩書房，1960年9月
- ▼87. 方言学講座 1 概説
東条操，東京：東京堂，1961年1月

- ▼88. 標準語・聞く話すことの教育（実践国語研究紀要Ⅳ）
西原慶一，東京：穂波出版社，1961年3月
- ▼89. 方言学講座2 東部方言
東条操，東京：東京堂，1961年3月
- ▼90. 遠藤民俗聞書
藤沢市教育委員会，藤沢：藤沢市教育委員会，1961年3月
- ▼91. 神奈川県歴史
日野資純・他，東京：山川出版社，1961年10月
- ▼92. 「ショウリョウバッタ」方言分布調査とその考察：国語学習に生きる地理的学習の眼と考え方
久喜町立久喜中学校編，久喜(埼玉)：久喜町，1962年
- ▼93. 秩父の伝説と方言
秩父市教育委員会，秩父：秩父市教育委員会，1962年5月
- ▼94. 方言学概説
国語学会，東京：武蔵野書院，1962年11月
- ▼95. 講座現代語1 現代語の概説
森岡健二・永野賢・宮地裕・市川孝，東京：明治書院，1963年12月
- ▼96. 神奈川県方言辞典
日野資純・斎藤義七郎，横浜：県教育委員会，1965年3月
- ▼97. 八王子の方言－東京西部八王子地方－
塩田真八，八王子：八王子文化サロン，1965年12月
- ▼98. 日本語発音アクセント辞典
日本放送協会編，東京：日本放送出版協会，1966年8月
- ▼99. 日本言語地図1（国立国語研究所報告30-1）
国立国語研究所，東京：国立国語研究所，1966年3月
- ▼100. 越ヶ谷周辺の方言と由来考〔謄写印刷〕
三原善太郎，越谷：越ヶ谷市郷土研究会，1967年
- ▼101. 全国方言資料関東・甲信越編
NHK，東京：日本放送協会，1967年2月
- ▼102. 日本語音韻の研究
金田一春彦，東京：東京堂出版，1967年3月
- ▼103. 日本言語地図2（国立国語研究所報告30-2）
国立国語研究所，東京：国立国語研究所，1967年3月
- ▼104. 日本言語地図3（国立国語研究所報告30-3）
国立国語研究所，東京：国立国語研究所，1968年3月
- ▼105. 日本の方言（講談社現代新書160）
平山輝男，東京：講談社，1968年9月
- ▼106. 岩波講座哲学11 言語
服部四郎・沢田允茂・田島節夫，東京：岩波書店，1968年10月
- ▼107. 東西方言の境界
牛山初男，茅野(長野)：牛山初男，1969年3月
- ▼108. アクセント調査票
国語学研究室，仙台：東北大学文学部国語学研究室，1969年3月
- ▼109. 国立歳時記
原田重久，東京：逃水亭書屋，1969年10月

- ▼110. 日本言語地図 4 (国立国語研究所報告 30-4)
国立国語研究所, 東京: 国立国語研究所, 1970 年 3 月
- ▼111. 共通語アクセント読本 上
坂井清成, 東京: 三恵出版, 1970 年 4 月
- ▼112. 方言俗語語源辞典
山中襄太, 東京: 校倉書房, 1970 年 4 月
- ▼113. こどものあそびことばー埼玉県熊谷市の昭和 30 年前後における子どもの遊びことば及び遊びことばの伝播と伝承ー [謄写印刷]
新井真由美, [発行地不明]: 新井真由美, 1970 年 8 月
- ▼114. 方言研究の問題点
平山輝男博士還暦記念会, 東京: 明治書院, 1970 年 8 月
- ▼115. 秩父の方言
新井佐次郎, 秩父: エスプリの会, 1970 年 11 月
- ▼116. 千葉県のカタツムリとナメクジの方言 [謄写印刷]
川名興, [発行地不明]: 川名興, 1971 年
- ▼117. 柳田国男先生の「野鳥雑記」から「千葉県のスズメの方言」
川名興, 鋸南町: 川名興, 1971 年
- ▼118. 講座正しい日本語 2 発音編
森岡健二・永野賢・宮地裕, 東京: 明治書院, 1971 年 1 月
- ▼119. 秩父の言いぐさ (正)
常木金雄, 熊谷: きたむさし文化会, 1972 年 2 月
- ▼120. 日本言語地図 5 (国立国語研究所報告 30-5)
国立国語研究所, 東京: 大蔵省印刷局, 1972 年 3 月
- ▼121. 標準語と方言 (覆刻文化庁国語シリーズ 4)
文化庁編, 東京: 教育出版, 1973 年 11 月
- ▼122. 日本言語地図 6 (国立国語研究所報告 30-6)
国立国語研究所, 東京: 大蔵省印刷局, 1974 年 3 月
- ▼123. 東京及び近畿方言の 2 拍単語アクセントの分析 合成と知覚
藤崎博也・三井康義・杉藤美代子, [発行地不明]: 日本音響学会・音声研究委員会, 1974 年 3 月
- ▼124. 標準日本語発音大辞典 改訂増補
寺川喜四男・日下三好, 京都: 大雅堂, 1974 年 4 月
- ▼125. 関東地方域方言事象分布地図 1 音声編
大橋勝男, 東京: 桜楓社, 1974 年 5 月
- ▼126. 東京地名小辞典
三省堂, 東京: 三省堂, 1974 年 7 月
- ▼127. 後期江戸ことばの敬語体系
小島俊夫, 東京: 笠間書院, 1974 年 9 月
- ▼128. アクセント型の特徴とその知覚について 1974 年度科研費音声総合研究委員会・音響学会研究委員会資料 [科研報告書]
日本音響学会, [発行地不明]: 日本音響学会音声聴覚研究委員会, 1974 年 10 月
- ▼129. 方言と標準語 日本語方言学概説
大石初太郎・上村幸雄, 東京: 筑摩書房, 1975 年 1 月
- ▼130. 千葉県の方言 (資料の広場 7)
千葉県立中央図書館資料の広場 7 号編集グループ, 千葉: 千葉県立図書館, 1975 年 3 月

- ▼131. 新・日本語講座 9 現代日本語の建設に苦勞した人々
武藤辰男・渡辺武，京都：汐文社，1975 年 4 月
- ▼132. 新・日本語講座 3 現代日本語の音声と方言
平山輝男・大島一郎，京都：汐文社，1975 年 5 月
- ▼133. 日本の方言 アクセントの変遷とその実相
金田一春彦，東京：教育出版，1975 年 9 月
- ▼134. 秩父の言いぐさ（続）
常木金雄，熊谷：きたむさし文化会，1975 年 9 月
- ▼135. 方言生活指導論 方言・共通語・標準語
藤原与一，東京：三省堂，1975 年 10 月
- ▼136. 方言調査報告（鎌ヶ谷市史資料集 10）
鎌ヶ谷市史編さん委員会，鎌ヶ谷：鎌ヶ谷市史編さん委員会，1976 年
- ▼137. 関東地方域方言事象分布地図 2 表現法篇
大橋勝男，東京：桜楓社，1976 年 2 月
- ▼138. さがみはらの文化財 11 方言・伝承調査報告書
社会教育課，相模原：相模原市教育委員会，1976 年 3 月
- ▼139. 物類称呼（生活の古典双書 17）
越谷吾山，東京：八坂書房，1976 年 5 月
- ▼140. 東京方言集（再刊）
斎藤秀一，東京：国書刊行会，1976 年 5 月
- ▼141. 関東地方域方言事象分布地図 3 語彙篇
大橋勝男，東京：桜楓社，1976 年 10 月
- ▼142. 武蔵野の地名
中島利一郎，東京：中島利一郎，1976 年 10 月
- ▼143. 日本語音声概説
川上葵，東京：桜楓社，1977 年 1 月
- ▼144. 東京アクセント第一次調査報告 東京都区内生育者における調査報告（1953 年～1955 年）
秋永一枝，[発行地不明]：萩亭書屋，1977 年 3 月
- ▼145. 君津市の方言分布図 1
川名興，[発行地不明]：川名興，1977 年 3 月
- ▼146. 日本語方言の研究
金田一春彦，東京：東京堂，1977 年 8 月
- ▼147. 武蔵野のわらべ唄と方言 付・こども歳時記
原田重久，武蔵野：武蔵野郷土史刊行会/日新堂書店(発売)，1977 年 10 月
- ▼148. 岩波講座日本語 11 方言
大野晋・柴田武，東京：岩波書店，1977 年 11 月
- ▼149. 日本大辞書 復刻版
山田美妙編，東京：ノーベル書房，1978 年 12 月
- ▼150. 君津市の方言分布図 2
川名興，[発行地不明]：川名興，1978 年 3 月
- ▼151. 野田の民家と方言
野田市史編さん委員会，野田：野田市，1978 年 3 月
- ▼152. 秩父地方方言地図
東京外語大日本語学ゼミナール，東京：東京外語大日本語学ゼミナール，1978 年 5 月

- ▼153. 多摩の方言と随想 1
平井英次, 羽村町(東京都): 武蔵書房, 1978 年 10 月
- ▼154. 日本大辞書 覆刻版
山田美妙編, 東京: 名著普及会, 1979 年 3 月
- ▼155. 全国方言基礎語彙の研究序説
平山輝男, 東京: 明治書院, 1979 年 2 月
- ▼156. 上武国境地域言語調査報告 2
東京成徳短大方言研究会, 東京: 東京成徳短期大学方言研究クラブ, 1979 年 3 月
- ▼157. 神奈川県言語地図
日野資純・斎藤義七郎, 横浜: 県立博物館, 1979 年 3 月
- ▼158. 論集日本語研究 2 アクセント
徳川宗賢, 東京: 有精堂, 1980 年 2 月
- ▼159. 談話行動の総合テキスト 東京・下町・資料 1
国立国語研究所渡辺班, 東京: 国立国語研究所渡辺班, 1980 年 3 月
- ▼160. 所沢市史研究 4
所沢市史編集委員, 所沢: 所沢市史編さん室, 1980 年 3 月
- ▼161. 学研版 日本方言地図 1・2・3
佐藤亮一・斎賀秀夫, 東京: 学習研究社, 1980 年 4 月
- ▼162. NHK 録音教材 日本の方言
佐藤亮一・真田信治・沢木幹栄, 東京: 学習研究社, 1980 年 10 月
- ▼163. 明解日本語アクセント辞典 第 2 版
秋永一枝編/金田一春彦監修, 東京: 三省堂, 1981 年 4 月
- ▼164. 方言文法資料図集 1
国立国語研究所, 東京: 国立国語研究所, 1981 年 1 月
- ▼165. 大都市の言語生活 資料編
国立国語研究所, 東京: 三省堂, 1981 年 3 月
- ▼166. 大都市の言語生活 分析編
国立国語研究所, 東京: 三省堂, 1981 年 3 月
- ▼167. 所沢市史研究 5
所沢市史編集委員, 所沢: 所沢市史編さん室, 1981 年 3 月
- ▼168. 千葉県方言の自然談話 1
千葉県教育委員会, 千葉: 千葉県教育委員会, 1981 年 3 月
- ▼169. 日本言語地図 1 縮刷版 (国立国語研究所報告 30-1)
国立国語研究所, 東京: 大蔵省印刷局, 1981 年 10 月
- ▼170. 方言文法資料図集 2
国立国語研究所, 東京: 国立国語研究所, 1982 年 1 月
- ▼171. 文京区内のことばの実態 根津・西片言語調査報告
東大文学部言語学研究室, 東京: 荻野綱男, 1982 年 1 月
- ▼172. 多摩の方言と人情 2
平井英次, 東京: 教育報道社, 1982 年 1 月
- ▼173. 日本語アクセントの研究
杉藤美代子, 東京: 三省堂, 1982 年 2 月
- ▼174. 所沢市史研究 6
所沢市史編集委員, 所沢: 所沢市史編さん室, 1982 年 3 月

- ▼175. 日本における社会言語学の動向
真田信治・柴田武，東京：柴田武，1982 年 3 月
- ▼176. 秦野地方のことば
秦野市管理部市史編さん室，秦野：秦野市，1982 年 3 月
- ▼177. 千葉県方言の自然談話 2
千葉県教育委員会，千葉：千葉県教育委員会，1982 年 3 月
- ▼178. 日本方言辞典
谷本たかし監修/土屋欣三編，東京：日東書院，1982 年 3 月
- ▼179. 浦安のことば
浦安市教育委員会社会教育課，浦安：浦安市教育委員会，1982 年 4 月
- ▼180. 日本言語地図 2 縮刷版（国立国語研究所報告 30-2）
国立国語研究所，東京：大蔵省印刷局，1982 年 8 月
- ▼181. 方言から見た東海道
山口幸洋，武蔵野：秋山書店，1982 年 9 月
- ▼182. 江戸語の成立（開拓社言語文化叢書）
芳賀登，東京：開拓社，1982 年 9 月
- ▼183. 全国方言辞典 2 県別人体語彙の体系（角川小辞典 34）
平山輝男，東京：角川書店，1982 年 12 月
- ▼184. 東京語 その成立と展開
田中章夫，東京：明治書院，1983 年 11 月
- ▼185. 方言文法資料図集 3
国立国語研究所，東京：国立国語研究所，1983 年 1 月
- ▼186. 全国方言辞典 1 県別方言の特色（角川小辞典 33）
平山輝男，東京：角川書店，1983 年 1 月
- ▼187. 八王子方言考
鈴木樹造，東京：かたくら書店，1983 年 1 月
- ▼188. 《新方言》と《言葉の乱れ》に関する社会言語学的研究 東京・首都圏・山形・北海道 [科研報告書]
井上史雄，東京：井上史雄，1983 年 3 月
- ▼189. 金田一春彦・日本語セミナー4 方言の世界
金田一春彦，東京：筑摩書房，1983 年 3 月
- ▼190. 所沢市史研究 7
所沢市史編集委員，所沢：所沢市史編さん室，1983 年 3 月
- ▼191. 千葉県方言の自然談話 3
千葉県教育委員会，千葉：千葉県教育委員会，1983 年 3 月
- ▼192. 日本言語地図 3 縮刷版（国立国語研究所報告 30-3）
国立国語研究所，東京：大蔵省印刷局，1983 年 6 月
- ▼193. 現代方言学の課題 1 社会的研究篇
平山輝男博士古稀記念会，東京：明治書院，1983 年 6 月
- ▼194. 秦野地方のことば（秦野市史民俗調査報告書 2）
秦野市管理部市史編さん室，秦野：秦野市，1983 年 7 月
- ▼195. 方言談話資料 7 老年層と若年層との会話 青森・岩手・新潟・千葉・静岡・長野・愛知・福井
国立国語研究所，東京：秀英出版，1983 年 9 月
- ▼196. 小金井の方言
芳須緑，小金井：芳須緑，1983 年 9 月

- ▼197. 多摩の方言と生活 3
平井英次, 東京: 教育報道社, 1983 年 11 月
- ▼198. 現代方言学の課題 2 記述的研究篇
平山輝男博士古稀記念会, 東京: 明治書院, 1984 年 1 月
- ▼199. 現代方言学の課題 3 史的研究篇
平山輝男博士古稀記念会, 東京: 明治書院, 1984 年 6 月
- ▼200. 日本言語地図 4 縮刷版 (国立国語研究所報告 30-4)
国立国語研究所, 東京: 大蔵省印刷局, 1984 年 2 月
- ▼201. 人口急増地帯としての埼玉県における言語接触とその問題点に関する総合的研究 昭和 58 年度文部省科学研究費補助金一般研究 (A) 研究成果報告書 [科研報告書]
柴田武, 浦和: 柴田武 (代表), 1984 年 3 月
- ▼202. 檜原方言記 付・方言語彙
小泉輝三朗, 武蔵野: 武蔵野郷土史刊行会/有峰書店新社(発売), 1984 年 3 月
- ▼203. こどもとことば
丸山久子, 東京: 堺屋図書/こずえ(発売), 1984 年 4 月
- ▼204. 幸手のことば
上野勇, 東京: 国書刊行会, 1984 年 6 月
- ▼205. 講座方言学 5 関東地方の方言
飯豊毅一・日野資純・佐藤亮一, 東京: 国書刊行会, 1984 年 6 月
- ▼206. 日本言語地図 5 縮刷版 (国立国語研究所報告 30-5)
国立国語研究所, 東京: 大蔵省印刷局, 1984 年 8 月
- ▼207. 『秋山記行』の俚言調査報告・北部群馬言語調査報告 (方言研究会報告 4)
東京成徳短期大学方言研究会, 東京: 東京成徳短期大学方言研究会, 1984 年 10 月
- ▼208. 東京語のゆれ調査報告
国広哲弥・中本正智著/藤田勝良・篠崎晃一協力, 東京: 文部省科学研究費特定研究「言語の標準化」総括班, 1984 年 11 月
- ▼209. 日本語発音アクセント辞典 改訂新版
NHK 編, 東京: 日本放送出版協会, 1985 年 6 月
- ▼210. 新しい日本語 <新方言>の分布と変化
井上史雄, 東京: 明治書院, 1985 年 2 月
- ▼211. 新しい方言研究 愛蔵版
加藤正信, 東京: 至文堂, 1985 年 2 月
- ▼212. 東京語アクセント資料 上 (あ〜そ)、下 (た〜わ)
柴田武監修/馬瀬良雄・佐藤亮一編, 松本: 柴田武・馬瀬良雄・佐藤亮一, 1985 年 2 月
- ▼213. 関東・東北方言の地理的・年齢的分布 (SF グロットグラム)
井上史雄, 東京: 東京外国語大学語学研究所, 1985 年 3 月
- ▼214. 新しい言葉の伝播過程 東京中学心理調査 (文部省科学研究費特定研究) [科研報告書]
井上史雄・荻野綱男, 東京: 井上史雄・荻野綱男, 1985 年 3 月
- ▼215. 日本言語地図 6 縮刷版 (国立国語研究所報告 30-6)
国立国語研究所, 東京: 大蔵省印刷局, 1985 年 3 月
- ▼216. 方言の諸相「日本言語地図」検証 調査報告 (国立国語研究所報告 84)
国立国語研究所, 東京: 三省堂, 1985 年 3 月
- ▼217. モーラ音素とアクセント核との関係に関する調査資料集 (文部省科学研究費研究成果報告書) [科研報告書]
上野善道, 東京: 上野善道, 1985 年 3 月

- ▼218. 標準語の話し方 発音とアクセント
赤星勝美, 立川: 赤星勝美, 1985 年 3 月
- ▼219. 江戸の女ことば あそばせとアリンソと
杉本つとむ, 東京: 創拓社, 1985 年 10 月
- ▼220. 狭山・昔ことば辞典 のらみちのハンドブック (さやま市民文庫 4)
志村清・志村よ志江, 狭山: さやま市民文庫刊行会, 1985 年 11 月
- ▼221. 東京都言語地図
東京都教育委員会, 東京: 東京都教育委員会, 1986 年 3 月
- ▼222. 講座方言学 1 方言概説
飯豊毅一・日野資純・佐藤亮一, 東京: 国書刊行会, 1986 年 5 月
- ▼223. 講座方言学 3 方言研究の問題
飯豊毅一・日野資純・佐藤亮一, 東京: 国書刊行会, 1986 年 5 月
- ▼224. 音韻調査報告書 (復刻)
国語調査委員会, 東京: 国書刊行会, 1986 年 11 月
- ▼225. 音韻分布図 (復刻)
国語調査委員会, 東京: 国書刊行会, 1986 年 11 月
- ▼226. 口語法調査報告書 下 (復刻)
国語調査委員会, 東京: 国書刊行会, 1986 年 11 月
- ▼227. 口語法調査報告書 上 (復刻)
国語調査委員会, 東京: 国書刊行会, 1986 年 11 月
- ▼228. 口語法分布図 (復刻)
国語調査委員会, 東京: 国書刊行会, 1986 年 11 月
- ▼229. 明治のことば辞典
惣郷正明・飛田良文, 東京: 東京堂出版, 1986 年 12 月
- ▼230. 方言談話資料 9 場面設定の対話 青森・群馬・千葉・新潟・長野・静岡・愛知・福井・奈良・鳥取・島根・愛媛・高知・長崎・沖縄
国立国語研究所, 東京: 秀英出版, 1987 年 3 月
- ▼231. 日本語アクセント教室
小森法孝, 東京: 新水社, 1987 年 4 月
- ▼232. 越ヶ谷言葉 方言と訛集
山崎善司, 埼玉: 山崎善司, 1987 年 8 月
- ▼233. 方言談話資料 10 場面設定の対話 2 青森・群馬・千葉・新潟・長野・静岡・愛知・福井・奈良・鳥取・島根・愛媛・高知・長崎・沖縄
国立国語研究所, 東京: 秀英出版, 1987 年 10 月
- ▼234. 東京語の歴史 (中公新書)
杉本つとむ, 東京: 中央公論社, 1988 年 1 月
- ▼235. 東京・神奈川言語地図
井上史雄編/国際基督教大学・東京都立大学有志学生作成, 東京: 井上史雄, 1988 年 2 月
- ▼236. 東京ことば
読売新聞社社会部, 東京: 読売新聞社, 1988 年 6 月
- ▼237. 越ヶ谷言葉 方言と訛集 改補集
山崎善司, 埼玉: 山崎善司, 1988 年 8 月
- ▼238. 方言文法全国地図 1 (国立国語研究所報告 97-1)
国立国語研究所, 東京: 大蔵省印刷局, 1989 年 1 月

- ▼239. 関東地方域の方言についての方言地理学的研究 1 序説 音声事象分布論篇
大橋勝男, 東京: 桜楓社, 1989 年 2 月
- ▼240. 日本方言大辞典 下巻
尚学図書編/徳川宗賢監修, 東京: 小学館, 1989 年 3 月
- ▼241. 日本方言大辞典 上巻
尚学図書編/徳川宗賢監修, 東京: 小学館, 1989 年 3 月
- ▼242. 日本方言大辞典 別巻
尚学図書編/徳川宗賢監修, 東京: 小学館, 1989 年 3 月
- ▼243. 鎌倉のことば
木村彦三郎, 鎌倉: 鎌倉市教育委員会・鎌倉市中央図書館, 1989 年 3 月
- ▼244. 埼玉県方言辞典
手島良編/井上史雄監修/東京外国語大学日本語学ゼミナール協力, 東京: 桜楓社, 1989 年 7 月
- ▼245. 日本方言音韻総覧 付・方言音節引き索引
上野善道・尚学図書, 東京: 小学館, 1989 年 11 月
- ▼246. 地域言語の社会言語学的研究
真田信治, 大阪: 和泉書院, 1990 年 2 月
- ▼247. 関東地方域の方言についての方言地理学的研究 2 表現法事象分布論篇
大橋勝男, 東京: 桜楓社, 1990 年 2 月
- ▼248. 東京最西端部における若干の方言の共通語化調査
東京成徳短期大学国文科演習「言語地理学」グループ, 東京: 東京成徳短期大学国文科, 1990 年 2 月
- ▼249. 方言と共通語
河出書房新社, 東京: 河出書房新社, 1990 年 6 月
- ▼250. 東条操先生生誕 100 周年記念 日本方言研究の歩み 論文編
日本方言研究会, 東京: 角川書店, 1990 年 6 月
- ▼251. 東条操先生生誕 100 周年記念 日本方言研究の歩み 文献目録
日本方言研究会, 東京: 角川書店, 1990 年 6 月
- ▼252. 流山・ことば歳時記 わが方言の周辺
伊藤晃, 流山: 崙書房, 1990 年 11 月
- ▼253. 方言文法全国地図 2 (国立国語研究所報告 97-2)
国立国語研究所, 東京: 大蔵省印刷局, 1991 年 1 月
- ▼254. 標準語はいかに成立したか 近代日本語の発展の歴史
真田信治, 東京: 創拓社, 1991 年 1 月
- ▼255. 関東地方域の方言についての方言地理学的研究 3 語彙事象分布論篇
大橋勝男, 東京: 桜楓社, 1991 年 2 月
- ▼256. 東海道沿線方言の地域差・年齢差 (Q グロットグラム)
井上史雄, 東京: 東京外国語大学語学研究所, 1991 年 3 月
- ▼257. 東京語音声の諸相 1 日本語音声における韻律的特徴 東京都 (及び放送関係者) における音声の収集と研究
[科研報告書]
佐藤亮一, 横浜: フェリス女学院大学文学部, 1991 年 3 月
- ▼258. 標準語
田中章夫, 東京: 誠文堂新光社, 1991 年 3 月
- ▼259. 方言収録とその考察 崎葛地域を中心にして
鈴木薫, 杉戸町: 鈴木薫, 1991 年 3 月
- ▼260. 三ヶ島地方の方言

- 新井正裕, 所沢: 新井正裕, 1991 年 6 月
- ▼261. 宵越しの銭 東京っ子ことば 秋谷勝三老人聞き書き
林えり子, 東京: 河出書房新社, 1991 年 7 月
- ▼262. 東日本の音声 調査票編 [科研報告書]
佐藤和之編集, 仙台: 加藤正信 (東北大学文学部), 1991 年 9 月
- ▼263. 東京語成立史の研究
飛田良文, 東京: 東京堂出版, 1992 年 9 月
- ▼264. べらんめえ言葉を探る 江戸言葉・東京下町言葉言語学
横田貢, 東京: 芦書房, 1992 年 1 月
- ▼265. 関東地方域の方言についての方言地理学的研究 4 分派地質論・統括一般論篇
大橋勝男, 東京: 桜楓社, 1992 年 2 月
- ▼266. 東京語音声の諸相 2 日本語音声における韻律的特徴 東京都 (及び放送関係者) における音声の収集と研究
[科研報告書]
佐藤亮一, 横浜: フェリス女学院大学文学部, 1992 年 3 月
- ▼267. 神奈川県大和市の方言 (大和市文化財調査報告書第 53 集)
大和市教育委員会社会教育部社会教育課, 大和: 大和市教育委員会, 1992 年 3 月
- ▼268. 現代日本語方言大辞典 1
平山輝男・大島一郎・大野真男・久野真・久野マリ子・杉村孝夫, 東京: 明治書院, 1992 年 3 月
- ▼269. 現代日本語方言大辞典 2
平山輝男・大島一郎・大野真男・久野真・久野マリ子・杉村孝夫, 東京: 明治書院, 1992 年 6 月
- ▼270. 現代日本語方言大辞典 3
平山輝男・大島一郎・大野真男・久野真・久野マリ子・杉村孝夫, 東京: 明治書院, 1992 年 9 月
- ▼271. 三ヶ島地方の方言 続
新井正裕, 所沢: 新井正裕, 1992 年 10 月
- ▼272. かかあの顔は三品 (さんぴん) だいな 高麗・鶴ヶ島地方言葉のたより
中島良雄, 東松山: まつやま書房, 1992 年 11 月
- ▼273. 現代日本語方言大辞典 4
平山輝男・大島一郎・大野真男・久野真・久野マリ子・杉村孝夫, 東京: 明治書院, 1993 年 1 月
- ▼274. 日本語方言音声データベースの構築と利用 [科研報告書]
板橋秀一, 茨城: 板橋秀一, 1993 年 3 月
- ▼275. 春日部方言集
林順信, 東京: 雪廬舎文庫, 1993 年 4 月
- ▼276. 現代日本語方言大辞典 5
平山輝男・大島一郎・大野真男・久野真・久野マリ子・杉村孝夫, 東京: 明治書院, 1993 年 5 月
- ▼277. 現代日本語方言大辞典 6
平山輝男・大島一郎・大野真男・久野真・久野マリ子・杉村孝夫, 東京: 明治書院, 1993 年 7 月
- ▼278. おらがほうの標準語
山岸統, 飯能: 山岸統, 1993 年 11 月
- ▼279. 方言主流社会の方言と標準語 棲み分けから共生へ
佐藤和之, 弘前: 弘前大学人文学部国語学研究室, 1993 年 12 月
- ▼280. 現代日本語方言大辞典 7 (索引 I)
平山輝男・大島一郎・大野真男・久野真・久野マリ子・杉村孝夫, 東京: 明治書院, 1993 年 12 月
- ▼281. 方言文法全国地図 3 (国立国語研究所報告 97-3)
国立国語研究所, 東京: 大蔵省印刷局, 1994 年 2 月

- ▼282. 現代日本語方言大辞典 8 (索引Ⅱ)
平山輝男・大島一郎・大野真男・久野真・久野マリ子・杉村孝夫, 東京: 明治書院, 1994 年 3 月
- ▼283. 方言学の新天地平
井上史雄, 東京: 明治書院, 1994 年 4 月
- ▼284. 「方言文法全国地図」分析 (方言文法 1)
GAJ 研究会編, 豊中: 大阪大学文学部日本学科言語系研究室, 1994 年 5 月
- ▼285. 都竹通年雄著作集 1 音韻・方言研究篇
都竹通年雄著/平山輝男序/山口幸洋解説, 東京: ひつじ書房, 1994 年 5 月
- ▼286. 現代日本語方言大辞典補巻 (索引Ⅲ)
平山輝男・大島一郎・大野真男・久野真・久野マリ子・杉村孝夫, 東京: 明治書院, 1994 年 6 月
- ▼287. 江戸語・東京語・標準語
水原明人, 東京: 講談社, 1994 年 8 月
- ▼288. 北本のことば
北本歴史研究会, 北本: 北本歴史研究会, 1994 年 10 月
- ▼289. 日本語アクセント論集
川上葵, 東京: 汲古書院, 1995 年 3 月
- ▼290. 日本の方言 アクセントの変遷とその実相 増補
金田一春彦, 東京: 教育出版, 1995 年 4 月
- ▼291. 東京弁は生きていた
秋永一枝, 東京: ひつじ書房, 1995 年 5 月
- ▼292. 関東方言考 1 関東一般・茨城県・栃木県 (日本列島方言叢書 5)
井上史雄・篠崎晃一・小林隆・大西拓一郎編, 東京: ゆまに書房, 1995 年 6 月
- ▼293. 関東方言考 2 群馬県・埼玉県・千葉県・神奈川県 (日本列島方言叢書 6)
井上史雄・篠崎晃一・小林隆・大西拓一郎編, 東京: ゆまに書房, 1995 年 6 月
- ▼294. 関東方言考 3 東京都 (日本列島方言叢書 7)
井上史雄・篠崎晃一・小林隆・大西拓一郎編, 東京: ゆまに書房, 1995 年 6 月
- ▼295. 東京語のゆくえ 江戸語から東京語、東京語からスタンダード日本語へ
國學院大學日本文化研究所編, 東京: 東京堂出版, 1996 年 3 月
- ▼296. 共通語でみる全国の主な方言比較 稿本 限定版
田村昭, 仙台: 宝文堂, 1996 年 2 月
- ▼297. おらがほうの標準語 続
山岸統, 飯能: 山岸統, 1996 年 3 月
- ▼298. 千葉訛 方言集
石橋満寿男, 東京: 東京文芸館, 1996 年 7 月
- ▼299. 首都圏の言語生態 (地域語シリーズ 関東篇)
早野慎吾, 東京: おうふう, 1996 年 7 月
- ▼300. 日本語方言辞書 昭和・平成の生活語 上
藤原与一, 東京: 東京堂出版, 1996 年 7 月
- ▼301. 日本語方言辞書 昭和・平成の生活語 中
藤原与一, 東京: 東京堂出版, 1996 年 9 月
- ▼302. 埼玉県東南部方言の記述的研究 1972 年
原田伊佐男, 越谷: 原田伊佐男, 1996 年 10 月
- ▼303. 日本語方言辞書 昭和・平成の生活語 下
藤原与一, 東京: 東京堂出版, 1997 年 1 月

- ▼304. 千葉県のことば（日本のことばシリーズ 12）
平山輝男編著者代表/佐々木英樹編，東京：明治書院，1997 年 2 月
- ▼305. 社会方言学資料図集全国中学校言語使用調査（1993-1996）
井上史雄，東京：井上史雄，1997 年 3 月
- ▼306. 関東及び新潟地域における新表現の社会言語学的研究 [科研報告書]
佐藤高司，足利：佐藤高司，1997 年 3 月
- ▼307. ききくらべよう日本の方言（日本の方言大研究 7）
佐藤亮一監修/五十嵐清治構成，東京：ポプラ社，1997 年 4 月
- ▼308. 方言はまほうのことば！ 方言と標準語
彦坂佳宣，東京：アリス館，1997 年 4 月
- ▼309. 専修大学キャンパス言葉事典 第 4 版
永瀬治郎，川崎：永瀬治郎，1997 年 5 月
- ▼310. 日本語音声の実験的研究
今石元久，大阪：和泉書院，1997 年 5 月
- ▼311. 日本大辞書（明治期国語辞書大系 普 6）
山田美妙編，東京：大空社，1998 年 4 月
- ▼312. 日本語ウォッチング（岩波新書）
井上史雄，東京：岩波書店，1998 年 1 月
- ▼313. 日本方言研究の課題
飯豊毅一，東京：国書刊行会，1998 年 2 月
- ▼314. 東京周辺地域におけるアクセントの古態性に関する調査研究文部省科学研究費補助金基盤研究（C）研究成果報告書 [科研報告書]
佐藤亮一，東京：佐藤亮一，1998 年 3 月
- ▼315. アンバランスな周圏分布の成立
小林隆，仙台：小林隆，1998 年 3 月
- ▼316. 江戸時代の方言研究 [科研報告書]
迫野虔徳，福岡：九州大学，1998 年 3 月
- ▼317. 江戸語東京語の研究 増補
松村明，東京：東京堂出版，1998 年 5 月
- ▼318. 首都圏女子大生のキャンパスことば 横浜・フェリス学院大学 1998
馬瀬良雄・中東靖恵・小西優香，松本：長野・言語文化研究会，1998 年 5 月
- ▼319. 多摩弁暦
平井英次，東京：教育報道社，1998 年 7 月
- ▼320. 模範京都アクセント基本語資料 東京弁アクセント付き 「早稲田語類」「金田一語類」対照資料
坂本清恵・秋永一枝・上野和昭・佐藤栄作・鈴木豊，東京：アクセント史資料研究会，1998 年 10 月
- ▼321. 日本語の現在 揺れる言葉の正体を探る
陣内正敬，東京：アルク，1998 年 11 月
- ▼322. 最新ひと目でわかる 全国方言一覧辞典
江端義夫・加藤正信・本堂寛編，東京：学習研究社，1998 年 12 月
- ▼323. 音調のタイポロジー
早田輝洋，東京：大修館書店，1999 年 2 月
- ▼324. 東京弁アクセントの変容
秋永一枝，東京：笠間書院，1999 年 3 月
- ▼325. 簡明日本語方言 音韻・アクセント簡易内省調査票付 第 3 版

- 田中宣廣編，宮古(岩手)：岩手県立大学宮古短期大学部日本語科学研究室，1999 年 3 月
- ▼326. 江戸前川柳
葉文館出版出版部，大阪：葉文館出版，1999 年 3 月
- ▼327. 方言文法全国地図 4 (国立国語研究所報告 97-4)
国立国語研究所，東京：大蔵省印刷局，1999 年 4 月
- ▼328. 関東地方の民俗地図 1 茨城・栃木・群馬・埼玉
茨城県教育委員会・栃木県教育委員会・群馬県教育委員会・埼玉県教育委員会編/天野武監修，東京：東洋書林，1999 年 9 月
- ▼329. 関東地方の民俗地図 2 千葉・東京・神奈川
千葉県教育委員会・東京都教育委員会・神奈川県教育委員会編/天野武監修，東京：東洋書林，1999 年 10 月
- ▼330. どうなる日本のことば 方言と共通語のゆくえ (ドルフィン・ブックス)
佐藤和之・米田正之，東京：大修館書店，1999 年 12 月
- ▼331. 専修大学キャンパス言葉事典 第 5 版
永瀬治郎，川崎：永瀬治郎，2000 年 3 月
- ▼332. 脱・標準語の時代
真田信治，東京：小学館，2000 年 5 月
- ▼333. 東京っ子ことば抄
林えり子，東京：講談社，2000 年 9 月
- ▼334. ハマことば
伊川公司，横浜：神奈川新聞社/かなしん出版(発売)，2000 年 12 月
- ▼335. 知って合点江戸ことば
大野敏明，東京：文芸春秋，2000 年 12 月
- ▼336. 新明解日本語アクセント辞典
秋永一枝編/金田一春彦監修，東京：三省堂，2001 年 3 月
- ▼337. あちゃ・むし・だんべえ物語 秩父方言のルーツを探る
高田哲郎，東京：民衆社，2001 年
- ▼338. 東京語のアクセントとイントネーション (CALL 副教材シリーズ 日本語韻律 1)
文部科学省大学共同利用機関メディア教育開発センター制作・著作，東京：放送大学教育振興会，2001 年
- ▼339. 江戸東京重ね地図 (CD-ROM 版)
小島豊美企画/吉原健一郎・俵元昭監修/中川恵司・今西久雄製作，東京：エーピーピーカンパニー/丸善(発売)，2001 年 7 月
- ▼340. 金田一春彦調査京都アクセント転記本 (榎垣実京都アクセント記入)
秋永一枝編，東京：アクセント史資料研究会，2001 年 9 月
- ▼341. 標準語の成立事情 日本人の共通ことばはいかにして生まれたか
真田信治，東京：PHP 研究所，2001 年 9 月
- ▼342. 関東人の思い込み、関西人の言い訳
浅井建爾監修，東京：成美堂出版，2001 年 12 月
- ▼343. 國學院大學キャンパス言葉辞典
國學院大學方言研究会編，東京：文学部日本文学科言語学研究室，2002 年 3 月
- ▼344. 辞典<新しい日本語>
井上史雄・鍵水兼貴編，東京：東洋書林，2002 年 6 月
- ▼345. 方言文法全国地図 5 (国立国語研究所報告 97-5)
国立国語研究所，東京：財務省印刷局，2002 年 6 月
- ▼346. 21 世紀の方言学

- 日本方言研究会編，東京：国書刊行会，2002 年 6 月
- ▼347. 東京都の地名（日本歴史地名大系 13）
平凡社地方資料センター編，東京：平凡社，2002 年 7 月
- ▼348. わが町葛西の方言（改訂版）
彦田信義，東京：彦田信義，2002 年 8 月
- ▼349. 全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 5 埼玉・千葉（国立国語研究所資料集 13-05）
国立国語研究所編，東京：国書刊行会，2002 年 9 月
- ▼350. 日本語方言辞書 別巻 全国方言会話集成
藤原与一，東京：東京堂出版，2002 年 9 月
- ▼351. 全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 6 東京・神奈川（国立国語研究所資料集 13-06）
国立国語研究所編，東京：国書刊行会，2002 年 12 月
- ▼352. 駅名で読む江戸・東京（PHP 新書 234）
大石学，東京：PHP 研究所，2003 年 1 月
- ▼353. 日本語東京アクセントの成立
山口幸洋，鎌倉：港の人，2003 年 9 月
- ▼354. 江戸・町づくし稿（上巻 新装版）
岸井良衛編，東京：青蛙房，2003 年 11 月
- ▼355. 明治時代語論考
村山昌俊，東京：おうふう，2003 年 11 月
- ▼356. 江戸・町づくし稿（下巻 新装版）
岸井良衛編，東京：青蛙房，2003 年 12 月
- ▼357. 江戸・町づくし稿（中巻 新装版）
岸井良衛編，東京：青蛙房，2003 年 12 月
- ▼358. 標準語引き日本方言辞典
佐藤亮一監修/小学館辞典編集部編，東京：小学館，2004 年 1 月
- ▼359. 関東・東北境界域言語地図 常磐線・磐越東線グロットグラム
加藤正信・大橋純一・武田拓・半沢康編，いわき：いわき明星大学人文学部加藤正信研究室，2004 年 3 月
- ▼360. 江戸・町づくし稿（別巻 新装版）
岸井良衛編，東京：青蛙房，2004 年 3 月
- ▼361. 埼玉のことば 県北版
篠田勝夫，さいたま：さきたま出版会，2004 年 3 月
- ▼362. 新編東京圏の社会地図 1975-90
倉沢進・浅川達人編，東京：東京大学出版会，2004 年 3 月
- ▼363. 駅名で読む江戸・東京 続（PHP 新書 287）
大石学，東京：PHP 研究所，2004 年 3 月
- ▼364. 関東の方言 調べてみよう暮らしのことば
井上史雄・吉岡泰夫監修，東京：ゆまに書房，2004 年 4 月
- ▼365. Q&A 市町村合併ハンドブック（第 3 次改訂版）
市町村自治研究会編，東京：ぎょうせい，2004 年 5 月
- ▼366. 通勤・通学人口及び昼間人口（平成 12・国勢調査編集・解説シリーズ/総務省統計局編 no. 8）
総務省統計局編集，東京：日本統計協会，2004 年 5 月
- ▼367. 江戸を知る事典
加藤貴編，東京：東京堂出版，2004 年 6 月
- ▼368. 東京っ子ことば（文春文庫は・27-1）

- 林えり子，東京：文藝春秋，2004 年 6 月
- ▼369. 江戸語事典（新装版）
三好一光編，東京：青蛙房，2004 年 7 月
- ▼370. 東京弁辞典
秋永一枝編，東京：東京堂出版，2004 年 10 月
- ▼371. 横浜・ハマことば辞典
伊川公司編，東京：暁印書館，2005 年 1 月
- ▼372. 図説お江戸の地名の意外な由来
中江克己，東京：PHP 研究所，2005 年 1 月
- ▼373. 付属語アクセントからみた日本語アクセントの構造
田中宣廣，東京：おうふう，2005 年 1 月
- ▼374. 札幌と東京の敬語行動の変化の実証的研究（平成 14 年度・平成 16 年度科学研究費補助金（基盤研究（C））研究成果報告書）[科研報告書]
荻野綱男・東京都立大学著，東京：荻野綱男，2005 年 3 月
- ▼375. 日本語の実態 標準語・普通话・方言
李晨，北京：外语教学与研究出版社，2005 年 3 月
- ▼376. 房総のふるさと言葉
安藤操編，東京：国書刊行会，2005 年 4 月
- ▼377. 若者言葉事典（「驚異の若者コトバ事典」（海越出版社 1993 年刊）の改題改訂）
加藤主税編，名古屋：中部日本教育文化会，2005 年 4 月
- ▼378. 20 世紀方言研究の軌跡
日本方言研究会編，東京：国書刊行会，2005 年 5 月
- ▼379. 日本方言基礎語彙の研究
久野マリ子，東京：おうふう，2005 年 6 月
- ▼380. 合併市町村あのみちこのまち 294 全市町村の姿と魅力を紹介（2005 東日本編）
日本広報協会編，東京：日本広報協会，2005 年 8 月
- ▼381. 江戸の声 話されていた言葉を聴く（江戸東京ライブラリー25）
鈴木丹士郎，東京：教育出版，2005 年 8 月
- ▼382. 北埼玉地方の方言 埼玉県北東部
加藤剛，加須：加藤剛，2005 年 10 月
- ▼383. 全国・都道府県・市区町村別人口 要計表による人口 平成 17・国勢調査（平成 17 年国勢調査速報シリーズ No.1）
総務省統計局編，東京：日本統計協会，2006 年 1 月
- ▼384. ちょっと使ってみたくなる「江戸ことば」100 選（青春新書 INTELLIGENCE PI-139）
中江克己，東京：青春出版社，2006 年 2 月
- ▼385. 東京方言録
下山照夫編，東京：歴研，2006 年 3 月
- ▼386. 首都圏方言の母音の無声化とアクセントの研究（文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C）研究成果報告書）[科研報告書]
久野マリ子，東京：久野マリ子，2006 年 3 月
- ▼387. 方言文法全国地図 6（国立国語研究所報告 97-6）
国立国語研究所，東京：国立印刷局，2006 年 3 月
- ▼388. 19・20 世紀東京弁録音資料のアーカイブ化とその総合的研究（科学研究費補助金（基盤研究（C）（1））研究成果報告書；平成 15 年度・平成 17 年度）[科研報告書]

- 秋永一枝, 東京: 秋永一枝, 2006 年 3 月
- ▼389. 社会生活・経済生活・人の一生・儀礼と信仰 (神奈川県民俗調査報告／神奈川県立博物館編 23 分類神奈川県方言辞典 3)
神奈川県立歴史博物館編, 横浜: 神奈川県立歴史博物館, 2006 年 3 月
- ▼390. 東京の地名由来辞典
竹内誠編, 東京: 東京堂出版, 2006 年 3 月
- ▼391. 「気づき」のレベルと言語変化 首都圏方言における調査を中心に (平成 15(2003)年度-平成 17(2005)年度科学研究費補助金基盤研究 C 研究成果報告書) [科研報告書]
田中ゆかり編, 東京: 田中ゆかり, 2006 年 3 月
- ▼392. とっておきの東京ことば (文春新書 512)
京須偕充, 東京: 文藝春秋, 2006 年 6 月
- ▼393. 江戸っ子語のイキ・イナセ 絵で見て楽しむ! (遊子館歴史選書 4)
笹間良彦画/瓜坊進編集, 東京: 遊子館, 2006 年 8 月
- ▼394. 全国市町村名変遷総覧 (全訂)
日本加除出版株式会社編集部編, 東京: 日本加除出版, 2006 年 8 月
- ▼395. 新訂 全国地名駅名よみかた辞典 平成の市町村大合併対応
日外アソシエーツ編, 東京: 日外アソシエーツ, 2006 年 10 月
- ▼396. 東京語ノ成立 新しく発見された保科孝一講義録
小林政吾筆録/武田佳子翻刻, 東京: 国書刊行会, 2006 年 12 月
- ▼397. 江戸・東京の地理と地名 スーパービジュアル版 「町」から「街」へ 時を超えた東京散歩
鈴木理生, 東京: 日本実業出版社, 2006 年 12 月
- ▼398. 江戸・東京の地名 作家が愛した風景/小説の舞台 (別冊歴史読本 55 号 (第 32 巻第 03 号通巻 748 号))
菊池紳一編集, 東京: 新人物往来社, 2007 年 1 月
- ▼399. 東京都のことば (日本のことばシリーズ 13)
平山輝男編著者代表/秋永一枝編, 東京: 明治書院, 2007 年 1 月
- ▼400. 変わる方言 動く標準語 (ちくま新書 642)
井上史雄, 東京: 筑摩書房, 2007 年 2 月
- ▼401. 江戸東京地名辞典 (講談社学術文庫 1870)
北村一夫, 東京: 講談社, 2008 年 4 月
- ▼402. 武蔵野・青梅 (私の日本地図 10 (宮本常一著作集別集))
宮本常一著/香月洋一郎編, 東京: 未来社, 2008 年 7 月
- ▼403. 使ってみたいイキでイナセな江戸ことば
柳亭左龍, 東京: 小学館, 2008 年 9 月
- ▼404. 東京の消えた地名辞典
竹内誠編, 東京: 東京堂出版, 2009 年 1 月
- ▼405. 江戸・東京語研究 共通語への道
土屋信一, 東京: 勉誠出版, 2009 年 1 月
- ▼406. 富津岬 東京湾口の自然と人生の年輪 2
富津公民館東京湾学講座富津湾の会編, 富津: 富津公民館東京湾学講座富津湾の会, 2009 年 2 月
- ▼407. 首都圏方言の研究 (平成 20 年度國學院大學特色ある教育研究)
久野マリ子編, 東京: 國學院大學大学院文学研究科, 2009 年 3 月
- ▼408. 江戸情調 (日本民俗選集 6 復刻)
小川直之編・解説/笹川種郎・上林豊明著, 東京: クレス出版, 2009 年 3 月
- ▼409. 武蔵野界限むかし語り 語り部宮崎勇氏にきく

- 麻生泰子編，武蔵野：武蔵野市開発公社，2009年3月
- ▼410. 首都圏1 東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県（日本の地誌5）
菅野峰明・佐野充・谷内達編，東京：朝倉書店，2009年4月
- ▼411. 使ってみねえ本場の江戸語（文春文庫の-14-2）
野火迅，東京：文藝春秋，2009年4月
- ▼412. 東京大都市圏の空間形成とコミュニティ
玉野和志・浅川達人編，東京：古今書院，2009年5月
- ▼413. 県史誌内容総覧資料編1 近世－関東
日外アソシエーツ株式会社編集，東京：日外アソシエーツ/紀伊國屋書店(発売)，2009年8月
- ▼414. 江戸切絵図今昔散歩
佐々悦久編，東京：新人物往来社，2009年10月
- ▼415. 江戸東京残したい地名（「消えてゆく東京の地名」(1987年刊)の改題）
本間信治，東京：自由国民社，2009年11月
- ▼416. 東京23区の地名の由来
金子勤，東京：幻冬舎ルネッサンス，2010年2月
- ▼417. 『(新) 明解日本語アクセント辞典』からの報告（アクセント史資料索引：別冊：5）
秋永一枝・坂本清恵，東京：アクセント史資料研究会，2010年3月
- ▼418. 首都圏における言語動態の研究
田中ゆかり，東京：笠間書院，2010年3月
- ▼419. 県史誌内容総覧通史編3 近現代－関東
日外アソシエーツ株式会社編集，東京：日外アソシエーツ/紀伊國屋書店(発売)，2010年6月
- ▼420. 東松山の地名と歴史
岡田潔，東松山：まつやま書房，2010年7月
- ▼421. 新明解日本語アクセント辞典 CD付き
秋永一枝編/金田一春彦監修，東京：三省堂，2010年9月
- ▼422. 宮本常一とあるいた昭和の日本11 関東甲信越1（あるくみるきく双書）
田村善次郎・宮本千晴監修/須藤功編，東京：農山漁村文化協会，2010年9月
- ▼423. 江戸っ子語絵解き辞典（遊子館歴史図像シリーズ／「絵解き江戸っ子語大辞典」（2003年刊）の改題改訂）
笹間良彦画/瓜坊進増補改訂・口絵，東京：遊子館，2010年10月
- ▼424. 東京今昔歩く地図帖 彩色絵はがき、古写真、古地図でくらべる（学研ビジュアル新書004）
井口悦男・生田誠，東京：学研パブリッシング，2010年11月
- ▼425. 両神の民俗的世界 埼玉県秩父郡旧両神村小森谷民俗誌
埼玉大学文化人類学両神調査会編，東京：せりか書房，2010年11月
- ▼426. 江戸・東京下町の歳時記（集英社新書0570D）
荒井修，東京：集英社，2010年12月
- ▼427. 大江戸古地図散歩 切絵図と現況地図をオールカラーで比較（新人物文庫）
佐々悦久編，東京：新人物往来社，2011年2月
- ▼428. なるほど日本地名事典2 宮城県～神奈川県
蟻川明男，東京：大月書店，2011年3月
- ▼429. なるほど日本地名事典3 東京都～愛知県
蟻川明男，東京：大月書店，2011年3月
- ▼430. 宮本常一とあるいた昭和の日本12 関東甲信越2（あるくみるきく双書）
田村善次郎・宮本千晴監修/森本孝編，東京：農山漁村文化協会，2011年4月
- ▼431. 東京今昔旅の案内帖 彩色絵はがき、古写真、古地図でたずねる（学研ビジュアル新書）

- 井口悦男・生田誠，東京，学研パブリッシング/学研マーケティング(発売)，2011 年 5 月
- ▼432. 「方言コスプレ」の時代：ニセ関西弁から龍馬語まで
田中ゆかり，東京：岩波書店，2011 年 9 月
- ▼433. 鎌倉・横浜・湘南今昔歩く地図帖 彩色絵はがき、古写真、古地図でくまべる（学研ビジュアル新書 009）
井口悦男・生田誠，東京：学研パブリッシング，2011 年 10 月
- ▼434. 東村山とその周辺のことば
「東村山とその周辺のことば」編集委員会編，東京：東村山郷土研究会，2011 年 12 月
- ▼435. 宮本常一とあるいた昭和の日本 13 関東甲信越 3（あるくみるきく双書）
田村善次郎・宮本千晴監修/森本孝編，東京：農山漁村文化協会，2011 年 12 月
- ▼436. 東京ことば辞典
井上史雄監修/金端伸江編，東京：明治書院，2012 年 6 月

2. 論文

- ▼437. 安房国方言歌
岡村増太郎，人類学会誌，京都：九学会連合編/關書房，1886 年 10 月
- ▼438. 猿島郡方言表
東宮鉄真呂，人類学会誌，京都：九学会連合編/關書房，1889 年 5 月
- ▼439. 上総国長柄郡一ノ宮方言表
大久保初男，人類学会誌，京都：九学会連合編/關書房，1889 年 6 月
- ▼440. 上総の常用語と古語
巖真生，こころの華 5(9)，東京：竹柏會出版部，1902 年 9 月
- ▼441. 東京と京都
著山生，風俗画報 270，東京：東陽堂，1903 年 6 月
- ▼442. 上総地方幼童稚女の方言
ジ・はやし生，風俗画報 281，東京：東陽堂，1904 年 1 月
- ▼443. 下総国香取郡東部地方の方言
木内桂華，風俗画報 281，東京：東陽堂，1904 年 1 月
- ▼444. 上総地方の植物方名
林天然，風俗画報 332，東京：東陽堂，1906 年 1 月
- ▼445. 関東べい
保科孝一，帝国文学，東京：大日本圖書，1910 月
- ▼446. 東葛飾郡馬橋村地方方言
宮本摺衣，人類学会誌，京都：九学会連合編/關書房，1910 年 8 月
- ▼447. 九十九里浜方言考
蓋山處士，風俗画報 477，東京：東陽堂，1916 年 2 月
- ▼448. 東歌と足柄方言
生田耕一，国語国文の研究 3，京都：京都国語国文研究会編/文献書院，1926 年 12 月
- ▼449. 東京両京の言葉戦ひ
吉沢吉則，黒潮 32-01，東京：春陽堂，1927 年 1 月
- ▼450. 関東言葉に就いて
保科孝一，黒潮 32-01，東京：春陽堂，1927 年 1 月
- ▼451. 蟻螂考
柳田国男，土のいろ 04-04，曳馬村(静岡県)：土のいろ社，1927 年 9 月

- ▼452. 東京下町方言の動詞活用に就いて
三宅武郎, 音声の研究 2, 東京: 日本音声学会, 1928 年 12 月
- ▼453. 東京児童の訛音について
松坂忠則, 音声学協会会報 19, 東京: 日本音声学協会, 1930 年 6 月
- ▼454. 方言雑記 (三河、足込、相模、鳥屋)
山本靖民, 旅と伝説 03-07, 東京: 三元社, 1930 年 7 月
- ▼455. 全国蟻螂方言集
佐藤清明, 方言と土俗 01-05, 盛岡: 一言社, 1930 年 10 月
- ▼456. 房州平館方言
宮本勢助, 方言と土俗 01-06, 盛岡: 一言社, 1930 年 11 月
- ▼457. 蟻螂方言補遺
佐藤清明, 方言と土俗 01-08, 盛岡: 一言社, 1930 年 12 月
- ▼458. 神奈川県下方言メモ
山本靖民, 音声学協会会報 21, 東京: 日本音声学協会, 1930 年 12 月
- ▼459. 横浜市中部の児童用語
永田吉太郎, 国語教育 16-06, 東京: 育英書院, 1931 年 6 月
- ▼460. 下総地方の方言集
斎藤源三郎, 旅と伝説 04-06, 東京: 三元社, 1931 年 6 月
- ▼461. 横浜市池上の方言
永田吉太郎, 音声学協会会報 24, 東京: 日本音声学協会, 1931 年 9 月
- ▼462. 神奈川県蝸牛方言
山本靖民, 方言 01-02, 東京: 春陽堂, 1931 年 10 月
- ▼463. 秩父地方に於ける方言に就て
逸見嘉一, 国語教育 16-12, 東京: 育英書院, 1931 年 12 月
- ▼464. 奥秩父の毬つき歌
倉沢奎一, 国語教育 17-01, 東京: 育英書院, 1932 年 1 月
- ▼465. 宗岡村の童詞 (埼玉県)
池之内好次郎, 愛媛県周桑郡郷土研究彙報 15, 壬生川町(愛媛県): 郷土研究会, 1932 年 1 月
- ▼466. 入間郡に於ける動物方言
池之内好次郎, 郷土研究むさしの 1, 宗岡村(埼玉県): 武蔵野郷土会, 1932 年 1 月
- ▼467. 内間木村に於ける擲擲詞 (童児)
鈴木武夫, 郷土研究むさしの 1, 宗岡村(埼玉県): 武蔵野郷土会, 1932 年 1 月
- ▼468. 川越市に於けるこどもの戯詞、擲擲詞など
杉山正世, 郷土研究むさしの 2, 宗岡村(埼玉県): 武蔵野郷土会, 1932 年 2 月
- ▼469. 入間郡に於ける植物方言
池之内好次郎, 郷土研究むさしの 2, 宗岡村(埼玉県): 武蔵野郷土会, 1932 年 2 月
- ▼470. 東京市内外の蟬
高島春雄, 昆虫世界, 岐阜: 名和昆蟲研究所, 1932 年 2 月・3 月
- ▼471. 「秩父地方に於ける方言に就て」を読む
富山民蔵, 国語教育 17-03, 東京: 育英書院, 1932 年 3 月
- ▼472. 神奈川県の方言採集について
山本靖民, 巖松堂展望, 東京: 巖松堂書店, 1932 年 4 月
- ▼473. 埼玉県に於ける「谷」「やつ」「谷戸」に就いて
渡辺繁興, 方言 02-04, 東京: 春陽堂, 1932 年 4 月

- ▼474. 宗岡村に於ける天文・地理の方言
池之内好次郎, 郷土研究むさしの 3, 宗岡村(埼玉県): 武蔵野郷土会, 1932 年 6 月
- ▼475. 全国螻蛄方言名彙
佐藤清明, 方言 02-07, 東京: 春陽堂, 1932 年 7 月
- ▼476. 東総地方方言集
斎藤達夫, 方言誌 03, 東京: 國學院大學方言研究会, 1932 年 7 月
- ▼477. 刊行方言書目解題 4—関東地方之部—
東条操, 方言 02-07, 東京: 春陽堂, 1932 年 7 月
- ▼478. 房州言葉で作られた歌
館山育男, 方言 02-09, 東京: 春陽堂, 1932 年 9 月
- ▼479. 片足跳の方言 (埼玉県)
杉山正世, 郷土研究むさしの 5, 宗岡村(埼玉県): 武蔵野郷土会, 1932 年 9 月
- ▼480. 土合村郷土誌記載方言及訛語
[編著者不明], 郷土研究むさしの 6, 宗岡村(埼玉県): 武蔵野郷土会, 1932 年 10 月
- ▼481. 東京の幼児語と婦人語
永田吉太郎, 方言と土俗 03-06, 盛岡: 一言社, 1932 年 10 月
- ▼482. 房総地方の動植物方言 1
斎藤源三郎, 方言と土俗 03-06, 盛岡: 一言社, 1932 年 10 月
- ▼483. 横浜方言洋語考資料
重久篤太郎, 外来語研究 1, 京都: 外来語研究会編/平野書店, 1932 年 10 月
- ▼484. めだかの方言 (埼玉県)
杉山正世, 郷土研究むさしの 6, 宗岡村(埼玉県): 武蔵野郷土会, 1932 年 10 月
- ▼485. 「房州言葉で作られた歌」補訂
館山育男, 方言 02-11, 東京: 春陽堂, 1932 年 11 月
- ▼486. 房総地方の動植物方言 2
斎藤源三郎, 方言と土俗 03-07, 盛岡: 一言社, 1932 年 11 月
- ▼487. 東京方言と標準語
森正俊, 国語教育 17-11, 東京: 育英書院, 1932 年 11 月
- ▼488. べえべえ言葉の語法
谷島彦三郎, 国語教育 17-12, 東京: 育英書院, 1932 年 12 月
- ▼489. 天文地理の方言 (埼玉県)
[編著者不明], 郷土研究むさしの 7, 宗岡村(埼玉県): 武蔵野郷土会, 1933 年 1 月
- ▼490. 関東の方言調査
東条操, 方言 03-01, 東京: 春陽堂, 1933 年 1 月
- ▼491. 東京語に於ける母音の無声化に就いて
杉山栄一, 方言 03-02, 東京: 春陽堂, 1933 年 2 月
- ▼492. 房総地方の鳥類方言補遺
斎藤源三郎, 方言と土俗 03-11, 盛岡: 一言社, 1933 年 3 月
- ▼493. 宗岡村に於ける人倫肢体の方言
池之内好次郎, 郷土研究むさしの 8, 宗岡村(埼玉県): 武蔵野郷土会, 1933 年 3 月
- ▼494. 神奈川県方言資料
山本靖民, 方言 03-04, 東京: 春陽堂, 1933 年 4 月
- ▼495. 神奈川県の方言調査につき
東条操, 方言 03-04, 東京: 春陽堂, 1933 年 4 月

- ▼496. 自在鉤の方言（上総長生郡）
内田邦彦，方言と土俗 03-12，盛岡：一言社，1933 年 4 月
- ▼497. 幼な詞の調査（埼玉県）
[編著者不明]，郷土研究むさしの 9，宗岡村(埼玉県)：武蔵野郷土会，1933 年 5 月
- ▼498. ガ行鼻音に就て
宮良当壮，土の香 50，起町(愛知県)：土俗趣味社，1933 年 5 月
- ▼499. 千葉県地方セミ類の方言
斎藤義七郎，方言と土俗 04-01，盛岡：一言社，1933 年 5 月
- ▼500. 養蚕に関する方言（東京府下）
村田鈴城，土の香 50，起町(愛知県)：土俗趣味社，1933 年 5 月
- ▼501. 瑞江・葛西言葉
福里栄三，方言 03-06，東京：春陽堂，1933 年 6 月
- ▼502. 入間郡方言資料解説
池之内好次郎，郷土研究むさしの 10，宗岡村(埼玉県)：武蔵野郷土会，1933 年 8 月
- ▼503. 神奈川県の主な蝸牛方言
山本靖民・永田吉太郎，音声学協会会報 31，東京：日本音声学協会，1933 年 9 月
- ▼504. 千葉県地方春蘭の方言
斎藤源三郎，方言と土俗 04-06，盛岡：一言社，1933 年 10 月
- ▼505. 埼玉県方言資料目録（補遺）
上野勇，郷土研究むさしの 11，宗岡村(埼玉県)：武蔵野郷土会，1933 年 10 月
- ▼506. 蟻螂と蜥蜴との称呼（埼玉県）
杉山正世，郷土研究むさしの 11，宗岡村(埼玉県)：武蔵野郷土会，1933 年 10 月
- ▼507. 瑞江言葉と国語教育
福里栄三，瑞江，[発行地不明]：[発行所不明]，1933 年 11 月
- ▼508. 三馬と方言
山田正紀，方言 03-12，東京：春陽堂，1933 年 12 月
- ▼509. 東京地方の語彙から
永田吉太郎，土の香 60，起町(愛知県)：土俗趣味社，1934 年 1 月
- ▼510. 数詞を冠った屋敷（房州館山付近）
館山育男，旅と伝説 07-01，東京：三元社，1934 年 1 月
- ▼511. 江戸語に関する一疑問
吉田澄夫，土の香 60，起町(愛知県)：土俗趣味社，1934 年 1 月
- ▼512. 江戸方言より東京語へ
吉田澄夫，小学校国語教材研究，[発行地不明]：[発行所不明]，1934 年 1 月
- ▼513. 方言整理の一例（相模国高座郡南部地方）
[編著者不明]，国語と民族思想 2，藤沢町(神奈川県)：湘南国語研究会，1934 年 2 月
- ▼514. 埼玉県に於ける蝸牛の称呼
杉山正世，郷土研究むさしの 12，宗岡村(埼玉県)：武蔵野郷土会，1934 年 2 月
- ▼515. 罵倒語集稿（埼玉県幸手町）
上野勇，土の香 68，起町(愛知県)：土俗趣味社，1934 年 5 月
- ▼516. 接尾辞「げ」「さう」及助詞「に」に就いて—埼玉県幸手町—
上野勇，方言 04-09，東京：春陽堂，1934 年 9 月
- ▼517. 江戸俗語語彙
松川弘太郎，関東兵衛，藤沢町(神奈川県)：江戸探訪会，1934 年 11 月

- ▼518. 埼玉県方言
上野勇, 埼玉教育 25, 浦和 : 埼玉県教育研究所, 1934 年 11 月
- ▼519. 埼玉県方言
上野勇, 埼玉教育 26, 浦和 : 埼玉県教育研究所, 1934 年 12 月
- ▼520. 江戸語の時代区分
吉田澄夫, 方言 05-01, 東京 : 春陽堂, 1935 年 1 月
- ▼521. 新読本による宗岡村地方語のアクセント
池之内好次郎, 郷土研究むさしの 14, 宗岡村(埼玉県) : 武蔵野郷土会, 1935 年 1 月
- ▼522. 江戸時代語に関する二三の考察
頼原退蔵, 方言 05-01, 東京 : 春陽堂, 1935 年 1 月
- ▼523. 江戸遊女の言葉
松川弘太郎, 江戸時代語研究 01-01, [発行地不明] : 江戸探訪會, 1935 年 2 月
- ▼524. 江戸訛の型
松川弘太郎, 江戸時代語研究 01-01, [発行地不明] : 江戸探訪會, 1935 年 2 月
- ▼525. 六方言葉の考察
松川弘太郎, 江戸時代語研究 01-01, [発行地不明] : 江戸探訪會, 1935 年 2 月
- ▼526. 埼玉県方言
上野勇, 埼玉教育 29, 浦和 : 埼玉県教育研究所, 1935 年 3 月
- ▼527. 東京俗語考
橘正一, 江戸時代語研究 01-02, [発行地不明] : 江戸探訪會, 1935 年 4 月
- ▼528. 江戸訛の型
松川弘太郎, 江戸時代語研究 01-02, [発行地不明] : 江戸探訪會, 1935 年 4 月
- ▼529. 埼玉県方言
上野勇, 埼玉教育 30, 浦和 : 埼玉県教育研究所, 1935 年 4 月
- ▼530. 吉原六方といとなみ六方
忍頂寺務, 江戸時代語研究 01-02, [発行地不明] : 江戸探訪會, 1935 年 4 月
- ▼531. 埼玉県方言
上野勇, 埼玉教育 31, 浦和 : 埼玉県教育研究所, 1935 年 5 月
- ▼532. 千葉県印旛郡方言訛語 1
印旛郡国語教育研究部, 方言 05-06, 東京 : 春陽堂, 1935 年 6 月
- ▼533. 六方言葉語彙
松川弘太郎, 江戸時代語研究 01-03, [発行地不明] : 江戸探訪會, 1935 年 6 月
- ▼534. 江戸語の研究資料など
松川弘太郎, 文字と言語 6, 山添村(山形県東田川郡) : 斎藤秀一, 1935 年 7 月
- ▼535. 東武地方に於ける植物方言二三
上野勇, 文字と言語 6, 山添村(山形県東田川郡) : 斎藤秀一, 1935 年 7 月
- ▼536. 千葉県印旛郡方言訛語 2
印旛郡国語教育研究部, 方言 05-08, 東京 : 春陽堂, 1935 年 8 月
- ▼537. 江戸弁に於ける京阪語の要素
橘正一, 江戸時代語研究 01-04, [発行地不明] : 江戸探訪會, 1935 年 10 月
- ▼538. 相州江の島語彙
清野久雄, 方言 05-11, 東京 : 春陽堂, 1935 年 11 月
- ▼539. 関東地方の方言分布
東条操, 国語教育 20-11, 東京 : 育英書院, 1935 年 11 月

- ▼540. 東京京阪言葉違
窮食庵野立・岩井半英, 国語研究 04-01, 東京: 國學院大學国語研究会, 1936 年 1 月
- ▼541. 言語島としての江戸 (式亭三馬の作を通じて)
山田正紀, コトバ, 東京: 文学社, 1936 年 2 月
- ▼542. 江戸語解釈上の異見
佐藤鶴吉, 国語国文, 京都: 京都大学文学部国語学国文学研究室編/中央図書出版社, 1936 年 4 月
- ▼543. 下総印旛郡の村言葉
水野葉舟, 旅と伝説 09-04, 東京: 三元社, 1936 年 4 月
- ▼544. 上総漁村語彙
倉田一郎, 方言 06-04, 東京: 春陽堂, 1936 年 4 月
- ▼545. 西多摩郡檜原村語彙
大藤時彦, 方言 06-05, 東京: 春陽堂, 1936 年 5 月
- ▼546. 千葉県長生郡一宮町方言
浅野栄一郎, 方言誌 16, 東京: 國學院大學方言研究会, 1936 年 6 月
- ▼547. 関東方言の二三の音韻現象
東条操, 音声学協会会報 42, 東京: 日本音声学協会, 1936 年 6 月
- ▼548. 房州平館方言資料
宮本馨太郎, 方言 06-07, 東京: 春陽堂, 1936 年 7 月
- ▼549. 秩父方言管見
篠田清之助, 知々夫 4, 秩父町: 埼玉縣立秩父高等女學校學友会, 1936 年 7 月
- ▼550. 江戸語の複語尾に就いて
高橋俊良, 国学, 東京: 日本大学国文学会, 1936 年 8 月
- ▼551. 東京語実用文典編纂の必要
野村八良, 言語問題 02-08, 東京: 言語問題談話会編/研究社, 1936 年 8 月
- ▼552. 江戸弁の話
金子元臣, 文芸春秋, 東京: 文藝春秋, 1936 年 9 月
- ▼553. 江戸時代初期東国語の一資料—雑兵物語の成立について—
中村通夫, 方言 06-09, 東京: 春陽堂, 1936 年 9 月
- ▼554. 幸手方言形容詞抄
上野勇, 文字と言語 10, 山添村(山形県東田川郡): 斎藤秀一, 1936 年 11 月
- ▼555. 霜柱と氷柱 (関東の方言より)
東条操, 文字と言語 10, 山添村(山形県東田川郡): 斎藤秀一, 1936 年 11 月
- ▼556. 川越付近の方言について
野本米吉, 国語教育 22-01, 東京: 育英書院, 1937 年 1 月
- ▼557. 幸手方言その他
上野勇, 方言 07-02, 東京: 春陽堂, 1937 年 3 月
- ▼558. 埼玉県入間郡方言集稿
池之内好次郎, 方言 07-02, 東京: 春陽堂, 1937 年 3 月
- ▼559. 埼玉県方言資料目録
池之内好次郎, 方言 07-02, 東京: 春陽堂, 1937 年 3 月
- ▼560. 埼玉県の方言区画
東条操, 方言 07-02, 東京: 春陽堂, 1937 年 3 月
- ▼561. 秩父地方の方言調査票より
東条操, 方言 07-02, 東京: 春陽堂, 1937 年 3 月

- ▼562. 関東ベイ
橘正一, コトバ, 東京: 文学社, 1937 年 7 月
- ▼563. 国語に於ける東西方言交渉史
中村通夫, 国語と国文学, 茨城: 茨城大学, 1937 年 7 月
- ▼564. 植物による子供の遊びとその呼び名ー下総印旛郡八生村近傍ー
小川景, 方言 07-08, 東京: 春陽堂, 1937 年 10 月
- ▼565. 言語
篠田清之助, 中川村誌[改訂版], 中川村(埼玉県秩父郡): 富田豊編/中川村役場, 1937 年 11 月
- ▼566. 東京語と疊音の副詞
松川弘太郎, 方言 07-09, 東京: 春陽堂, 1937 年 11 月
- ▼567. 東京語と疊音の副詞
松川弘太郎, 方言 08-01, 東京: 春陽堂, 1938 年 1 月
- ▼568. 関東の唾の方言
東条操, 音声学協会会報 50, 東京: 日本音声学協会, 1938 年 1 月
- ▼569. 関東地方の方言分布
東条操, 日本文学論 攷垣内教授還暦記念論文集, 東京: 垣内先生還暦記念会, 1938 年 1 月
- ▼570. 秩父大櫓村語彙
小西ゆき子, 方言 08-02, 東京: 春陽堂, 1938 年 5 月
- ▼571. 関東方言の区画
東条操, 日本諸學振興委員會研究報告第 12 篇, 東京: 教學局[編]/内閣印刷局, 1938 年 6 月
- ▼572. 相州北足柄村狩獵語彙
野口長義, 民間伝承 34, 東京: 民間伝承誌友会, 1938 年 6 月
- ▼573. 相州北足柄村狩獵語彙
野口長義, 民間伝承 35, 東京: 民間伝承誌友会, 1938 年 7 月
- ▼574. 江戸語二三
山崎麓, 国語と国文学 15-08, 東京: 東京大学国語国文学会編/至文堂, 1938 年 8 月
- ▼575. 現代日本語に於けるアクセントの問題
三宅武郎, 国語国文 08-10, 京都: 京都大学文学部国語学国文学研究室編/中央図書出版社, 1938 年 10 月
- ▼576. 埼玉県秩父郡大滝村に於ける農業と農具
小川徹, 民俗学年報 11, [発行地不明]: [発行所不明], 1938 年 12 月
- ▼577. 関東に於ける蠶繭の土語
東条操, 国語と国文学 15-12, 東京: 東京大学国語国文学会編/至文堂, 1938 年 12 月
- ▼578. 東西方言の分界線に就いて
黒田鉦一, 国語教育, [発行地不明]: [発行所不明], 1939 年 4 月
- ▼579. 標準語と東京方言
東条操, 国語教育誌, 東京: 國語教育學會, 1939 年 4 月
- ▼580. 東京弁について
中島健蔵, 文学界, 東京: 文化公論社, 1939 年 12 月
- ▼581. 近世江戸語の助詞
奥山亨吉, 国学, [発行地不明]: [発行所不明], 1940 年 3 月
- ▼582. 東京語を護れ
保科孝一, 国語教育, [発行地不明]: [発行所不明], 1940 年 3 月
- ▼583. 坂東サ
橘正一, 国語研究 08-05, 東京: 國學院大學国語研究会, 1940 年 5 月

- ▼584. 気象に関する方言、訛語（下総）
篠田定吉，旅と伝説 13-11，東京：三元社，1940 年 11 月
- ▼585. 東京語に於ける動詞の命令形
中村通夫，学苑 08-02，東京：光葉会(日本女子高等学院内)，1941 年 2 月
- ▼586. 東京語に於ける意志と推量形
中村通夫，コトバ 03-04，東京：文学社，1941 年 4 月
- ▼587. 東京語の形成
中村通夫，国語教育誌 04-05，東京：国語教育學會，1941 年 5 月
- ▼588. 東京語のアクセント
三宅武郎，日本語 01-04，東京：日本語教育振興會編/日語文化協會，1941 年 7 月
- ▼589. 東京語の話
大西雅雄，国語愛，東京：修文館，1941 年 7 月
- ▼590. 東京語アクセントの再検討
金田一春彦，国語教育誌 04-07，東京：国語教育學會，1941 年 8 月
- ▼591. 東京語の問題
中村通夫，日本語 01-05，東京：日本語教育振興會編/日語文化協會，1941 年 8 月
- ▼592. 東京語アクセントの再検討
金田一春彦，国語教育誌 04-08，東京：国語教育學會，1941 年 9 月
- ▼593. 東京語の問題
中村通夫，日本語 01-06，東京：日本語教育振興會編/日語文化協會，1941 年 9 月
- ▼594. 東京語の問題
中村通夫，日本語 01-07，東京：日本語教育振興會編/日語文化協會，1941 年 10 月
- ▼595. 東京語小見
小島忠治，国語文化 02-03，東京：育英書院，1942 年 3 月
- ▼596. 関東地方に於けるアクセントの音韻分布
金田一春彦，日本語のアクセント，東京：日本方言學會編/中央公論社，1942 年 4 月
- ▼597. 類聚名義抄のアクセントと諸方言アクセントとの対応関係
大原孝道，日本語のアクセント，東京：日本方言學會編/中央公論社，1942 年 4 月
- ▼598. 「曖昧アクセント」に就いて
平山輝男，コトバ 04-11，東京：文学社，1942 年 11 月
- ▼599. 移りゆく東京アクセント
金田一春彦，国語文化 02-13，東京：育英書院，1942 年 12 月
- ▼600. The Phonemes of the Tokyo Dialect of Japanese.
Bloch, B., Maitre Phonetique 03-79, London, Univ. College London, 1943 年
- ▼601. 東京の言ひ方さまざま
都竹通年雄，ローマ字世界，東京：日本のローマ字社，1943 年 1 月
- ▼602. 移り行く東京アクセント
金田一春彦，国語文化 03-03，東京：育英書院，1943 年 3 月
- ▼603. 移り行く東京アクセント
金田一春彦，国語文化 03-04，東京：育英書院，1943 年 4 月
- ▼604. 東京語か標準語か
岡野久胤，国語新聞 07-05，[発行地不明]：[発行所不明]，1943 年 5 月
- ▼605. 移り行く東京アクセント
金田一春彦，国語文化 03-06，東京：育英書院，1943 年 6 月

- ▼606. 複合語アクセントの後部成素として見た二音節名詞
和田実, 方言研究 7, 東京: 日本方言學會, 1943 年 6 月
- ▼607. 関東平野に於ける音韻分布
金田一春彦, 方言研究 8, 東京: 日本方言學會, 1943 年 11 月
- ▼608. 東京標準語対近畿方言の固有名詞に於ける音調比較
寺川喜四男, 方言研究 10, 東京: 日本方言學會, 1944 年 7 月
- ▼609. 東京語における「花」と「鼻」の別
金田一春彦, 季刊国語 1, [発行地不明]: [発行所不明], 1947 年 6 月
- ▼610. べい言葉の歴史と語法
中沢政雄, 季刊国語 1, [発行地不明]: [発行所不明], 1947 年 6 月
- ▼611. 箱根地方の方言 1
勝俣久作, 日本の言葉 4, 東京: 日本の言葉研究会, 1947 年 9 月
- ▼612. 箱根地方の方言 2
勝俣久作, 日本の言葉 5, 東京: 日本の言葉研究会, 1947 年 10 月
- ▼613. 箱根地方の方言 3,
勝俣久作, 日本の言葉 6, 東京: 日本の言葉研究会, 1948 年 3 月
- ▼614. 中村通夫著「東京語の性格」
松村明, 国語と国文学 26-08, 東京: 東京大学国語国文学会編/至文堂, 1949 年 8 月
- ▼615. 「東京語の性格」と「大阪弁の研究」
U 生, 新聞用語研究 33, 東京: 朝日新聞社, 1949 年 10 月
- ▼616. 埼玉県熊谷付近の方言に遺る二三の古語
田島福重, 山形大学紀要(人文科学) 1, 山形: 山形大学, 1950 年 3 月
- ▼617. 江戸末期の江戸・紀伊方言資料—今井一志斎(元方)「探囊雜識」より—
[編著者不明], 近畿方言 3, 大阪: 近畿方言学会, 1950 年 5 月
- ▼618. 埼玉方言の語法 1
大久保忠国, ニュースクール昭和 25 年 6, 浦和: ニュースクール研究會編/埼玉県教育研究所, 1950 年 6 月
- ▼619. 埼玉方言の語法 2
大久保忠国, ニュースクール昭和 25 年 7, 浦和: ニュースクール研究會編/埼玉県教育研究所, 1950 年 7 月
- ▼620. 動物の呼び名—秩父地方採集手帖から—
斎藤広一, 秩父郷土史報 01-01, 秩父: 秩父市立図書館, 1951 年
- ▼621. 市川市北部の方言
万慶子, 国語と教育 2, 木下町(千葉県): 千葉大学国語研究室, 1951 年 1 月
- ▼622. 埼玉県の方言研究
池之内好次郎, ニュースクール昭和 26 年 2, 浦和: ニュースクール研究會編/埼玉県教育研究所, 1951 年 2 月
- ▼623. 東京方言および各地方の調査研究
[編著者不明], 昭和 24 年度国立国語研究所年報 1, 東京: 国立国語研究所/秀英出版, 1951 年 3 月
- ▼624. 東京語の実態
松村明, 国語学 7, 大阪: 秋田屋, 1951 年 9 月
- ▼625. 東京地方方言の心理・音声学的研究—特に行動心理主義言語学の立場より—
大西雅雄, 研究論文抄録誌 2, 東京: 文学・哲学・史学会連合, 1951 年 11 月
- ▼626. 山の手ことばと下町ことばの違い
柴田武・中村通夫, 人類科学 3, 京都: 九学会連合編/關書房, 1951 年 12 月
- ▼627. 動詞の連用形とアクセント
都竹通年雄, 国語アクセント論叢, 東京: 法政大学出版局, 1951 年 12 月

- ▼628. いわゆる A 型 B 型アクセントはどうなったか
満田新一郎, 国語アクセント論叢, 東京: 法政大学出版局, 1951 年 12 月
- ▼629. 赤とんぼーいわゆる「基本アクセント型」におちいる語の処置などー
和田実, 国語アクセント論叢, 東京: 法政大学出版局, 1951 年 12 月
- ▼630. 秩父地方の養蚕語彙
斎藤広一, 秩父郷土史報 01-05, 秩父: 秩父市立図書館, 1952 年
- ▼631. 両神村煤川部落の方言
守野順吉, 秩父郷土史報 01-06, 秩父: 秩父市立図書館, 1952 年
- ▼632. 神奈川県方言考 上
日野資純, かながわ教育 35, 横浜: 「かながわ教育」刊行協会, 1952 年 4 月
- ▼633. 神奈川県方言考 下
日野資純, かながわ教育 36, 横浜: 「かながわ教育」刊行協会, 1952 年 5 月
- ▼634. 相模方言の素描
日野資純, 国語学 9, 大阪: 秋田屋, 1952 年 5 月
- ▼635. こどもの言葉は移住によってどう変るか
北村甫, 言語生活 8, 東京: 筑摩書房, 1952 年 5 月
- ▼636. 東京語に於ける「れる」型敬語の性格
金田弘, 日本文学論究 10, 東京: 國學院大學文学会, 1952 年 7 月
- ▼637. 足柄下郡南部の方言に就いて
中村亮雄, 文化神奈川 01-01, 横浜: 神奈川県郷土研究家連盟, 1952 年 7 月
- ▼638. (ことば風土記) 埼玉
大久保忠国, 言語生活 12, 東京: 筑摩書房, 1952 年 9 月
- ▼639. (ことば風土記) 足立っことば
池之内好次郎, 言語生活 12, 東京: 筑摩書房, 1952 年 9 月
- ▼640. 江戸方言より東京語へ
吉田澄夫, 近世語と近世文学, 東京: 東洋館出版社, 1952 年 10 月
- ▼641. 東京語の特色
吉田澄夫, 近世語と近世文学, 東京: 東洋館出版社, 1952 年 10 月
- ▼642. 東京方言
吉田澄夫, 近世語と近世文学, 東京: 東洋館出版社, 1952 年 10 月
- ▼643. 日本における新造語の問題
柳田国男, 文学 20-12, 東京: 岩波書店, 1952 年 12 月
- ▼644. 江戸語の音韻と東国方言
福島邦道, 国語 9, [発行地不明]: [発行所不明], 1953 年
- ▼645. 日本語音調 (アクセント) の種類と系統 (音声教育講座)
平山輝男, 中学 (国語・社会・英語) 教育技術 04-11 別冊付録, 東京: 小学館, 1953 年 1 月
- ▼646. ある農村におけるマス・コミュニケーションの実態ー神奈川県中郡金田村における調査の報告ー
池内一, 東京大学新聞研究所紀要 2, 東京: 東京大学新聞研究所, 1953 年 3 月
- ▼647. (ことば風土記) 相模ことば
日野資純, 言語生活 18, 東京: 筑摩書房, 1953 年 3 月
- ▼648. 言語の文化心理的研究ー特にアクセントに関する一考察ー
木本英人, 茨城大学文理学部紀要 (人文科学) 3, 水戸: 茨城大学文理学部, 1953 年 3 月
- ▼649. 共通語と方言 (現代語とは何か)
見坊豪紀, 国文学 解釈と鑑賞 18-06, 東京: 至文堂, 1953 年 6 月

- ▼650. 將來の標準語
石黒魯敏, 国文学 解釈と鑑賞 18-06, 東京: 至文堂, 1953 年 6 月
- ▼651. (ことば風土記) ブラことば
土川正男, 言語生活 21, 東京: 筑摩書房, 1953 年 6 月
- ▼652. 東京語について
木村莊八, 言語生活 21, 東京: 筑摩書房, 1953 年 6 月
- ▼653. 江戸言葉のアクセントについての一資料—齋藤彦磨の音声論—
福島邦道, 国語学 12, 東京: 国語学会, 1953 年 7 月
- ▼654. 「花高し」と「鼻高し」—東京アクセント段階観の限界—
川上葵, 音声学会会報 82, 東京: 日本音声学会, 1953 年 9 月
- ▼655. [研究発表要旨]「共通語と方言」の一問題—助動詞・助詞を中心として—
山本俊治, 国語学 13・14, 東京: 国語学会, 1953 年 10 月
- ▼656. 秩父の方言 1
斎藤広一, 秩父郷土史報 02-02, 秩父: 秩父市立図書館, 1954 年
- ▼657. 東京地方言の心理・音声学的研究—特に行動主義言語学の立場より—
大西雅雄, 文学・哲学・史学会連合編集研究論文集 2, 東京: 文学・哲学・史学会連合, 1954 年
- ▼658. 秩父金山の方言
田島忠雄, 秩父郷土史報 02-02, 秩父: 秩父市立図書館, 1954 年
- ▼659. 標準語の問題について
金田一京助, 実践国語 15-165, 東京: 実践国語研究所/穂波出版社, 1954 年 6 月
- ▼660. 標準語と方言
佐藤喜代治, 実践国語 15-165, 東京: 実践国語研究所/穂波出版社, 1954 年 6 月
- ▼661. 標準語←共通語←方言
大久保忠利, 実践国語 15-165, 東京: 実践国語研究所/穂波出版社, 1954 年 6 月
- ▼662. 標準語論
大西雅雄, 実践国語 15-165, 東京: 実践国語研究所/穂波出版社, 1954 年 6 月
- ▼663. 關東(方言の實態)
中澤政雄, 国文学 解釈と鑑賞 19-06, 東京: 至文堂, 1954 年 6 月
- ▼664. 標準語教育について思うこと
藤原与一, 実践国語 15-165, 東京: 実践国語研究所/穂波出版社, 1954 年 6 月
- ▼665. 第二標準語論
梅棹忠夫, 言語生活 33, 東京: 筑摩書房, 1954 年 6 月
- ▼666. 小学校中学年における標準語の指導
柏木勇夫, 実践国語 15-165, 東京: 実践国語研究所/穂波出版社, 1954 年 6 月
- ▼667. 私はこうして標準語教育をしている
白井嘉顕, 実践国語 15-165, 東京: 実践国語研究所/穂波出版社, 1954 年 6 月
- ▼668. 標準語教育はどうあるべきか
平山輝男, 実践国語 15-165, 東京: 実践国語研究所/穂波出版社, 1954 年 6 月
- ▼669. 東西両アクセントのちがいが出来るまで
金田一春彦, 文学 22-08, 東京: 岩波書店, 1954 年 8 月
- ▼670. 標準語と方言
磯貝敬, 国語教室 39, 東京: 大修館書店, 1954 年 10 月
- ▼671. 標準語論は具体的に
此島正年, 実践国語 15-169, 東京: 実践国語研究所/穂波出版社, 1954 年 10 月

- ▼672. 東京語の成立と発展—現代の国語—
松村明, 国文学 解釈と鑑賞 10, 東京: 至文堂, 1954 年 10 月
- ▼673. 標準語と方言
鈴木承憲, 国語教室 39, 東京: 大修館書店, 1954 年 10 月
- ▼674. 標準語と東京語
東条操, ことばの研究室 4, 東京: NHK, 1954 年 12 月
- ▼675. 二、三の語の分布からみた関東・東海東山方言の境界線について
牛山初男, 信濃 07-01, 松本: 信濃史学会, 1955 年 1 月
- ▼676. 標準語と方言
秋岡留治, 国語教室 41, 東京: 大修館書店, 1955 年 1 月
- ▼677. 僕の東京弁
福田常雄, 民間放送 28, 東京: 民間伝承誌友会, 1955 年 1 月
- ▼678. 文献紹介 標準語はこう考えられてきた
I, 言語生活 41, 東京: 筑摩書房, 1955 年 2 月
- ▼679. 方言から共通語へ
柴田武, 言語生活 41, 東京: 筑摩書房, 1955 年 2 月
- ▼680. 標準語の概念について—「第二標準語論」を反ばくする—
渡辺一郎, 言語生活 41, 東京: 筑摩書房, 1955 年 2 月
- ▼681. [座談会] 方言と共通語との交流
和田実・岩井隆盛・村岡浅夫・小野志真男・上野勇・北条忠雄, 言語生活 41, 東京: 筑摩書房, 1955 年 2 月
- ▼682. 標準語アクセントについての一考察
一柳慎悟, 音声学会会報 087, 東京: 日本音声学会, 1955 年 3 月
- ▼683. 文化変容現象として見た共通語化の問題—パーソナリティ・テストを通して—
森岡健二, 東京女子大学論集 05-02, 東京: 東京女子大学學會, 1955 年 3 月
- ▼684. 実社会と学校教育のズレにいかに対処するか、その内—方言と標準語の問題— (座談会)
古川哲史・高見順・阪本泉・細谷俊夫, 教育技術 10-03, 東京: 教育技術連盟編/小学館, 1955 年 6 月
- ▼685. 新しい標準語教育—どう方言を指導するか— (座談会)
柴田武・中沢政雄・山川幸世・山村恒雄, 教育技術中学国語 05-03, 東京: 小学館, 1955 年 6 月
- ▼686. 共通語と近代社会
大久保忠利, 教育技術中学国語 05-03, 東京: 小学館, 1955 年 6 月
- ▼687. 東京語に於けるエイとエーの別
川上泰, 音声学会会報 088, 東京: 日本音声学会, 1955 年 7 月
- ▼688. 江戸語から東京語へ
松村明, 国語と国文学 32-10, 東京: 東京大学国語国文学会編/至文堂, 1955 年 10 月
- ▼689. 標準語を衝く・ひどく気になる
内藤濯, 言語生活 49, 東京: 筑摩書房, 1955 年 10 月
- ▼690. 国語講座—関西弁対東京語
榎垣実, 教育技術中学国語 05-07, 東京: 小学館, 1955 年 10 月
- ▼691. 言葉の研究—東京式の標準語とハダカの大阪弁とお国言葉の新しさ—
加藤ライジ, 商店界, 東京: 商店界社, 1955 年 11 月
- ▼692. 日本語の方言 東日本の巻
都竹通年雄, 講座日本語 3, 東京: 大月書店, 1955 年 11 月
- ▼693. アナウンサーと標準語
山村恒雄, 小六教育技術 08-10, 東京: 教育技術連盟編/小学館, 1955 年 12 月

- ▼694. 標準語を衝く・ひどく気になる
内藤濯, 言語生活 51, 東京: 筑摩書房, 1955 年 12 月
- ▼695. [紹介] 土居光知著「日本音声の実験的研究」ー日本標準語のソナグラムー
[編著者不明], 言語生活 51, 東京: 筑摩書房, 1955 年 12 月
- ▼696. 言語時評ー機を折る東京人
金田一春彦, 言語生活 52, 東京: 筑摩書房, 1956 年 1 月
- ▼697. 漁村の小学校にみる進路指導の問題ー標準語と方言の問題をめぐってー
山崎鶴雄, 教育技術 10-12, 東京: 教育技術連盟編/小学館, 1956 年 1 月
- ▼698. 江戸時代における女性の生活とことば
真下三郎, 言語生活 52, 東京: 筑摩書房, 1956 年 1 月
- ▼699. 方言の旅 埼玉県・神奈川県
中村通夫, NHK 国語講座 02-01, 東京: NHK, 1956 年 1 月
- ▼700. 東京語から標準語へ
伊藤慎吾, 標準語と方言 (国語シリーズ 28), 東京: 明治図書出版, 1956 年 3 月
- ▼701. 東条操先生の「標準語引 分類方言辞典」を手にして
広戸惇, 国語学 24, 東京: 国語学会, 1956 年 3 月
- ▼702. 方言の旅 関東地方
中沢政雄, NHK 国語講座 02-02, 東京: NHK, 1956 年 3 月
- ▼703. 江戸弁と近頃東京弁
[編著者不明], 週刊サンケイ 4 月 22 日, 東京: 扶桑社, 1956 年 4 月
- ▼704. 標準語のあじけなさ
古谷綱武, 言語生活 57, 東京: 筑摩書房, 1956 年 6 月
- ▼705. ヒ音がンとなる傾向について
宮地伸一, 国語教室 57, 東京: 大修館書店, 1956 年 7 月
- ▼706. 近代東京語質問表現における終止形式の考察ーその通時的展開についてー
田中章夫, 国語学 25, 東京: 国語学会, 1956 年 7 月
- ▼707. 東京
金田一春彦, NHK 国語講座 方言の旅, 東京: 宝文館, 1956 年 9 月
- ▼708. 千葉
大岩正伸, NHK 国語講座 方言の旅, 東京: 宝文館, 1956 年 9 月
- ▼709. 埼玉・神奈川
中村通夫, NHK 国語講座 方言の旅, 東京: 宝文館, 1956 年 9 月
- ▼710. 久保田文学と下町ことばー調査の中間報告ー
池田弥三郎, 言語生活 61, 東京: 筑摩書房, 1956 年 10 月
- ▼711. (ことば風土記) 秩父方言あれこれ
池之内好次郎, 言語生活 62, 東京: 筑摩書房, 1956 年 11 月
- ▼712. 神奈川県下の方言について
日野資純, 神奈川県の民俗, 相模原: ひでばち民俗談話会, 1956 年 11 月
- ▼713. 千葉県北部方言アクセントの推移について
加藤信昭, 音声の研究 8, 東京: 日本音声学会, 1957 年 1 月
- ▼714. 「下町ことば」は死語かー池田弥三郎氏「久保田文学と下町ことば」への発言ー
秋永一枝, 言語生活 65, 東京: 筑摩書房, 1957 年 2 月
- ▼715. 方言の旅 標準語のために
柳田国男・金田一春彦, NHK 国語講座 03-01, 東京: NHK, 1957 年 2 月・3 月

- ▼716. 方言の旅 日本方言の性格 各論 関東・中部方言の性格
金田一春彦, NHK 国語講座 03-02, 東京: NHK, 1957 年 3 月
- ▼717. 東京語の卓立強調の音調
川上泰, 国語研究 06, 東京: 國學院大學国語研究会, 1957 年 4 月
- ▼718. 標準語論
河田竹治, 実践国語 18-199, 東京: 実践国語研究所/穂波出版社, 1957 年 5 月
- ▼719. 江戸語東京語の研究
松村明, 出版ニュース 378, 東京: 出版ニュース社, 1957 年 5 月
- ▼720. 現場警備広報のしおり 2 第三 放送の基礎問題 1 標準語 2 発音 3 アクセント
大阪府警広報課, 警察広報読本 03-05, 東京: 警察庁総務課, 1957 年 5 月
- ▼721. 近代東京語命令表現の通時的考察
田中章夫, 国語と国文学 34-05, 東京: 東京大学国語国文学会編/至文堂, 1957 年 5 月
- ▼722. 方言の旅 江戸ことばの名残り (東京)
中村通夫, NHK 国語講座 03-03, 東京: NHK, 1957 年 06 月・07 月
- ▼723. 松村明著「江戸語東京語の研究」
山田巖, 言語生活 71, 東京: 筑摩書房, 1957 年 8 月
- ▼724. 神奈川県方言研究史稿
斎藤義七郎, ひでばち 6, 横浜: ひでばち民俗談話会, 1957 年 9 月
- ▼725. ところ変れば品かわる
鈴木重光, ひでばち 6, 横浜: ひでばち民俗談話会, 1957 年 9 月
- ▼726. ことばの行違いと方言 関東地方
金田一春彦・中沢政雄・芳賀経, NHK 国語講座 方言と文化, 東京: 日本放送協会, 1957 年 10 月
- ▼727. 共通語教育のあり方 関東甲信越地方
山田修, NHK 国語講座 方言と文化, 東京: 日本放送協会, 1957 年 10 月
- ▼728. 日本の方言 関東地方
中沢政雄, NHK 国語講座 方言と文化, 東京: 日本放送協会, 1957 年 10 月
- ▼729. 標準語と文法
今泉忠義, 日本文法講座 1, 東京: 明治書院, 1957 年 11 月
- ▼730. りっぱな標準語をはなしたい。だが……
山本洋, みんなのコトバ 3, 彦根: 滋賀・コトバの会運営委員会編/滋賀・コトバの会, 1957 年 11 月
- ▼731. 松村明氏著「江戸語東京語の研究」を読んで
金田弘, 国語学 31, 東京: 国語学会, 1957 年 12 月
- ▼732. A Dialectgeographical Study of the Japanese Accents in Chiba Prefecture.
Grootaers, Willem A., Monumenta Nipponica 14, Tokyo: Sophia University (上智大学), 1958 年
- ▼733. 方言の手帖 5—関東甲信—
上村幸雄, 放送文化 13-01, 東京: 日本放送協会, 1958 年 1 月
- ▼734. 東京都内の中学生のザ行発音調査
岡崎有鄰, 文学論藻 10, 東京: 東洋大学国語国文学会, 1958 年 2 月
- ▼735. ご存じですか—何が標準語か—
大石初太郎, NHK 国語講座 04-01, 東京: NHK, 1958 年 02 月・03 月
- ▼736. 千葉方言におけるいわゆる「語中 K 音の脱落現象」の調査 (中間報告)
中村通夫・他, 中央大学国文 1 創刊号, 東京: 中央大學國文學會, 1958 年 3 月
- ▼737. 東京都内の中学生のガ行鼻音調査
岡崎有鄰, 音声学会会報 096, 東京: 日本音声学会, 1958 年 4 月

- ▼738. ラジオから生まれたものー放送記念日特集番組からラジオで教えた標準語ー
(編集部), 放送文化 13-05, 東京: 日本放送協会, 1958 年 5 月
- ▼739. 東京アクセントの特徴は何か
金田一春彦, 言語生活 83, 東京: 筑摩書房, 1958 年 8 月
- ▼740. 東京アクセントの近況
清水郁子, 音声学会会報 097, 東京: 日本音声学会, 1958 年 8 月
- ▼741. 語法からみた現代東京語の特徴
田中章夫, 国語学 34, 東京: 国語学会, 1958 年 9 月
- ▼742. 「東京アクセントの特色」をめぐって
サクマカナエ, 言語生活 86, 東京: 筑摩書房, 1958 年 11 月
- ▼743. 東京語の特色
金田一春彦, 国文学 言語と文芸 01-01, 東京: 東京教育大学国語国文学会編/明治書院, 1958 年 11 月
- ▼744. 千葉方言調査の旅
坂上弘之・福田真久, 中央大学国文 2, 東京: 中央大學國文學會, 1959 年 3 月
- ▼745. ことばは生きている (座談会)
柴田武・上田尚・小林利光・青木慶一・井口虎一郎・山村恒雄, 放送文化 14-03, 東京: 日本放送協会, 1959 年 3 月
- ▼746. 東京、鳥取両方言アクセントの共通度ー国語アクセント計量的比較のための一つの試みー
早川通介, 名古屋大学文学部十周年記念論集, 名古屋: 名古屋大学文学部, 1959 年 3 月
- ▼747. 東武地方の方言
池之内好次郎, 言語生活 90, 東京: 筑摩書房, 1959 年 3 月
- ▼748. 方言文法論の実践ー相模方言を例としてー
日野資純, 駒沢大学研究紀要 17, 東京: 駒澤大學, 1959 年 3 月
- ▼749. 東京へ出たころ
高橋正秀, 言語生活 91, 東京: 筑摩書房, 1959 年 4 月
- ▼750. 三好一夫編 江戸・東京 風俗語事典
吉田澄夫, 言語生活 92, 東京: 筑摩書房, 1959 年 5 月
- ▼751. 愛甲郡馬渡の樹種名方言
倉田悟, ひでばち 13, 横浜: ひでばち民俗談話会, 1959 年 5 月
- ▼752. 千葉県アクセントの言語地理学的研究
グロータース, W.A., 国語学 37, 東京: 国語学会, 1959 年 6 月
- ▼753. こんなことがある 東京の方言
品川緑朗, 言語生活 93, 東京: 筑摩書房, 1959 年 6 月
- ▼754. 東京語の感想 東京方言について
阿川弘之, 言語生活 96, 東京: 筑摩書房, 1959 年 9 月
- ▼755. 東京語の感想 曲球と直球その他
開高健, 言語生活 96, 東京: 筑摩書房, 1959 年 9 月
- ▼756. [座談会] これが東京語ー下町ことばー
岸彦二郎・岸たか子・鳥居盈男・吉田実・吉田志づ, 言語生活 96, 東京: 筑摩書房, 1959 年 9 月
- ▼757. [座談会] これが東京語ー山の手ことばー
最上ともえ・柳兼子・吉武ゆき, 言語生活 96, 東京: 筑摩書房, 1959 年 9 月
- ▼758. 東京方言の位置
柴田武, 言語生活 96, 東京: 筑摩書房, 1959 年 9 月
- ▼759. こどもの東京語は包囲されているー都内小中学校教官の生育地調べー
上甲幹一, 言語生活 96, 東京: 筑摩書房, 1959 年 9 月

- ▼760. 東京語の感想 江戸っ子
田宮虎彦, 言語生活 96, 東京: 筑摩書房, 1959 年 9 月
- ▼761. 東京語の感想 東京の言葉
野間宏, 言語生活 96, 東京: 筑摩書房, 1959 年 9 月
- ▼762. 江戸語と関東方言
金田弘, 国語と国文学 36-10, 東京: 東京大学国語国文学会編/至文堂, 1959 年 10 月
- ▼763. 現代語の成立
松村明, NHK 国語講座 05-05, 東京: 日本放送出版協会, 1959 年 10 月・11 月
- ▼764. 千葉県館山市竹原一旧九重村一
大岩正伸, 日本方言の記述的研究, 東京: 明治書院, 1959 年 11 月
- ▼765. 神奈川県愛甲郡煤ヶ谷村一新清川村一
日野資純, 日本方言の記述的研究, 東京: 明治書院, 1959 年 11 月
- ▼766. ちゅうぶらりんの神田っ子
筒井敬介, 言語生活 100, 東京: 筑摩書房, 1960 年 1 月
- ▼767. 標準語打ちこわし
瓜生忠夫, 言語生活 100, 東京: 筑摩書房, 1960 年 1 月
- ▼768. 敬語法の総合探究(総論) 中央語と方言の敬語差
藤原与一, 国文学 05-01, 東京: 学燈社, 1960 年 1 月
- ▼769. 方言と共通語との対応を見つめて
松田正義, 教育科学国語教育 02-02, 東京: 明治図書出版, 1960 年 2 月
- ▼770. 相模地方における「片足とび」の俚言の分布について〈付・分布図〉
日野資純, ひでばち 15, 横浜: ひでばち民俗談話会, 1960 年 2 月
- ▼771. 房総アクセント再論ーグロータースさんの「千葉県アクセントの言語地理学的研究」を読んでー
金田一春彦, 国語学 40, 東京: 国語学会, 1960 年 3 月
- ▼772. 埼玉県蟻地獄方言資料
池之内好次郎, 民間伝承 246, 東京: 民間伝承誌友会, 1960 年 3 月
- ▼773. 魚名エチオピヤ以前ーハマシマカツオについてー
内海延吉, 民間伝承 246, 東京: 民間伝承誌友会, 1960 年 3 月
- ▼774. 東丹沢の植物名方言
倉田悟, ひでばち 16, 横浜: ひでばち民俗談話会, 1960 年 4 月
- ▼775. 神奈川県津久井郡内郷村方言会話資料
日野資純, ひでばち 16, 横浜: ひでばち民俗談話会, 1960 年 4 月
- ▼776. 言語時評 新しい共通語の発生
石黒修, 言語生活 104, 東京: 筑摩書房, 1960 年 5 月
- ▼777. 美しい標準語
高橋義孝, NHK 放送文化 15-06, 東京: NHK, 1960 年 6 月
- ▼778. 方言の旅 東海道の巻
柴田武, NHK 国語講座 方言の旅, 東京: 宝文館, 1960 年 9 月
- ▼779. 国語のアクセントの時代的変遷
金田一春彦, 国語と国文学 37-10, 東京: 東京大学国語国文学会編/至文堂, 1960 年 10 月
- ▼780. 生活に於ける方言と標準語についての一つの理論的考察
宮野駛郎, 国語研究 35, 松山: 愛媛国語研, 1960 年 11 月
- ▼781. 神奈川県方言研究における今後の課題
日野資純, ひでばち 18, 横浜: ひでばち民俗談話会, 1960 年 11 月

- ▼782. 足立区小学校における「ヒ」「シ」の混乱について
関ヨシミ, 日本国語教育学会誌 16, 東京: 日本国語教育学会, 1960 年 12 月
- ▼783. 房総の方言
大岩正伸, 国文学季報 2, 千葉: 千葉大学文理学部国文科, 1960 年 12 月
- ▼784. 児玉の方言集録
中英夫, 埼玉史談 08-02, 大宮: 埼玉県郷土文化会, 1961 年
- ▼785. 大都市言語学
石垣幸雄, 言語生活 112, 東京: 筑摩書房, 1961 年 1 月
- ▼786. 方言の実態と共通語化の問題点 千葉・東京・神奈川
加藤信昭, 方言学講座 2, 東京: 東京堂, 1961 年 3 月
- ▼787. 東部方言の語彙 関東・東海・東山
柴田武, 方言学講座 2, 東京: 東京堂, 1961 年 3 月
- ▼788. 方言の実態と共通語化の問題点 群馬・埼玉
上野勇, 方言学講座 2, 東京: 東京堂, 1961 年 3 月
- ▼789. 現代東京語の可能表現について
神田寿美子, 日本文学 16, 東京: 東京女子大学学会日本文学部会, 1961 年 3 月
- ▼790. 東部方言概説
平山輝男, 方言学講座 2, 東京: 東京堂, 1961 年 3 月
- ▼791. 東京も広うござんす
竹内和夫, 言語生活 115, 東京: 筑摩書房, 1961 年 4 月
- ▼792. 和田伝の「鰯雲」と相模方言
日野資純, ひでばち 19, 横浜: ひでばち民俗談話会, 1961 年 4 月
- ▼793. 標準アクセント一私案
秋永一枝, 言語生活 117, 東京: 筑摩書房, 1961 年 6 月
- ▼794. 東京語の連母音「ア・ウ」の成立—「和英語林集成」を中心として—
飛田良文, 国語学研究 1, 仙台: 東北大学文学部『国語学研究』刊行会, 1961 年 6 月
- ▼795. ロドリゲス日本大文典の関東方言の条に関して
鈴木博, 国語学 45, 東京: 国語学会, 1961 年 6 月
- ▼796. 生きたことばを忠実に文字化したもの お茶漬け屋の女性たち—東京の福岡弁—
[編著者不明], 言語生活 117, 東京: 筑摩書房, 1961 年 6 月
- ▼797. 日本語の東部方言の発音について
岡田春潮, 言語生活 119, 東京: 筑摩書房, 1961 年 8 月
- ▼798. 三多摩アクセントの推移
小林滋子, 国語学 46, 東京: 国語学会, 1961 年 9 月
- ▼799. 神奈川県の方
日野資純, 県史講座要録神奈川県歴史(県下の民俗篇 上)神奈川県立図書館シリーズ 6, 横浜: 神奈川県立図書館, 1961 年 10 月
- ▼800. 三多摩地方のアクセントを地理的にみる
小林滋子, 都大論究 1, 東京: 東京都立大学国語国文学会, 1961 年 12 月
- ▼801. 〈座談会〉標準アクセント選定の問題点
金田一春彦 (ほか 10 名), 文研月報 12-01, 東京: 日本放送出版協会, 1962 年 1 月
- ▼802. あなたも美しい標準語が話せる
[編著者不明], 女性自身 1 月 29 日, 東京: 光文社, 1962 年 1 月
- ▼803. 放送の利用と標準語の指導

- 西村正三・桜田作次郎, 小五教育技術 15-13, 東京: 教育技術連盟編/小学館, 1962 年 2 月
- ▼804. 読者相談室 標準語と共通語の違い
徳川宗賢, 国文学 解釈と鑑賞 27-02, 東京: 至文堂, 1962 年 2 月
- ▼805. 方言とお国ぶり
榎垣実, 国文学 解釈と鑑賞 27-02, 東京: 至文堂, 1962 年 2 月
- ▼806. 東京都西多摩郡霞村方言集
板倉勝忠, 民間伝承 254, 東京: 民間伝承誌友会, 1962 年 2 月
- ▼807. 東京都西多摩郡霞村方言集
板倉勝忠, 民間伝承 255, 東京: 民間伝承誌友会, 1962 年 4 月
- ▼808. 「江戸語」について
中村通夫, 中央大学文学部紀要 26 文学科 11, 東京: 中央大学文学部, 1962 年 6 月
- ▼809. 〈生きたことばを忠実に文字化したもの〉東京タワー
[編著者不明], 言語生活 129, 東京: 筑摩書房, 1962 年 6 月
- ▼810. 西多摩方言における終助詞・間投助詞とイントネーション
小林滋子, 国語研究 14, 東京: 国学院大学国語研究会, 1962 年 8 月
- ▼811. 方言の分布—推量表現「……べー」について—
飯豊毅一, 相模女子大学紀要 13, 相模原: 相模女子大学学術研究会編/相模女子大学, 1962 年 10 月
- ▼812. ことばはいきている 小学読本と東京語
木村毅, 放送文化 17-10, 東京: 日本放送協会, 1962 年 10 月
- ▼813. 概説 東日本の方言
野元菊雄, 方言学概説, 東京: 武蔵野書院, 1962 年 11 月
- ▼814. 東京語の成立過程における受身の表現について
土屋信一, 国語学 51, 東京: 国語学会, 1962 年 12 月
- ▼815. 熊谷の方言
熊谷市郷土文化会, 熊谷市郷土文化会誌 4, 熊谷: 熊谷市郷土文化会, 1963 年
- ▼816. 現代の言葉 1
岩淵悦太郎, 群像 18-01, 東京: 大日本雄辯會講談社, 1963 年 1 月
- ▼817. 現代国語の構造 音韻とアクセント
柴田武, 国文学 08-02, 東京: 学燈社, 1963 年 1 月
- ▼818. 現代国語の位相 男性語と女性語
寿岳章子, 国文学 08-02, 東京: 学燈社, 1963 年 1 月
- ▼819. 現代国語の成立
松村明, 国文学 08-02, 東京: 学燈社, 1963 年 1 月
- ▼820. 東京語における音声変化の様相と法則
大西雅雄, 音声の研究 10, 東京: 日本音声学会, 1963 年 1 月
- ▼821. 江戸・東京の言葉
中村通夫, 国文学 解釈と鑑賞 28-02, 東京: 至文堂, 1963 年 1 月
- ▼822. 現代国語の位相 方言と共通語
藤原与一, 国文学 08-02, 東京: 学燈社, 1963 年 1 月
- ▼823. 東京語の音節構造
日下部文夫, 音声の研究 10, 東京: 日本音声学会, 1963 年 1 月
- ▼824. 現代国語の位相 年令によることばの違い
野元菊雄, 国文学 08-02, 東京: 学燈社, 1963 年 1 月
- ▼825. 現代国語の位相 職業語・階層語・専門語

- 林四郎, 国文学 08-02, 東京: 学燈社, 1963 年 1 月
- ▼826. 現代の言葉 2
岩淵悦太郎, 群像 18-02, 東京: 大日本雄辯會講談社, 1963 年 2 月
- ▼827. 現代の言葉 3
岩淵悦太郎, 群像 18-03, 東京: 大日本雄辯會講談社, 1963 年 3 月
- ▼828. [紹介]白石大二著『解説 標準語辞典』(1962)
倉持保男, 日本語教育 2, 東京: 日本語教育学会, 1963 年 3 月
- ▼829. 現代の言葉 4
岩淵悦太郎, 群像 18-04, 東京: 大日本雄辯會講談社, 1963 年 4 月
- ▼830. 現代の言葉 5
岩淵悦太郎, 群像 18-05, 東京: 大日本雄辯會講談社, 1963 年 5 月
- ▼831. 現代の言葉 6
岩淵悦太郎, 群像 18-06, 東京: 大日本雄辯會講談社, 1963 年 6 月
- ▼832. 現代の言葉 7
岩淵悦太郎, 群像 18-07, 東京: 大日本雄辯會講談社, 1963 年 7 月
- ▼833. 標準語に関する国民の認識程度—大学生の弁論を聞いて—
三浦勇二, 言語生活 142, 東京: 筑摩書房, 1963 年 7 月
- ▼834. 現代の言葉 8
岩淵悦太郎, 群像 18-08, 東京: 大日本雄辯會講談社, 1963 年 8 月
- ▼835. 現代の言葉 9
岩淵悦太郎, 群像 18-09, 東京: 大日本雄辯會講談社, 1963 年 9 月
- ▼836. 漢語サ変動詞の語彙からみた江戸語と東京語
進藤咲子, 国語学 54, 東京: 国語学会, 1963 年 9 月
- ▼837. ラジオ・ニュースの言語表現に関する研究—東京と館山での理解度調査の結果—
西谷博信, 文研月報 13-09, 東京: 日本放送出版協会, 1963 年 9 月
- ▼838. 標準アクセント選定のための試み 3—東京と千葉県館山市でのアクセント抵抗感の調査結果—
湊吉正, 文研月報 13-09, 東京: 日本放送出版協会, 1963 年 9 月
- ▼839. 現代の言葉 10
岩淵悦太郎, 群像 18-10, 東京: 大日本雄辯會講談社, 1963 年 10 月
- ▼840. 東条操監修「方言学講座 4 巻」
池上二良, 言語研究 44, 東京: 日本言語学会編/三省堂, 1963 年 10 月
- ▼841. 現代の言葉 11
岩淵悦太郎, 群像 18-11, 東京: 大日本雄辯會講談社, 1963 年 11 月
- ▼842. 現代の言葉 12
岩淵悦太郎, 群像 18-12, 東京: 大日本雄辯會講談社, 1963 年 12 月
- ▼843. 私のアクセント非段階観—和田実氏の論考に答え問う—
金田一春彦, 国語研究 17, 東京: 國學院大學国語研究会, 1963 年 12 月
- ▼844. 千葉市原郡南総町中部落方言のあいさつことば
神鳥武彦, 方言研究年報 6, 広島: 広島大学方言研究会, 1963 年 12 月
- ▼845. べらんめえとそうどすか—江戸ことばと上方ことば—
榎垣実, 国文学 解釈と鑑賞 28-15, 東京: 至文堂, 1963 年 12 月
- ▼846. 方言、訛言
熊谷市, 熊谷市史 後篇, 熊谷: 熊谷市熊谷市史編纂委員会, 1964 年
- ▼847. 方言、訛言

- 行田市, 行田市史, 行田 : 行田市, 1964 年
- ▼848. 〈座談会〉日本語のアクセント
土岐善麿 (ほか 7 名), 文研月報 14-02, 東京 : 日本放送出版協会, 1964 年 2 月
- ▼849. 小説地の文における漢語サ変の量—江戸・明治の五つの作品の場合—
進藤咲子, 計量国語学 28, 東京 : 計量国語学会, 1964 年 3 月
- ▼850. 和英語林集成におけるハ行四段活用動詞の音便形
飛田良文, 国語学 56, 東京 : 国語学会, 1964 年 3 月
- ▼851. 日本語の発音系統について
岡田小三郎, 音声学会会報 115, 東京 : 日本音声学会, 1964 年 4 月
- ▼852. 東北方言と標準語
金田一京助, NHK 文研月報 14-09, 東京 : NHK, 1964 年 9 月
- ▼853. 〈録音器—生きたことばを忠実に文字化したもの〉—東京・京都—
[編著者不明], 言語生活 157, 東京 : 筑摩書房, 1964 年 10 月
- ▼854. 千葉県の田下駄
潮田鉄雄, 民族学研究 29-02, 東京 : 日本民族学会編/誠文堂新光社, 1964 年 10 月
- ▼855. 神奈川県の方言区画
日野資純, 日本の方言区画, 東京 : 日本方言研究会編/東京堂出版, 1964 年 11 月
- ▼856. NHK 放送用語委員会 30 周年記念講演 都のことば東京のことば
池田弥三郎, 放送文化 20-02, 東京 : 日本放送協会, 1965 年 2 月
- ▼857. 文法から見た方言と共通語
藤原与一, 口語文法講座 1, 東京 : 明治書院, 1965 年 2 月
- ▼858. 方言と共通語における文法的対応
奥村三雄, 口語文法講座 5, 東京 : 明治書院, 1965 年 3 月
- ▼859. 明治の言文一致運動
山本正秀, 国文学 10-05, 東京 : 学燈社, 1965 年 4 月
- ▼860. 葛西弁が聞いた白河ことば—予備調査の録音から—
小林豊子, ほうげん 2, 東京 : 二松学舎大学方言研究会, 1965 年 4 月
- ▼861. 動詞・形容詞などの活用とアクセント
早田輝洋, 文研月報 15-04, 東京 : 日本放送出版協会, 1965 年 4 月
- ▼862. 江戸から東京へ—性格のちがう江戸語と東京語—
亀井孝・大藤時彦・山田俊雄編, 日本語の歴史 6 新しい国語への歩み, 東京 : 平凡社, 1965 年 5 月
- ▼863. 柴田さんと今田さん—単語の聴覚的弁別についての一考察—
杉藤美代子, 言語生活 165, 東京 : 筑摩書房, 1965 年 6 月
- ▼864. 江戸語打消表現についての一報告—洒落本における「ぬ」「ない」 両系列の相関—
武井睦雄, 国語研究室 4, 東京 : 東京大学国語研究室, 1965 年 6 月
- ▼865. 東京弁はいなか言葉
川見駒太郎, 日本語 05-06, 東京 : 国語を愛する会, 1965 年 7 月
- ▼866. 共通語への方言の採り入れ
中平解, 日本語 05-06, 東京 : 国語を愛する会, 1965 年 7 月
- ▼867. 日本語の発音—アクセントその他—
秋永一枝, 講座日本語教育 1, 東京 : 早稲田大学語学教育研究所, 1965 年 9 月
- ▼868. 後期江戸語におけるハ行四段活用動詞の音便形について—人情本・滑稽本などを資料として—
小島俊夫, 国語学 06-11, 東京 : 国語学会, 1965 年 9 月
- ▼869. 方言教育論—標準語教育への提案—

- 宮島達夫, 言語生活 172, 東京: 筑摩書房, 1966 年 1 月
- ▼870. 標準語の概念について
 泉井久之助, 言語生活 172, 東京: 筑摩書房, 1966 年 1 月
- ▼871. 千葉県安房郡白浜町の方言略記
 大橋勝男, 広島大学方言研究会会報 9, 広島: 広島大学方言研究会, 1966 年 2 月
- ▼872. 日野資純・斎藤儀七郎編「神奈川県方言辞典」
 加藤正信, 言語生活 174, 東京: 筑摩書房, 1966 年 3 月
- ▼873. 東京方言の音韻化規則
 早田輝洋, 言語研究 49, 東京: 日本言語学会編/三省堂, 1966 年 3 月
- ▼874. 明治大正時代の漢語の連濁現象
 飛田良文, 日本文化研究所研究報告 2, 仙台: 東北大学文学部日本文化研究所, 1966 年 3 月
- ▼875. 東京の言葉
 芝木好子, 言語生活 175, 東京: 筑摩書房, 1966 年 4 月
- ▼876. 不良学生隠語集ノートー東京城南地区の実例ー
 田沢恭二, 言語生活 175, 東京: 筑摩書房, 1966 年 4 月
- ▼877. のたごとということーふるさとのなまり 1 江戸弁ー
 加太こうじ, ことばの宇宙 01-01, 東京: 東京言語研究所ラボ教育センター, 1966 年 6 月
- ▼878. 〈座談会〉共通語と標準語
 土岐善麿・岩淵悦太郎・池田弥三郎・金田一春彦・服部四郎・諸井三郎・桧山義夫・横井正千代(他 9 名), 文研月報 16-06, 東京: 日本放送出版協会, 1966 年 6 月
- ▼879. 日本語の発音ーイントネーションなどー
 秋永一枝, 講座日本語教育 2, 東京: 早稲田大学語学教育研究所, 1966 年 7 月
- ▼880. 共通語のアクセント
 金田一春彦, 日本語発音アクセント辞典, 東京: 日本放送協会編/日本放送出版協会, 1966 年 8 月
- ▼881. 共通語の発言で注意すべきことから
 桜井茂治, 日本語発音アクセント辞典, 東京: 日本放送協会編/日本放送出版協会, 1966 年 8 月
- ▼882. 数詞、助数詞の発音とアクセント
 桜井茂治・秋永一枝, 日本語発音アクセント辞典, 東京: 日本放送協会編/日本放送出版協会, 1966 年 8 月
- ▼883. 共通語のアクセント
 秋永一枝, 日本語発音アクセント辞典, 東京: 日本放送協会編/日本放送出版協会, 1966 年 8 月
- ▼884. が行鼻音の退化
 中沢政雄, 国語教育科学 06-08, 東京: 国語教育科学研究会, 1966 年 8 月
- ▼885. 〈対談〉東京弁はつまらない
 鶴見俊輔・青島幸男, ことばの宇宙 01-04, 東京: 東京言語研究所ラボ教育センター, 1966 年 9 月
- ▼886. 〈文化ジャーナル・ことば〉日本語の発音アクセント
 [編著者不明], 朝日ジャーナル 08-39, 東京: 朝日新聞社, 1966 年 9 月
- ▼887. 関東地方北東部方言の文アクセント傾向
 大橋勝男, 方言研究年報 9, 広島: 広島大学方言研究会, 1966 年 10 月
- ▼888. 現代語の文法の調査研究ー〔付〕録音資料〔(東京語共通語)の部〕目録一覧ー
 宮地裕, 国立国語研究所年報 17, 東京: 国立国語研究所, 1966 年 11 月
- ▼889. イントネーションの濫用
 川上肇, 日本語 06-11, 東京: 国語を愛する会, 1966 年 11 月
- ▼890. ことば
 田中義郎, 東京人 その生活と風土と知恵, 東京: 早川書房, 1966 年 12 月

- ▼891. 標準語の成立に関する一考察
松山義夫, 会誌, [発行地不明]: [発行所不明], 1967 年 3 月
- ▼892. 東京大阪の無声母音について (第 55 回大会研究発表報告要旨)
杉藤美代子, 言語研究 51, 東京: 日本言語学会編/三省堂, 1967 年 3 月
- ▼893. 北埼玉の方言について
長谷川葱, 東洋大学短期大学論集 3, 東京: 東洋大学短期大学, 1967 年 3 月
- ▼894. 江戸アクセントから東京アクセントへ
秋永一枝, 国語と国文学 44-04, 東京: 東京大学国語国文学会編/至文堂, 1967 年 4 月
- ▼895. 江戸語・東京語における当為表現の変遷
田中章夫, 国語と国文学 44-04, 東京: 東京大学国語国文学会編/至文堂, 1967 年 4 月
- ▼896. 東京語の連母音「オ・ウ」の成立—和英語林集成を中心として—
飛田良文, 国語と国文学 44-04, 東京: 東京大学国語国文学会編/至文堂, 1967 年 4 月
- ▼897. 標準語の圧迫
大石初太郎, 言語生活 188, 東京: 筑摩書房, 1967 年 5 月
- ▼898. 共通語の成立
野元菊雄, 東書高校通信国語 53, 東京: 東京書籍, 1967 年 5 月
- ▼899. 方言書所感
大岩正伸, 国語学 69, 東京: 国語学会, 1967 年 6 月
- ▼900. 和田伝氏の作品における相模方言
日野資純, 国語学 69, 東京: 国語学会, 1967 年 6 月
- ▼901. 発音—東京アクセントの習得法則について—
秋永一枝, 講座日本語教育 3, 東京: 早稲田大学語学教育研究所, 1967 年 7 月
- ▼902. 江戸語・東京語の研究
杉本つとむ, 近代日本語の新研究 その構造と形成, 東京: 桜楓社, 1967 年 9 月
- ▼903. 江戸語・東京語における可能表現の変遷について
鶴岡昭夫, 国文学 言語と文芸 54, 東京: 東京教育大学国語国文学会編/明治書院, 1967 年 9 月
- ▼904. 目で見える日本語・耳で聞く日本語 24 標準語とは
中島愛悦, 放送朝日 161, 大阪: 朝日放送, 1967 年 10 月
- ▼905. 目で見える日本語・耳で聞く日本語 25 大阪の東京人
中島愛悦, 放送朝日 162, 大阪: 朝日放送, 1967 年 11 月
- ▼906. 目で見える日本語・耳で聞く日本語 26 大阪の東京人
中島愛悦, 放送朝日 163, 大阪: 朝日放送, 1967 年 12 月
- ▼907. The Phonemic Syllable of Tokyo Japanese
Schuhmacher, W.W., Linguistics 43, The Hague: Mouton, 1968 年
- ▼908. 川越方言の意味論的一考察
佐々木康子, 都立大学方言学会会報 21, 東京: 都立大学方言学会, 1968 年 1 月
- ▼909. 方言と標準語教育 (講演要旨)
藤原与一, 岐阜大学国語国文学 4, 岐阜: 岐阜大学, 1968 年 2 月
- ▼910. 共同調査・利根川流域 1 利根川下流域のアクセント
秋永一枝, 人類科学 20, 京都: 九学会連合編/関書房, 1968 年 3 月
- ▼911. 国語アクセント観の発展
川上薫, 文科系学会連合研究論文集 18, 東京: 文科系学会連合, 1968 年 3 月
- ▼912. 利根川流域の言語分布—文法について—
飯豊毅一, 人類科学 20, 京都: 九学会連合編/関書房, 1968 年 3 月

- ▼913. 方言・俗語と標準語の指導ー子どもの方言に対する劣等感の克服と正しい話しことばの指導
国分一太郎, 児童心理 22-04, 東京: 児童研究会編/金子書房, 1968 年 4 月
- ▼914. 関東東半地域方言の地理的内質
大橋勝男, 国文学攷 46, 広島: 広島文理科大学国語国文学会編/広島文理科大学国語国文学會, 1968 年 4 月
- ▼915. 〈ことばはいきている〉ことばは文化財であるー千葉方言のスケッチー
高橋在久, 放送文化 23-06, 東京: 日本放送協会, 1968 年 6 月
- ▼916. 一宮町東浪見地区方言集稿
中村正紀, 上智大学史学会研究報告 2, 東京: 上智大学史学会・史学研究会, 1968 年 6 月
- ▼917. 東京語批判ノートー“ッ子の字語”の考察ー
前田勇, 国語と教育 3, 大阪: 大阪学芸大学国語国文学研究室, 1968 年 7 月
- ▼918. 標準語の成立と上方ことばー『日本言語地図』を利用して考えるー
徳川宗賢, 言語生活 202, 東京: 筑摩書房, 1968 年 7 月
- ▼919. 「標準語」ー私の意見
ケーリ, オーテス, 言語生活 203, 東京: 筑摩書房, 1968 年 8 月
- ▼920. 〈言語時評〉標準語の普及
植松正, 言語生活 203, 東京: 筑摩書房, 1968 年 8 月
- ▼921. 日本語を考えよう くたばれイカサマ東京語
高橋義孝, 週刊読売 9 月 20 日, 東京: 読売新聞社, 1968 年 9 月
- ▼922. 方言矯正法ー方言生活から標準語生活へー
飯豊毅一, マネジメントジャーナル 317, 東京: 日本能率協会, 1968 年 9 月
- ▼923. 日本語を考えよう 座談会ーくたばれ東京弁
木下順二・今官一・花登篁・南利明, 週刊読売 9 月 20 日, 東京: 読売新聞社, 1968 年 9 月
- ▼924. ことばはいきている “三河弁”と江戸のことば
杉本舜市, 放送文化 23-10, 東京: 日本放送協会, 1968 年 10 月
- ▼925. 関西弁と標準語ー《日本言語地図》をみながらー
榎垣実, 月刊百科 74, 東京: 平凡社, 1968 年 11 月
- ▼926. 動態測定による 東京二拍語尾高と平板アクセント考
杉藤美代子, 音声学会会報 129, 東京: 日本音声学会, 1968 年 12 月
- ▼927. 方言
深谷市, 深谷市史, [発行地不明]: [発行所不明], 1969 年
- ▼928. 大宮の方言と訛言
大宮市, 大宮市史 5, [発行地不明]: [発行所不明], 1969 年
- ▼929. 日本語における近代化の一傾向ー文末辞から見た「標準語」の形成過程ー
古田東朔, 文科系学会連合研究論文集 19, 東京: 文科系学会連合, 1969 年 3 月
- ▼930. 東京大阪における無声母音について
杉藤美代子, 音声の研究 14, 東京: 日本音声学会, 1969 年 3 月
- ▼931. 無声拍の強さとアクセント核
川上葵, 国語研究 27, 東京: 國學院大學国語研究会, 1969 年 3 月
- ▼932. 関東地方における「暑いね。」の「ねー」に相当する方言事象の分布およびその解釈
大橋勝男, 方言の研究 創 1, 新潟: 新潟大学方言研究会, 1969 年 3 月
- ▼933. 利根川流域における単語の分布
徳川宗賢, 人類科学 21, 京都: 九学会連合編/関書房, 1969 年 3 月
- ▼934. 単語のアクセントと文のアクセント
早田輝洋, 文研月報 19-05, 東京: 日本放送出版協会, 1969 年 5 月

- ▼935. 東京人の標準語使用－その意識調査－
大石初太郎, 佐伯梅友博士古稀記念国語学論集, 東京: 佐伯梅友博士古稀記念国語学論集刊行会編/表現社,
1969年6月
- ▼936. 近代東京語の当為表現
田中章夫, 佐伯梅友博士古稀記念国語学論集, 東京: 佐伯梅友博士古稀記念国語学論集刊行会編/表現社,
1969年6月
- ▼937. 特集; 母語と教育実践 太平洋戦争下の日本語教育 教育における標準語と方言－とくに音声指導とかかわつて
駒木勝一, 教育 237, [発行地不明]: [発行所不明], 1969年7月
- ▼938. 〈ルポルタージュ〉千葉県にきた九州弁－君津町の小学校を訪ねて－
(R), 言語生活 216, 東京: 筑摩書房, 1969年9月
- ▼939. 〈随筆〉話し言葉について
小林信彦, 言語生活 216, 東京: 筑摩書房, 1969年9月
- ▼940. わらべうた－多摩川べりの子供のうた－
原田重久, 国立歳時記, 東京: 逃水亭書屋, 1969年10月
- ▼941. 多摩川べりの方言－地方語と訛りと慣習ことば－
原田重久, 国立歳時記, 東京: 逃水亭書屋, 1969年10月
- ▼942. 〈視聴覚情報〉ナマリと標準語
(に), 放送朝日 187, 大阪: 朝日放送, 1969年12月
- ▼943. 音程動態測定による大阪・東京アクセントの一考察
杉藤美代子, 国語学 79, 東京: 国語学会, 1969年12月
- ▼944. 〈ことばはいきている〉房総のわらべ歌－暮から正月へ－
平野馨, 放送文化 24・12, 東京: 日本放送協会, 1969年12月
- ▼945. 東京の中の方言コンプレックス－「ことばについてのアンケート」報告 3－
大石初太郎, 専修国文 7, 川崎: 専修大学, 1970年1月
- ▼946. 利根川流域の音韻
加藤正信・井上史雄, 人類科学 22, 京都: 九学会連合編/關書房, 1970年3月
- ▼947. 関東地方域における「どうぞおありがとうございます。」の言いかたについて－とくに「なさる」系・「しゃる」系方言事象の分布に注目して－
大橋勝男, 方言の研究 02・01, 新潟: 新潟大学方言研究会, 1970年3月
- ▼948. 関東地方域の方言についての方言地理学的研究 序説
大橋勝男, 新潟大学教育学部紀要 人文・社会科学編 11・01, 新潟: 新潟大学, 1970年3月
- ▼949. 現代共通語の性格 1
中村通夫, 中央大学文学部紀要 文学科 27 (通 057), 東京: 中央大学文学部, 1970年3月
- ▼950. 房総半島中央部のアクセントについて
浮田章一, 大妻女子大学文学部紀要 2, 東京: 大妻女子大学, 1970年3月
- ▼951. 〈録音器－生きたことばを忠実に文字化したもの〉東京昼の観光バス
[編著者不明], 言語生活 225, 東京: 筑摩書房, 1970年6月
- ▼952. 変化する効外のことば－東京の東側－
加藤正信, 言語生活 225, 東京: 筑摩書房, 1970年6月
- ▼953. 小説にあらわれた東京弁
小林信彦, 言語生活 225, 東京: 筑摩書房, 1970年6月
- ▼954. 〈座談会〉東京語を考える
赤塚行雄・飯田登・松村明・水谷静夫/編集部(司会), 言語生活 225, 東京: 筑摩書房, 1970年6月

- ▼955. 戦後、東京語の敬語はどう変わったか
大石初太郎, 言語生活 225, 東京: 筑摩書房, 1970 年 6 月
- ▼956. 教科書のことばは東京語か
土屋信一, 言語生活 225, 東京: 筑摩書房, 1970 年 6 月
- ▼957. 現代東京語の展望
野村雅昭, 言語生活 225, 東京: 筑摩書房, 1970 年 6 月
- ▼958. 川越方言の〈硬さを表わす語〉—意味論的考察—
笠原康子, 方言研究の問題点, 東京: 明治書院, 1970 年 8 月
- ▼959. 東京方言のアクセント
清水郁子, 方言研究の問題点, 東京: 明治書院, 1970 年 8 月
- ▼960. 無声の拍とアクセントの型
川上葵, 方言研究の問題点, 東京: 明治書院, 1970 年 8 月
- ▼961. 東京アクセントのピッチ曲線
早田輝洋, 文研月報 20-08, 東京: 日本放送出版協会, 1970 年 8 月
- ▼962. 明治初期東京語の指定表現体系—方言と社会構造との関係—
飛田良文, 方言研究の問題点, 東京: 明治書院, 1970 年 8 月
- ▼963. [研究発表要旨] 関東地方域における「かご」「かぐ」「死ぬ」各語末方言音の分布状況およびその相互比較
大橋勝男, 国語学 82, 東京: 国語学会, 1970 年 9 月
- ▼964. 明治期東京語の指定表現体系 (発表要旨)
飛田良文, 国語学 83, 東京: 国語学会, 1970 年 12 月
- ▼965. タマゴとタマゴ
杉藤美代子, 講座正しい日本語 2, 東京: 明治書院, 1971 年 1 月
- ▼966. 関東地方域の「かまきり」の方言事象にみられる造語 (一命名) 法
大橋勝男, 国文学攷 55, 広島: 広島文理科大学国語国文学会編/広島文理科大学国語国文学會, 1971 年 2 月
- ▼967. 利根川流域の語の分布
井上史雄・加藤正信・高田誠・徳川宗賢, 利根川—自然・文化・社会—, 東京: 九学会連合利根川流域調査委員会編/弘文堂, 1971 年 3 月
- ▼968. 利根川上・中流域のアクセント
秋永一枝・佐藤亮一・金井英雄, 利根川—自然・文化・社会—, 東京: 九学会連合利根川流域調査委員会編/弘文堂, 1971 年 3 月
- ▼969. 関東地方域における「かご」「嗅ぐ」「死ぬ」各語末方言音の分布状況およびその相互比較
大橋勝男, 方言の研究 03-01, 新潟: 新潟大学方言研究会, 1971 年 3 月
- ▼970. 関東地方域の方言についての方言地理学的研究 2
大橋勝男, 新潟大学教育学部紀要 人文・社会科学編 12-01, 新潟: 新潟大学, 1971 年 3 月
- ▼971. 利根川流域方言の文法
飯豊毅一・大橋勝男, 利根川—自然・文化・社会—, 東京: 九学会連合利根川流域調査委員会編/弘文堂, 1971 年 3 月
- ▼972. 利根川中流域の一農村における言語生活
芳賀綏・野林正路, 利根川—自然・文化・社会—, 東京: 九学会連合利根川流域調査委員会編/弘文堂, 1971 年 3 月
- ▼973. プロミネンスについて—東京語の観察にもとづく覚え書—
大石初太郎, 話しことば論, 東京: 秀英出版, 1971 年 4 月
- ▼974. 方言コンプレックス—東京人についての調査—
大石初太郎, 話しことば論, 東京: 秀英出版, 1971 年 4 月
- ▼975. 千葉県山武町方言の音韻
中条修, 都立大学方言学会会報 37, 東京: 都立大学方言学会, 1971 年 4 月

- ▼976. 〈録音器〉野菜談義
[編著者不明], 言語生活 236, 東京: 筑摩書房, 1971 年 5 月
- ▼977. 南関東の方言
大島一郎, ワイドカラー日本 5, 東京: 世界文化社, 1971 年 5 月
- ▼978. 村松明「ことば紳士録」・三好一光「江戸語事典」
野村雅昭, 言語生活 239, 東京: 筑摩書房, 1971 年 8 月
- ▼979. 〈録音器〉鈍行列車
[編著者不明], 言語生活 240, 東京: 筑摩書房, 1971 年 9 月
- ▼980. <本の発見>アクセント辞典—東京っ子の知らない本
稲垣吉彦, 月刊百科 108, 東京: 平凡社, 1971 年 9 月
- ▼981. 東京語の語法のゆれ 児童生徒言語調査結果報告 2
土屋信一, NHK 文研月報 21-09, 東京: NHK, 1971 年 9 月
- ▼982. 標準語と方言
Ogawa, Saburô, Romaji no Nippon 223, Tokyo: Nippon-no-Rômaji-sya, 1971 年 10 月
- ▼983. 言葉の道標 22 東京弁の語彙は貧弱か
岩淵悦太郎, 群像 26-10, 東京: 大日本雄辯會講談社, 1971 年 10 月
- ▼984. 特集; 日本語を考える —日本人は標準語を話すな
守誠, ブッククラブ情報 02-05, 東京: 全日本ブッククラブ, 1971 年 10 月
- ▼985. 方言〈千葉県の歴史 付録〉
小笠原長和・川村優, 千葉県の歴史 (県史シリーズ 12), 東京: 山川出版社, 1971 年 10 月
- ▼986. 国語アクセントの将来
川上葵, 金田一博士米寿記念論集, 東京: 金田一博士米寿記念論集編集委員会編/三省堂, 1971 年 10 月
- ▼987. 日本語アクセントの将来
平山輝男, 金田一博士米寿記念論集, 東京: 金田一博士米寿記念論集編集委員会編/三省堂, 1971 年 10 月
- ▼988. 特集; 日本語を考える —不感症な標準語
鈴木健二, ブッククラブ情報 02-05, 東京: 全日本ブッククラブ, 1971 年 10 月
- ▼989. 二拍三拍助詞による話部のアクセント形成について—共通語資料による分析—
吉田則夫, 広島大学方言研究会会報 18, 広島: 広島大学方言研究会, 1971 年 12 月
- ▼990. 方言と標準語
松原新一, 国語の教育 47, 東京: 国土社, 1972 年 3 月
- ▼991. 方言研究の一つの試み—大阪・東京・福島方言—
杉藤美代子, 樟蔭国文学 9, 布施: 大阪樟蔭女子大学国文学会, 1972 年 3 月
- ▼992. 東京のある四拍名詞のアクセント—いわゆる AB 型を中心として〔含各区别地図 (昭和 32~35 年調査)〕
清水郁子, 独協大学教養諸学研究 6, 草加: 獨協大学学術研究会, 1972 年 3 月
- ▼993. 東京のある四拍名詞のアクセント分布図
清水郁子, 独協大学教養諸学研究 6, 草加: 獨協大学学術研究会, 1972 年 3 月
- ▼994. 関東地方域の方言についての方言地理学的研究 3—承前—
大橋勝男, 新潟大学教育学部紀要 人文・社会科学編 13, 新潟: 新潟大学, 1972 年 3 月
- ▼995. 埼玉県南埼玉郡久喜町のアクセント—曖昧アクセントから東京アクセントへ—
木野田れい子, 都大論究 10, 東京: 東京都立大学国語国文学会, 1972 年 3 月
- ▼996. 敬語の意識—関東弁・関西弁の敬語—
野元菊雄, 国文学 解釈と鑑賞 37-06, 東京: 至文堂, 1972 年 5 月
- ▼997. 特集; 敬語の意識 —関東弁・関西弁の敬語・方言の敬語の特色
野元菊雄, 国文学 解釈と鑑賞 増 465, 東京: 至文堂, 1972 年 5 月

- ▼998. 千葉県市原市南部方言のアクセントについて
藤原文夫, 国語研究 34, 東京: 國學院大學国語研究会, 1972 年 6 月
- ▼999. 日本語方言文法調査票試案「文法調査票」共同研究プロジェクト報告
南不二男, アジア・アフリカ文法研究 1, 東京: 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所, 1972 年 8 月
- ▼1000. 外川ことばの音声面における特徴
加藤昭, フィールドの歩み 1, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1972 年 9 月
- ▼1001. 外川の自然と人間
野尻洋一, フィールドの歩み 1, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1972 年 9 月
- ▼1002. 標準語論おぼえがき
鈴木重幸, 教育国語 30, 東京: 教育科学研究会国語部会編/麦書房, 1972 年 9 月
- ▼1003. 関東方言の研究史と今日の問題点
大橋勝男, 方言研究年報 15, 広島: 広島大学方言研究会, 1972 年 11 月
- ▼1004. 標準語公害
渡辺実, 言語生活 257, 東京: 筑摩書房, 1973 年 2 月
- ▼1005. 京へ筑紫二坂東サ
岩井俊道, 今泉博士古稀記念国語学論叢, 東京: 今泉博士古稀記念国語学論叢編集委員会編/桜楓社, 1973 年 3 月
- ▼1006. 川越の故事・伝承ー下小坂における発話資料を中心としてー
小口崇博, フィールドの歩み 3, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1973 年 3 月
- ▼1007. 外川の自然発話 1
村上昭子, フィールドの歩み 2, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1973 年 3 月
- ▼1008. 大磯一漁に関することばについて
村上昭子, フィールドの歩み 3, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1973 年 3 月
- ▼1009. 関東地方域の方言についての方言地理学的研究 4ー承前ー
大橋勝男, 新潟大学教育学部紀要 人文・社会科学編 14, 新潟: 新潟大学, 1973 年 3 月
- ▼1010. 千葉県山武町方言の語法
大島一郎, 人文学報 96, 東京: 東京都立大学人文学会編/大日本図書, 1973 年 3 月
- ▼1011. 房総半島方言の音韻の研究 1
中条修, 静岡大学教養部研究報告 人文科学篇 8, 静岡: 静岡大学教養部, 1973 年 3 月
- ▼1012. 方言
長南町史編さん委員会, 長南町史, 長南町(千葉県): 長南町史編さん委員会編/千葉県長生郡長南町, 1973 年 3 月
- ▼1013. 職人層を中心として見た東京下町言葉ー東京下町言葉の位相をめぐってー
横田貢, 東京成徳短期大学紀要 6, 東京: 東京成徳短期大学, 1973 年 4 月
- ▼1014. 東京古典落語による叱るとほめる
加太こうじ, 言語生活 260, 東京: 筑摩書房, 1973 年 5 月
- ▼1015. むかしのことば 5 江戸下町の摺り師
北島秀松/編集部(聞き手)/風間耿子(速記), 言語生活 260, 東京: 筑摩書房, 1973 年 5 月
- ▼1016. 三浦半島間口の潮と風
原田満彦, フィールドの歩み 4, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1973 年 11 月
- ▼1017. 三浦半島小網代の潮と風
原田満彦, フィールドの歩み 4, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1973 年 11 月
- ▼1018. 小坪のことばと生活
斉藤修平, フィールドの歩み 4, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1973 年 11 月
- ▼1019. むかしのことば 11 芝居の世界のことばー竹柴蟹助氏に聞くー
竹柴蟹助/編集部(聞き手), 言語生活 266, 東京: 筑摩書房, 1973 年 11 月

- ▼1020. 国立国語研究所の歩み・6 明治時代の言語 6 これからの研究の方向
飛田良文, 言語生活 266, 東京: 筑摩書房, 1973 年 11 月
- ▼1021. 小坪の風について
門脇敦子・松本恵子, フィールドの歩み 4, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1973 年 11 月
- ▼1022. 江戸言葉の助詞『とって』について
吉川泰雄, 都立大学方言学会会報 55, 東京: 都立大学方言学会, 1973 年 12 月
- ▼1023. 〈ことばはいきている〉二つのアクセント辞典を
金田一春彦, 放送文化 28-12, 東京: 日本放送協会, 1973 年 12 月
- ▼1024. 小地名としての川筋名の考察—神奈川県中津川上流地域の場合—
小塚博夫, 日本民俗学 90, 東京: 日本民俗学会, 1973 年 12 月
- ▼1025. 音声面から見た関東地方の方言分派—とくに東西対立分布相に注目して—
大橋勝男, 方言研究年報 16, 広島: 広島大学方言研究会, 1973 年 12 月
- ▼1026. 方言〈神奈川県の歴史 付録〉
中丸和伯, 神奈川県の歴史(県史シリーズ 14), 東京: 山川出版社, 1974 年 1 月
- ▼1027. 特集; 正しい日本語について —標準語と方言の間で—
山下千江, 詩界 124, 東京: 日本詩人クラブ, 1974 年 3 月
- ▼1028. 関東地方の方言についての方言地理学的研究 5
大橋勝男, 新潟大学教育学部紀要 人文・社会科学編 15, 新潟: 新潟大学, 1974 年 3 月
- ▼1029. 房総半島方言の音韻の研究 2
中条修, 静岡大学教養部研究報告 人文科学篇 9, 静岡: 静岡大学教養部, 1974 年 3 月
- ▼1030. 江戸語の「れる・られる」敬語小考
土屋信一, 国語学 96, 東京: 国語学会, 1974 年 3 月
- ▼1031. 江戸語東京語の断定表現
土屋信一, ことばの研究 5, 東京: NHK, 1974 年 3 月
- ▼1032. 東京方言—「ヒ・シ」「シュ・シ」「ジュ・ジ」の問題を中心に—
鈴木まち子, 昭和学院国語国文 7, 市川: 昭和学院短期大学国語国文学会, 1974 年 3 月
- ▼1033. 東京下町言葉接辞の一考察
横田貢, 東京成徳短期大学紀要 7, 東京: 東京成徳短期大学, 1974 年 4 月
- ▼1034. 関東地方の方言の語アクセントと文アクセントとの相関について
大橋勝男, 新潟大学国文学会誌 18, 新潟: 新潟大学, 1974 年 5 月
- ▼1035. 日本語音韻規則の一般化に関する諸問題
山中秀三, 九州産業大学教養部紀要 11-01, 福岡: 九州産業大学, 1974 年 7 月
- ▼1036. 話しことば・会話 2—標準語—
内村直也, 芸能 16-07, 東京: 芸能學會, 1974 年 7 月
- ▼1037. 成田地方の方言〈昭和七年稿〉
吉岡巖, 成田史談 20, 成田: 成田市文化財保護協会, 1974 年 8 月
- ▼1038. 関東方言「べい(ぺ)」について
竹内好徳, ことば随想, 水戸: 海峡の会, 1974 年 8 月
- ▼1039. 深川通言と上方語
中村幸彦, 語文 32, 豊中: 大阪大学文学部国文学研究室編/邦進社, 1974 年 9 月
- ▼1040. 特集; 諸方に見られる方言研究会活動 —東京都立大学方言研究会—
大島一郎, 方言研究年報 17, 広島: 広島大学方言研究会, 1974 年 10 月
- ▼1041. 特集; 諸方に見られる方言研究会活動 —「千葉県夷隅川流域方言地図」のできるまで—学習院大学方言研究会

- 徳川宗賢, 方言研究年報 17, 広島: 広島大学方言研究会, 1974 年 10 月
- ▼1042. 〈シンポジウム〉現代日本語研究—とくに社会言語学的観点から—
井上史雄・江川清・野林正路・原田信一・石綿敏雄, 国語学 99, 東京: 国語学会, 1974 年 12 月
- ▼1043. 江戸方言より東京語へ
吉田澄夫, 音声学世界論文集, 東京: 記念論文集刊行委員会(日本音声学会内), 1974 年 12 月
- ▼1044. 大都市の言語生活の実態調査
野元菊雄, 都立大学方言学会会報 60, 東京: 都立大学方言学会, 1974 年 12 月
- ▼1045. 東京の話しことば
大石初太郎, 方言と標準語 日本語方言学概説, 東京: 大石初太郎・上村幸雄編/筑摩書房, 1975 年 1 月
- ▼1046. 東北南部と関東の方言
飯豊毅一, 方言と標準語 日本語方言学概説, 東京: 大石初太郎・上村幸雄編/筑摩書房, 1975 年 1 月
- ▼1047. 関東方言における千葉県方言の占める位置
加藤信昭, 資料の広場 7, 千葉: 中央図書館, 1975 年 3 月
- ▼1048. 市川の方言
加藤正信, 市川市史 4, 市川: 市川市, 1975 年 3 月
- ▼1049. 〈紹介〉都市社会における言語分化 Peter Trudgill (1974a) をめぐって
橋内武, Nidaba4, 広島: 西日本言語学会, 1975 年 3 月
- ▼1050. 房総たべもの方言暦
森田保, 資料の広場 7, 千葉: 中央図書館, 1975 年 3 月
- ▼1051. 千葉県方言関係文献目録
森田保・石橋良子・鈴木忠・三石泰子, 資料の広場 7, 千葉: 中央図書館, 1975 年 3 月
- ▼1052. ある日の野帳から 千葉県袖ヶ浦町で
川名興, 植物手帳 107, [発行地不明]: [発行所不明], 1975 年 3 月
- ▼1053. 関東地方域の方言についての方言地理学的研究 6
大橋勝男, 新潟大学教育学部紀要 人文・社会科学編 16, 新潟: 新潟大学, 1975 年 3 月
- ▼1054. 房総半島(中・南部)のヒキガエル方言
藤原文夫・谷萩かほる, 資料の広場 7, 千葉: 中央図書館, 1975 年 3 月
- ▼1055. 東京下町女性語管見—その地域性の観点から—
横田貢, 東京成徳短期大学紀要 8, 東京: 東京成徳短期大学, 1975 年 4 月
- ▼1056. 〈録音器一生涯したことばをできるかぎり忠実に文字化したもの〉東京弁と大阪弁—大阪市民の言語生活調査から
山口幸洋, 言語生活 284, 東京: 筑摩書房, 1975 年 5 月
- ▼1057. 特集; ことばの地図 —標準語の地理的背景 『日本言語地図』第四、五、六集から
真田信治, 言語生活 284, 東京: 筑摩書房, 1975 年 5 月
- ▼1058. 関東方言
大島一郎, 新・日本語講座 3 現代日本語の音声と方言, 京都: 汐文社, 1975 年 5 月
- ▼1059. 大石初太郎・上村幸雄編「方言と標準語」
吉田則夫, 言語生活 285, 東京: 筑摩書房, 1975 年 6 月
- ▼1060. なぜ、大都市での調査はむずかしいか
国語研・大都市調査グループ, 言語生活 285, 東京: 筑摩書房, 1975 年 6 月
- ▼1061. 千葉県でのネコハエトリの方言
川名興, 房総文化 13, 市川: 房総文化研究所, 1975 年 9 月
- ▼1062. 千葉県安房郡言語調査—調査の実態と分析の一例—
高橋良子, Sophia Linguistica1, Tokyo: Sophia University (上智大学), 1975 年 10 月

- ▼1063. 南関東における螻蛄・蜥蜴の語形交替の発生
坂本真理子, 学習院大学国語国文学会誌 19, 東京: 学習院大学, 1975 年 12 月
- ▼1064. 三浦郡葉山町堀内の海のことば
山田みのる, フィールドの歩み 8, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1975 年 12 月
- ▼1065. 大石初太郎・上村幸雄編「方言と標準語」
中本正智, 国語学 103, 東京: 国語学会, 1975 年 12 月
- ▼1066. 千葉県南部地方における k 音脱落現象の推移
藤原伸介, 学習院大学国語国文学会誌 19, 東京: 学習院大学, 1975 年 12 月
- ▼1067. 関東地方域の方言についての方言地理学的研究 7
大橋勝男, 新潟大学教育学部紀要 人文・社会科学編 17, 新潟: 新潟大学, 1976 年 3 月
- ▼1068. 千葉県小櫃川下流流域の植物方言分布図
川名興, みちくさ 8, [発行地不明]: [発行所不明], 1976 年 9 月
- ▼1069. アクセント法則のたてられないアクセント
稲垣滋子, 都立大学方言学会会報 70, 東京: 都立大学方言学会, 1976 年 10 月
- ▼1070. 〈ミニ教室〉国語学—東京語というもの
宮腰賢, とうきょう広報, 東京: 東京都政策報道室広報部, 1976 年 10 月
- ▼1071. 東京語の促音とアクセント核
青柳精三, フィールドの歩み 9, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1976 年 10 月
- ▼1072. マテバシイの語源と方言
川名興, 植物と文化 17, 東京: 八坂書房, 1976 年 10 月
- ▼1073. 喜びを表わす感情形容詞の意味分析—東京男性語の場合—
笠原康子, 人文学報 117, 東京: 東京都立大学人文学会編/大日本図書, 1976 年 12 月
- ▼1074. いまの標準日本語にみられるモーラの表
ツカハラヨシオ, カナノヒカリ 653, 東京: カナモジカイ, 1977 年 1 月
- ▼1075. 現代の女性語 ざます考
斉藤紀子, 日本文学ノート 12, 仙台: 宮城学院女子大学日本文学会, 1977 年 2 月
- ▼1076. 千葉県のゴキブリの方言
川名興, 千葉生物誌 26-02, 船橋: 千葉県生物学会, 1977 年 2 月
- ▼1077. 関東地方域の方言についての方言地理学的研究 8
大橋勝男, 新潟大学教育学部紀要 人文・社会科学編 18, 新潟: 新潟大学, 1977 年 3 月
- ▼1078. 英米人の習得した江戸語の性格
飛田良文, 国語学 108, 東京: 国語学会, 1977 年 3 月
- ▼1079. 続東京下町女性語管見 その変化の一樣相
横田貢, 東京成徳短期大学紀要 10, 東京: 東京成徳短期大学, 1977 年 4 月
- ▼1080. 総特集; ことばを考える —方言の構造 関西弁と東京弁
井上史雄, 伝統と現代 08-03, 東京: 伝統と現代社, 1977 年 5 月
- ▼1081. 方言の地域性—標準語との共存の可能性—
徳川宗賢, 争点 15-05, 東京: 核心評論社, 1977 年 5 月
- ▼1082. 千葉県九十九里片貝の風
伊東裕子, フィールドの歩み 10, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1977 年 6 月
- ▼1083. 千葉県御宿町岸和田の海女の言葉
宮下和子, フィールドの歩み 10, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1977 年 6 月
- ▼1084. 九十九里浜片貝の鰯巻網漁の語彙
青柳精三, フィールドの歩み 10, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1977 年 6 月

- ▼1085. 千葉県九十九里片貝の潮
太田守, フィールドの歩み 10, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1977 年 6 月
- ▼1086. 千葉県勝浦市串浜の潮と風
鈴木路子, フィールドの歩み 10, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1977 年 6 月
- ▼1087. 小櫃川流域における k 音について
佐藤憲一, 都立大方言学会会報 76, 東京: 都立大学方言学会, 1977 年 7 月
- ▼1088. 近代東京語因果関係表現の通時的考察ー「から」と「ので」を中心としてー
吉井量人, 国語学 110, 東京: 国語学会, 1977 年 9 月
- ▼1089. 大橋勝男著「関東地方域方言事象分布地図」全 3 巻
本堂寛, 国語学 110, 東京: 国語学会, 1977 年 9 月
- ▼1090. 明治東京語の過渡的性格ー「～だサ」という言い方をめぐってー
鈴木英夫, 国語と国文学 54-09, 東京: 東京大学国語国文学会編/至文堂, 1977 年 9 月
- ▼1091. 女性言語の地域差、年代差と個人差: 都市化による一考察
F.C.パン・白川陽子, 環境とことば, 広島: F.C.パン編/文化評論出版, 1977 年 11 月
- ▼1092. 方言の誕生と標準語
グロータース, W.A., 高知女子大國文 13, 高知: 高知女子大学国語国文学会, 1977 年 12 月
- ▼1093. 標準語の成立 (研究発表と討論要旨)
森岡健二, 都立大学方言学会会報 79, 東京: 都立大学方言学会, 1977 年 12 月
- ▼1094. 明治期の国定国語教科書一言文一致体の確定に果たした役割ー
塩沢和子, 国文学論集 11, 東京: 上智大学国文学会, 1978 年 1 月
- ▼1095. 〈言語時評〉幻の真正標準日本語
川崎洋, 言語生活 317, 東京: 筑摩書房, 1978 年 2 月
- ▼1096. 富津市富津の方言分布地図ー特に老人と中学生の場合ー
川名與, 千葉生物誌 27-01, 船橋: 千葉県生物学会, 1978 年 2 月
- ▼1097. 富津市富津の方言分布地図ー特に老人と中学生の場合ー
川名與, 千葉生物誌 27-02, 船橋: 千葉県生物学会, 1978 年 2 月
- ▼1098. 江戸言葉考ー古典落語における女性の言葉ー
沼田知子, 東洋大学短期大学論集日本文学篇 14, 東京: 東洋大学短期大学, 1978 年 3 月
- ▼1099. 現代東京語の語感について 身近な名詞の意味論的考察 (論文要旨)
森山みどり, 日本語研究 1, 東京: 東京都立大学国語学研究室, 1978 年 3 月
- ▼1100. 関東地方域の方言についての方言地理学的研究 9
大橋勝男, 新潟大学教育学部紀要 人文・社会科学編 19, 新潟: 新潟大学, 1978 年 3 月
- ▼1101. 市川市の方言
登坂典子, 昭和学院国語国文 11, 市川: 昭和学院短期大学国語国文学会, 1978 年 3 月
- ▼1102. 明治初期東京人の階層と語種との関係ー『安愚楽鍋』を中心としてー
飛田良文, 研究報告集 1, 東京: 国立国語研究所, 1978 年 3 月
- ▼1103. 〈ことばを考える〉方言と標準語
佐藤亮一, 時の法令 1000, 東京: 大蔵省印刷局, 1978 年 5 月
- ▼1104. [発表要旨 当日の話し合いの断片] 東京語研究の視点
飛田良文, 都立大学方言学会会報 82, 東京: 都立大学方言学会, 1978 年 6 月
- ▼1105. 館山市波佐間の漁業に関する言葉
岡田ひろ子, フィールドの歩み 11, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1978 年 9 月
- ▼1106. 安房郡富浦の漁業生活語
岡本泰子, フィールドの歩み 11, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1978 年 9 月

- ▼1107. 横浜市金沢野島浦の漁業生活語
吉村和子・田口義則, フィールドの歩み 12, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1978 年 9 月
- ▼1108. 横浜市子安浜の潮と風
山田京子, フィールドの歩み 12, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1978 年 9 月
- ▼1109. 千葉市検見川の漁業生活語ーウ・タセによる漁を中心にー
市川恵子, フィールドの歩み 11, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1978 年 9 月
- ▼1110. 千葉県船橋の潮と風
秋本珠美, フィールドの歩み 12, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1978 年 9 月
- ▼1111. 市川市南行徳の漁業のことば
秋葉佳子・大谷成子, フィールドの歩み 12, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1978 年 9 月
- ▼1112. 〈小報告〉富津市青堀の山立のヤマとその名称・富津市青堀沖の海底地形と山立による名称
青柳精三, フィールドの歩み 11, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1978 年 9 月
- ▼1113. 東葛飾郡浦安町の漁業生活語
青柳精三, フィールドの歩み 12, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1978 年 9 月
- ▼1114. 三浦市南下浦町金田の潮と風について
石川浩士, フィールドの歩み 12, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1978 年 9 月
- ▼1115. 安房郡勝山の漁業生活語
赤田博正, フィールドの歩み 11, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1978 年 9 月
- ▼1116. 君津郡袖ヶ浦町奈良輪の潮と風
大窪美穂子, フィールドの歩み 11, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1978 年 9 月
- ▼1117. 館山市洲崎の漁業の言葉 鰹漁・潮・風について
大鹿美智子, フィールドの歩み 11, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1978 年 9 月
- ▼1118. 木更津牛込の漁業生活語
谷川京子, フィールドの歩み 11, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1978 年 9 月
- ▼1119. 横浜市子安西浜の潮と風
望月三省, フィールドの歩み 12, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1978 年 9 月
- ▼1120. 三浦市南下浦町上宮田の潮と風
明石明, フィールドの歩み 12, 東京: 東京教育大学言語学研究室生活語研究会, 1978 年 9 月
- ▼1121. 東京都奥多摩の親族語彙
大島一郎, 日本方言の語彙・親族名称・その他, 東京: 日本方言研究会・柴田武編/三省堂, 1978 年 10 月
- ▼1122. 坂東声
川上葵, 音声学会会報 159, 東京: 日本音声学会, 1978 年 12 月
- ▼1123. 市原市の方言
藤原文夫, 市原市史 別巻, 市原: 市原市, 1979 年
- ▼1124. 〈対談〉方言と標準語
金田一春彦・グロータース, ウィレム, ソフィア 西洋文化ならびに東西文化交流の研究 27-04, 東京: 上智大学ソフィア編集委員会編/創文社, 1979 年 1 月
- ▼1125. 日本語東京方言の音節ニ/ni/, ヌ/nu/における鼻子音/n/の調音についてー 一予備調査報告ー
岡田秀穂, 早稲田大学語学教育研究所紀要 18, 東京: 早稲田大学語学教育研究所, 1979 年 3 月
- ▼1126. 健康状態を表わす語の意味分析ー東京の三世代に関してー
笠原康子, 人文学報 132, 東京: 東京都立大学人文学会編/大日本図書, 1979 年 3 月
- ▼1127. 江戸語の対者待遇表現の記述的研究 岡場所の表現を中心として
山崎久之, 大正大学大学院研究論集 3, 東京: 大正大学大学院, 1979 年 3 月
- ▼1128. 関東地方域の方言についての方言地理学的研究 10

- 大橋勝男, 新潟大学教育学部紀要 人文・社会科学編 20, 新潟: 新潟大学, 1979 年 3 月
- ▼1129. 現代共通語の性格 2
中村通夫, 中央大学文学部紀要文学科 43 (通 095), 東京: 中央大学文学部, 1979 年 3 月
- ▼1130. 「東京下町気質とその言葉」試論 下町言語生活の一断面
横田貢, 東京成徳短期大学紀要 12, 東京: 東京成徳短期大学, 1979 年 4 月
- ▼1131. 方言風土記 東京・山の手ことばと下町ことば
中澤よしお, 月刊ことば 03-07, 東京: 英潮社, 1979 年 7 月
- ▼1132. From lexeme to morpheme: Dialect survey of Tateyama, Chiba.
Grootaers, Willem A., Sophia Linguistica 5, Tokyo: Sophia University (上智大学), 1979 年 8 月
- ▼1133. 言葉のはなし 3 方言と標準語
飯豊毅一, 文部時報 1228, 東京: 文部省編/帝國地方行政學會, 1979 年 9 月
- ▼1134. 東京語におけるアクセントのゆれ
稲垣滋子・堀口純子, ことばの諸相, 広島: F.C.パン編/文化評論出版, 1979 年 12 月
- ▼1135. 特集; 言語地理学の諸問題 — 一言語地図をどう読むか — 関東地方域の /e/ の方言音事象分布図の解釈 —
大橋勝男, 国語学 119, 東京: 国語学会, 1979 年 12 月
- ▼1136. 〈ことばを考える〉共通語の成立
土屋信一, 時の法令 1057, 東京: 大蔵省印刷局, 1979 年 12 月
- ▼1137. 続・富津市富津の方言分布地図 — 特に老人と中学生の場合 —
川名與, 千葉県立上総博物館研究員紀要 2, 木更津: 千葉県立上総博物館, 1980 年
- ▼1138. 特集; 正月の言語生活 — 外には派手、内には地味 — 東京の地主の正月
戸部銀作, 言語生活 337, 東京: 筑摩書房, 1980 年 1 月
- ▼1139. 〈座談会〉東京言葉
石川淳・大野晋・幸田文・丸谷才一, 図書 365, [発行地不明]: [発行所不明], 1980 年 1 月
- ▼1140. 特集; ことばを考える 3 風土と方言 — 標準語と方言
国分一太郎, 日本児童文学 26-03, 東京: 日本児童文学者協会編/小峰書店, 1980 年 3 月
- ▼1141. 東京アクセントにおける「花と鼻」の発話と知覚について (第 79 回大会研究発表要旨)
杉藤美代子, 言語研究 77, 東京: 日本言語学会編/三省堂, 1980 年 3 月
- ▼1142. 共通語における母音の無声化の確率について
前川喜久雄, 言語の世界 01-02, 東松山: 言語研究学会, 1980 年 3 月
- ▼1143. 「見レル」「食ベレル」型の可能表現について — 現代東京の中学生・高校生について行った一つの調査から —
岡崎和夫, 言語生活 340, 東京: 筑摩書房, 1980 年 4 月
- ▼1144. 銀座っ子の「東京語批判」(講演)
池田弥三郎, 文芸春秋 58-05, 東京: 文芸春秋, 1980 年 5 月
- ▼1145. 特集; 放送と言葉 — 放送の言葉の多様化と《新方言》
井上史雄, 文化会議 134, 東京: 日本文化会議, 1980 年 8 月
- ▼1146. 明治ことば誌 東京
槌田満文, 国文学 25-10, 東京: 学燈社, 1980 年 8 月
- ▼1147. 日本人の言葉意識 標準語と方言をめぐって
日高貢一郎, NHK 放送文化研究年報 25, 東京: NHK, 1980 年 8 月
- ▼1148. 〈ことばのことば〉江戸語、東京語は遠く…
芳賀綏, 月刊言語 09-09, 東京: 大修館書店, 1980 年 9 月
- ▼1149. 若者たちのことば (下) 流行語
沢木幹栄, 青少年問題 27-10, 東京: 中央青少年問題協議会編/日本少年救護協會, 1980 年 10 月
- ▼1150. 現代日本標準語の分布 — 『日本言語地図』で見て

- 本堂寛, 論集国語学 佐藤茂教授退官記念, 東京: 佐藤茂教授退官記念論文集刊行会編/桜楓社, 1980 年 10 月
- ▼1151. 江戸弁における音声優劣と音韻変化
石井三男, 国文学 解釈と鑑賞 45-11, 東京: 至文堂, 1980 年 11 月
- ▼1152. 関東域における [kwa] [gwa] 音の分布とその解釈
大橋勝男, 国語教育研究 26 上, 広島: 広島大学教育学部国語科光葉会, 1980 年 11 月
- ▼1153. 明治初期の東京語と「口語法」(研究発表と討論要旨)
古田東朔, 都立大学方言学会会報 93, 東京: 都立大学方言学会, 1980 年 12 月
- ▼1154. 特集; 日本語 — 共通語と標準語
内村直也, ユリイカ 13-02, 東京: 書肆ユリイカ, 1981 年 2 月
- ▼1155. 市原市五井周辺の言語調査消えゆく k-h 現象をさぐる
岡野幸子, 中央大学国文 24, 東京: 中央大学国文学会, 1981 年 3 月
- ▼1156. 「語中のカ行子音」ノート 房総半島の k 音について
中条修, 静岡大学教育学部研究報告 人文・社会科学篇 31, 静岡: 静岡大学教育学部, 1981 年 3 月
- ▼1157. 所沢市の方言分布—遊びのことば
渡辺喜代子, 所沢市史研究 55, 所沢: 所沢市史編さん室, 1981 年 3 月
- ▼1158. 〈対談〉言葉談義
徳川宗賢・日野資純, 市民と文化 6, 横浜: 横浜市教育文化センター, 1981 年 3 月
- ▼1159. ハマのキャンパス話し言葉あれこれ 神奈川大学
尾崎義章, 市民と文化 6, 横浜: 横浜市教育文化センター, 1981 年 3 月
- ▼1160. 農事暦と生活暦 農事とことば
青柳精三, 言語生活 352, 東京: 筑摩書房, 1981 年 4 月
- ▼1161. 松村明著「江戸ことば・東京ことば」上、下 2 巻 読みものであり、辞書でもある
内村直也, 芸能 23-05, 東京: 藝能學會, 1981 年 5 月
- ▼1162. 近代文学に現れた全国方言—関東
岩崎文人・塩崎文雄, 方言学論叢 II 方言研究の射程, 東京: 三省堂, 1981 年 6 月
- ▼1163. 特集; 都会人のことば — ニュー・ Yorker 東京 都会人とことば
戸塚文子, 言語生活 354, 東京: 筑摩書房, 1981 年 6 月
- ▼1164. 特集; 都会人のことば — 「混質」の社会で、ことばはいま 大都市の言語生活調査の概要
江川清・米田正人, 言語生活 354, 東京: 筑摩書房, 1981 年 6 月
- ▼1165. あいさつお国めぐり 6 千葉の巻 まだよがっぺーや
川名興, 言語生活 354, 東京: 筑摩書房, 1981 年 6 月
- ▼1166. 関東東地方方言分派論
大橋勝男, 方言学論叢 I 方言研究の推進, 東京: 三省堂, 1981 年 6 月
- ▼1167. 特集; 都会人のことば — 標準語辞典が欲しい 東京を離れて
池田弥三郎, 言語生活 354, 東京: 筑摩書房, 1981 年 6 月
- ▼1168. 特集; 都会人のことば — 音と東京人
南不二男, 言語生活 354, 東京: 筑摩書房, 1981 年 6 月
- ▼1169. 敬語体系変化の一側面—十九世紀の江戸語東京語の場合
小島俊夫, 馬淵和夫博士退官記念国語学論集, 東京: 馬淵和夫博士退官記念国語学論集刊行会編/大修館書店, 1981 年 7 月
- ▼1170. 江戸語資料としての式亭三馬滑稽本—助動詞「べい」の使用を中心に
土屋信一, 馬淵和夫博士退官記念国語学論集, 東京: 馬淵和夫博士退官記念国語学論集刊行会編/大修館書店, 1981 年 7 月
- ▼1171. 新方言と地方共通語

- 井上史雄, ことばの社会性, 広島: 堀素子・F.C.パン編/文化評論出版, 1981 年 8 月
- ▼1172. 東京弁は生きていた
秋永一枝, 言語生活 356, 東京: 筑摩書房, 1981 年 8 月
- ▼1173. 「大都市の言語生活」余聞
江川清, 三省堂ぶつくれつと 34, 東京: 三省堂, 1981 年 9 月
- ▼1174. 共通日本語の語アクセント型のモーラ式分類と音節式分類
今津藤一, 言語研究 80, 東京: 日本言語学会編/三省堂, 1981 年 11 月
- ▼1175. 全国アナウンサーのアクセント調査
菅野謙・臼田弘, NHK 文研月報 31-11, 東京: 日本放送出版協会, 1981 年 11 月
- ▼1176. 標準語のルーツ
暉峻康隆, 本 07-01, 東京: 講談社, 1982 年 1 月
- ▼1177. 東日本の〈新方言〉
井上史雄, 東京外国語大学論集 32, 東京: 東京外国語大学, 1982 年 3 月
- ▼1178. 国立国語研究所著「大都市の言語生活分析編」「大都市の言語生活資料編」
宇野義方, 国語学 128, 東京: 国語学会, 1982 年 3 月
- ▼1179. 続・東京下町気質とその言葉試論
横田貢, 東京成徳短期大学紀要 15, 東京: 東京成徳短期大学, 1982 年 3 月
- ▼1180. 敬語使用における意識と実際の表現との係わりについて 東京及びその近郊の大学生を対象として
宮本和美, 相模国文 9, 相模原: 相模女子大学国文研究会, 1982 年 3 月
- ▼1181. 明治開化期の待遇表現—『安愚楽鍋』にみえる敬語—
森川知史, 国文学論叢 27, 京都: 龍谷大學國文學會編/龍谷大學國文學會出版部, 1982 年 3 月
- ▼1182. 千葉県の植物方言 2
川名興, 野草 386, 鋸南町: 川名興, 1982 年 3 月
- ▼1183. アクセントの内省—東京と千葉の違い—
池田桂子, 昭和学院国語国文 15, 市川: 昭和学院短期大学国語国文学会, 1982 年 3 月
- ▼1184. 東京アクセントの形成原理をめぐって—3、4 拍名詞に於ける類型化—
渡邊修平, 北海道札幌藻岩高校研究紀要 6, 北海道: 北海道札幌藻岩高等学校, 1982 年 3 月
- ▼1185. アクセントの連続方法について—東京、名古屋、大阪の場合
山田達也・岡島秀夫・三浦一朗, 音声学会会報 169, 東京: 日本音声学会, 1982 年 4 月
- ▼1186. 大都市周辺地域の総合的研究 高崎線沿線を中心として 2 高崎線沿線都市の方言調査 大宮・熊谷・高崎の助動詞「べー」「ダンべー」を中心として
春日正三, 立正大学人文科学研究所年報 別冊 3, 東京: 立正大学人文科学研究所, 1982 年 6 月
- ▼1187. 言語の標準化
特定研究「言語の標準化」総括班, News Letter 言語の標準化 1, 東京: 特定研究「言語の標準化」総括班, 1982 年 6 月
- ▼1188. 千葉県北部およびその周辺における語彙の分布について
磯崎富美代, 語文 55, 東京: 日本大学国文学会, 1982 年 7 月
- ▼1189. 千葉県の植物方言 3
川名興, 野草 388, 鋸南町: 川名興, 1982 年 7 月
- ▼1190. 関東北部における「新方言」
佐藤高司, 語学と文学 21, 前橋: 群馬大学語文学会, 1982 年 8 月
- ▼1191. 富津市萩生の漁港で採集・観察した主な海岸生物とその方言第 2 報ならびに第 1 報訂正・追加
川名興, 千葉生物誌 32-01, 船橋: 千葉県生物学会, 1982 年 8 月
- ▼1192. 特集; 異文化間コミュニケーション —東京文化と沖縄文化

- 中村正智, 月刊言語 11-08, 東京: 大修館書店, 1982 年 8 月
- ▼1193. 言語の標準化
特定研究「言語の標準化」総括班, News Letter 言語の標準化 2, 東京: 特定研究「言語の標準化」総括班, 1982 年 8 月
- ▼1194. 標準語形による方言区画
井上史雄・河西秀早子, 計量国語学 13-06, 東京: 計量国語学会, 1982 年 9 月
- ▼1195. 千葉県の植物方言 4
川名興, 野草 389, 鋸南町: 川名興, 1982 年 9 月
- ▼1196. お母さんの日本語を考える 祖母、母、娘三代の日本語・不思議、楽しい、面白い 親子でことば遊び・私ら、東京でも関西弁、直してまへんわ。・あなたは、子供のこと、どう呼んでます?・ボクという女の子
[編著者不明], クロワッサン 11 月 10 日, 東京: 平凡出版, 1982 年 11 月
- ▼1197. 千葉県の植物方言 5
川名興, 野草 390, 鋸南町: 川名興, 1982 年 11 月
- ▼1198. 六方ことばの系譜
田中章夫, 語文 40, 豊中: 大阪大学文学部国文学研究室編/邦進社, 1982 年 11 月
- ▼1199. 言語の標準化
特定研究「言語の標準化」総括班, News Letter 言語の標準化 3, 東京: 特定研究「言語の標準化」総括班, 1982 年 11 月
- ▼1200. 標準語形の地理的分布パターンー『日本言語地図』データの因子分析ー
井上史雄・河西秀早子, 国語学 131, 東京: 国語学会, 1982 年 12 月
- ▼1201. 『日本言語地図』による標準語形の地理的分布
河西秀早子・真田信治, 日本語研究 5, 東京: 東京都立大学国語学研究室, 1982 年 12 月
- ▼1202. 特集; 落語 ー落語の言葉あれこれ
秋永一枝, 言語生活 372, 東京: 筑摩書房, 1982 年 12 月
- ▼1203. 特集; 落語 ー今世紀初頭東京語資料としての落語最初のレコード
清水康行, 言語生活 372, 東京: 筑摩書房, 1982 年 12 月
- ▼1204. 可能表現変遷に関する一検証 現代東京の高校生の調査より
中田敏夫, 日本語研究 5, 東京: 東京都立大学国語学研究室, 1982 年 12 月
- ▼1205. じゃんけんー東京及び周辺
中本正智, 日本語研究 5, 東京: 東京都立大学国語学研究室, 1982 年 12 月
- ▼1206. 東京都の方言分布
木川行央・沖裕子・杉本武・石井直子・河崎裕子, 日本語研究 5, 東京: 東京都立大学国語学研究室, 1982 年 12 月
- ▼1207. 現代共通語をつくり出したのは誰か
鈴木英夫, 国文学 解釈と教材の研究 27-16, 東京: 学燈社, 1982 年 12 月
- ▼1208. Some modern Japanese loanwords: With special reference to connotation
Chinen, Hirozane, 言語研究 83, 東京: 日本言語学会編/三省堂, 1983 年
- ▼1209. アクセントにおける位置の対立
川上葵, 国語研究 46, 東京: 國學院大學国語研究会, 1983 年 1 月
- ▼1210. 国語の生きさま 7ーアクセントの年代変化ー
大橋勝男, 新大國語 9, 新潟: 新潟大学教育学部国語国文学会, 1983 年 1 月
- ▼1211. 〈言語学的エッセイ〉東京、亀山、土佐、首里の諸方言の frontal obstruent について
服部四郎, 月刊言語 12-02, 東京: 大修館書店, 1983 年 2 月
- ▼1212. A note on recent changes of dialect near Tokyo
Inoue, Fumio, 東京外国語大学論集 33, 東京: 東京外国語大学, 1983 年 3 月

- ▼1213. Star assignment rules in the accentual system of the Tokyo dialect
Sato, Yasushi, 明治学院論叢 344, 東京：明治学院大学文学会, 1983 年 3 月
- ▼1214. 千葉方言の文法－山武方言の名詞・動詞の形態論
伊藤一也, 琉球方言と周辺のことば, 千葉：千葉大学教養部総合科目運営委員会, 1983 年 3 月
- ▼1215. 東京における言語使用の新しい傾向
永瀬治郎・沢木幹栄, 《新方言》と《言葉の乱れ》に関する社会言語学的研究 東京・首都圏・山形・北海道,
東京：井上史雄, 1983 年 3 月
- ▼1216. 東京における新方言
荻野綱男・山敷陽子, 《新方言》と《言葉の乱れ》に関する社会言語学的研究 東京・首都圏・山形・北海道,
東京：井上史雄, 1983 年 3 月
- ▼1217. 東京における年齢別音声調査
加藤正信, 《新方言》と《言葉の乱れ》に関する社会言語学的研究 東京・首都圏・山形・北海道, 東京：井上史雄,
1983 年 3 月
- ▼1218. 首都圏の〈新方言〉
河崎裕子・井上史雄, 《新方言》と《言葉の乱れ》に関する社会言語学的研究 東京・首都圏・山形・北海道,
東京：井上史雄, 1983 年 3 月
- ▼1219. 埼玉県所沢市における子供の遊びの「新方言」
柴田武・熊谷康雄, 《新方言》と《言葉の乱れ》に関する社会言語学的研究 東京・首都圏・山形・北海道,
東京：井上史雄, 1983 年 3 月
- ▼1220. 東京における語アクセントの世代的推移
馬瀬良雄, 《新方言》と《言葉の乱れ》に関する社会言語学的研究 東京・首都圏・山形・北海道, 東京：井上史雄,
1983 年 3 月
- ▼1221. 特集；方言圏から中央圏へ ―方言と標準語の場面による切りかえ
御園生保子, 言語生活 377, 東京：筑摩書房, 1983 年 5 月
- ▼1222. 特集；方言圏から中央圏へ ―多言語社会としての都市
南不二男, 言語生活 377, 東京：筑摩書房, 1983 年 5 月
- ▼1223. 共通語的文法表現の地理的分布パターン
井上史雄, 国語学 133, 東京：国語学会, 1983 年 6 月
- ▼1224. 葛西のアクセント中学生 20 年の歩み
清水郁子, 現代方言学の課題 1 社会的研究篇, 東京：明治書院, 1983 年 6 月
- ▼1225. 関東地方域における「先生が来なさったよ」に相当する表現法事象の分布とその解釈
大橋勝男, 現代方言学の課題 1 社会的研究篇, 東京：明治書院, 1983 年 6 月
- ▼1226. 〈国詞〉と〈東京詞〉少年鴉外の一風景
岸まさよ, 立教大学日本文学 50, 東京：立教大学日本文学会, 1983 年 7 月
- ▼1227. レコード資料（落語）に基づく今世紀初めの東京語
清水康行, Romazi no Nippon 366, Tokyo : Nippon-no-Rômazi-sya, 1983 年 9 月
- ▼1228. 〈調査報告〉4 拍どうしの複合とアクセント「新明解国語辞典」（第二版）による
鶴岡昭夫, 計量国語学 14-02, 東京：計量国語学会, 1983 年 9 月
- ▼1229. 山の手と下町における敬語使用のちがい
荻野綱男, 言語研究 84, 東京：日本言語学会編/三省堂, 1983 年 11 月
- ▼1230. 埼玉県南部・東京都北部地域の方言分布 2 アクセント
柴田武, 埼玉大学紀要 自然科学篇 19, 浦和：埼玉大学教養部, 1983 年 11 月
- ▼1231. 特集；方言における待遇表現 ――東北・関東
北条忠雄, 武蔵野文学 31, 東京：武蔵野書院, 1983 年 11 月

- ▼1232. [昭和 57 年度修士論文レジュメ]合成音声によるアクセント研究—埼玉県東南部付近におけるアクセントの発話型と知覚型の比較—
都染直也, 東京外国語大学特設日本語学科年報 6, 東京: 東京外国語大学特設日本語学科, 1983 年 12 月
- ▼1233. 合成音声によるアクセント研究 埼玉県東南部付近におけるアクセントの発話型と知覚型の比較
都染直也, 待兼山論叢 日本学編 17, 豊中: 大阪大学文学部, 1983 年 12 月
- ▼1234. [昭和 57 年度修士論文レジュメ]質問表現における終止形式の史的変遷—近代東京語にかぎって—
土屋千尋, 東京外国語大学特設日本語学科年報 6, 東京: 東京外国語大学特設日本語学科, 1983 年 12 月
- ▼1235. アクセントのゆれに関わる要素について
稲垣滋子, 現代方言学の課題 2 記述的研究編, 東京: 明治書院, 1984 年 1 月
- ▼1236. アクセント研究の問題点
川上素, 現代方言学の課題 2 記述的研究編, 東京: 明治書院, 1984 年 1 月
- ▼1237. A word geography of Tateyama city and Awa district (South Chiba prefecture) [和文]
Sasaki, Hideki・Grootaers, Willem A., Sophia Linguistica 15, Tokyo: Sophia University (上智大学), 1984 年
- ▼1238. 特集; あたらしい方言文法 —〈方言文法の実際と問題点 東日本・八丈島方言〉千葉方言の文法から「ニ」格、サ格、「ヲ」格、ンコード格のはりあい関係をみる
伊藤一也, 国文学 解釈と鑑賞 49-01, 東京: 至文堂, 1984 年 1 月
- ▼1239. 特集; 方言研究の方法 —新方言と社会言語学
井上史雄, 日本語学 03-01, 東京: 明治書院, 1984 年 1 月
- ▼1240. 変わりつつある共通語アクセント 1 「デ▼ (・▼) ンシャ (電車) からデン▼ (・▼) シャ▼ (・▼) へ」
アクセントの平板化現象
最上勝也, NHK 放送研究と調査 34-01, 東京: NHK 放送文化研究所, 1984 年 1 月
- ▼1241. 特集; あたらしい方言文法 —方言文法の実際と問題点 東日本・八丈島方言東京落語資料の問題点若干—十九世紀末～二十世紀初頭の東京口語文法研究のために
清水康行, 国文学 解釈と鑑賞 49-01, 東京: 至文堂, 1984 年 1 月
- ▼1242. 〈新刊自己紹介〉東京語 その成立と展開
田中章夫, 日本語学 03-01, 東京: 明治書院, 1984 年 1 月
- ▼1243. 変わりつつある共通語アクセント 2 オーディオは平らにサスペンスは前へ アナウンサーの外来語アクセント
篠原朋子, NHK 放送研究と調査 34-02, 東京: NHK 放送文化研究所, 1984 年 2 月
- ▼1244. 東京下町気質とその言葉試論 3
横田貢, 東京成徳短期大学紀要 17, 東京: 東京成徳短期大学, 1984 年 3 月
- ▼1245. 変わりつつある共通語アクセント 3 ハンケツ (判決) は気になりませんか? 視聴者アクセント抵抗感調査
最上勝也・篠原朋子, NHK 放送研究と調査 34-03, 東京: NHK 放送文化研究所, 1984 年 3 月
- ▼1246. アクセント研究に対する一つの提言 アクセント類別語彙表未掲載語のアクセントと方言研究
日野資純, 音声学会会報 175, 東京: 日本音声学会, 1984 年 4 月
- ▼1247. 新しい方言研究 —比較・分布・歴史— 新しい方言区画論・方言類似度
井上史雄, 国文学 解釈と鑑賞 増 49-07, 東京: 至文堂, 1984 年 5 月
- ▼1248. 東京・神奈川における《新方言》の地理的分布 都立大・ICU 調査中間報告
井上史雄・大江祐子・塚本敦子・藤本泉, 日本語研究 6, 東京: 東京都立大学国語学研究室, 1984 年 5 月
- ▼1249. 新しい方言研究 —社会生活とのかかわり— 都会の方言 東京
永瀬治郎, 国文学 解釈と鑑賞 増 49-07, 東京: 至文堂, 1984 年 5 月
- ▼1250. 東京語のゆれに関する研究
国広哲弥・中本正智・藤田勝良・石井龍治・篠崎晃一・藤本泉・藤原敬治, 日本語研究 6, 東京: 東京都立大学国語学研究室, 1984 年 5 月

- ▼1251. 新しい方言研究 ―言語記述として方言の音声と音韻
佐藤和之, 国文学 解釈と鑑賞 増 49-07, 東京: 至文堂, 1984 年 5 月
- ▼1252. 新しい方言研究 ―地方アクセントの研究のために
上野善道, 国文学 解釈と鑑賞 増 49-07, 東京: 至文堂, 1984 年 5 月
- ▼1253. 千葉県の植物方言 6
川名興, 野草 399, 鋸南町: 川名興, 1984 年 5 月
- ▼1254. 方言に方言人の心理を見つめて―関東域方言に見られる語形成法―
大橋勝男, 方言研究年報 26, 広島: 広島大学方言研究会, 1984 年 5 月
- ▼1255. 「標準語」とは何か
京極興一, ことばの研究 3, 長野: 長野県ことばの会, 1984 年 7 月
- ▼1256. 〈新刊自己紹介〉樺島忠夫・飛田良文・米川明彦「明治大正新語俗語辞典」
飛田良文, 日本語学 03-08, 東京: 明治書院, 1984 年 8 月
- ▼1257. 特集; 現代の音声学 ―標準語音と方言音 母音のスペクトル分析結果に基づいて
今石元久, 日本語学 11-03, 東京: 明治書院, 1984 年 11 月
- ▼1258. 埼玉県南部・東京北部地域の方言分布 3
柴田武, 埼玉大学紀要 自然科学篇 20, 浦和: 埼玉大学教養部, 1984 年 11 月
- ▼1259. 移住のもたらす言語状況 千葉県君津市のばあい
岡野信子, 方言研究年報 27, 広島: 広島大学方言研究会, 1984 年 12 月
- ▼1260. 千葉県の植物方言 7
川名興, 野草 403, 鋸南町: 川名興, 1985 年 1 月
- ▼1261. 昭和 15 年前後の標準語観 神保格「標準語研究」を中心にして
高木展郎, 言語表現研究 3, 社町(兵庫県): 兵庫教育大学言語表現学会, 1985 年 2 月
- ▼1262. 田中章夫著「東京語 その成立と展開」
坂梨隆三, 国語と国文学 62-02, 東京: 東京大学国語国文学会編/至文堂, 1985 年 2 月
- ▼1263. 特集; 新・方言考 ―新方言の存在と認定
井上史雄, 言語生活 399, 東京: 筑摩書房, 1985 年 3 月
- ▼1264. 特集; 新・方言考 ―首都圏の・新方言・
永瀬治郎, 言語生活 399, 東京: 筑摩書房, 1985 年 3 月
- ▼1265. 方言基礎語彙研究のために 中央方言との比較研究をめざして
久野マリ子, 國學院大學日本文化研究所紀要 55, 東京: 國學院大學日本文化研究所, 1985 年 3 月
- ▼1266. 東京語のゆれについての考察
中本正智, 人文学報 173, 東京: 東京都立大学人文学会編/大日本図書, 1985 年 3 月
- ▼1267. 〈新刊自己紹介〉「新しい日本語《新方言》の分布と変化」
井上史雄, 日本語学 04-04, 東京: 明治書院, 1985 年 4 月
- ▼1268. Higurashi・Yoshiko・The Accent of Extended Word Structures in Tokyo Standard Japanese・標準日本語
―拡大語構造のアクセント。Educa Inc・Tokyo1983
川上蔡, 言語研究 87, 東京: 日本言語学会編/三省堂, 1985 年 4 月
- ▼1269. 〈プロジェクト報告〉中央方言の基礎語彙とその比較研究
久野マリ子, 國學院大學日本文化研究所紀要 22-01, 東京: 國學院大學日本文化研究所, 1985 年 5 月
- ▼1270. 千葉県の植物方言 8
川名興, 野草 405, 鋸南町: 川名興, 1985 年 5 月
- ▼1271. 特集; 東京語のゆれに関する研究 ―言語使用からみた男女差
中本正智, 日本語研究 7, 東京: 東京都立大学国語学研究室, 1985 年 5 月
- ▼1272. 特集; 東京語のゆれに関する研究 ―樽をゆさぶる・ゆすぶる

- 藤田勝良, 日本語研究 7, 東京: 東京都立大学国語学研究室, 1985 年 5 月
- ▼1273. 田中章夫著「東京語 その成立と展開」
小松寿雄, 国語学 141, 東京: 国語学会, 1985 年 6 月
- ▼1274. 標準アクセントと東京アクセント
秋永一枝, 講座日本語教育 21, 東京: 早稲田大学語学教育研究所, 1985 年 7 月
- ▼1275. 千葉県の植物方言 9
川名興, 野草 406, 鋸南町: 川名興, 1985 年 7 月
- ▼1276. 「利根川図志」のヤハライボ、「利根川図志」のポンポン鳥
川名興, 房総の鳥 千葉県野鳥の会会報 137, 千葉: 千葉県野鳥の会, 1985 年 10 月
- ▼1277. 「利根川図志」のヤハライボ、「利根川図志」のポンポン鳥
川名興, 房総の鳥 千葉県野鳥の会会報 138, 千葉: 千葉県野鳥の会, 1985 年 11 月
- ▼1278. 〈風紋〉大阪ことば・東京ことば
大西秀彦, 教育研究 40-11, 東京: 初等教育研究会, 1985 年 11 月
- ▼1279. 周辺地域から東京中心部への〈新方言〉の流入について
荻野綱男・井上史雄・田原広史, 国語学 143, 東京: 国語学会, 1985 年 12 月
- ▼1280. 地理的伝播様式の地域差 関東と関西を例に
佐藤貴裕, 国語学研究 25, 仙台: 東北大学文学部『国語学研究』刊行会, 1985 年 12 月
- ▼1281. 方言研究の心理学的見地 主に関東域方言の地域性に着目して
大橋勝男, 方言研究年報 28, 広島: 広島大学方言研究会, 1985 年 12 月
- ▼1282. 2.アクセント
稲垣滋子, 東京都言語地図, 東京: 東京都教育委員会, 1986 年 3 月
- ▼1283. 東京方言音韻の変化
永田高志, Sophia Linguistica20・21, Tokyo: Sophia University (上智大学), 1986 年
- ▼1284. 三浦半島と房総半島における〈でんぼ〉の歴史 「三浦半島言語地図」から
佐々木英樹, Sophia Linguistica20・21, Tokyo: Sophia University (上智大学), 1986 年
- ▼1285. 方言研究の体系的推進 関東地方域の方言についての方言地理学的研究に顧て
大橋勝男, 方言研究年報 29, 広島: 広島大学方言研究会, 1986 年
- ▼1286. 井上史雄著「新しい日本語 〈新方言〉の分布と変化」
石野博史, NHK 放送研究と調査 36-01, 東京: NHK, 1986 年 1 月
- ▼1287. 千葉県の植物方言 10
川名興, 野草 409, 鋸南町: 川名興, 1986 年 1 月
- ▼1288. 特集; ことばとの出会い ―東京語との出会い
小林保治, ILT News79, 東京: 早稲田大学語学教育研究室, 1986 年 3 月
- ▼1289. 井上史雄著「新しい日本語 〈新方言〉の分布と変化」
小林隆, 国語学 144, 東京: 国語学会, 1986 年 3 月
- ▼1290. 女性語について 江戸語を中心として
筒井嘉寿恵, 語学と文学 16, 前橋: 群馬大学語文学会, 1986 年 3 月
- ▼1291. 東京方言の「音便」を考える―音韻脱落・縮約・交替・附加― (LISTENING ABILITY 向上のために)
立松喜久子, アメリカ・カナダ十一大学連合日本研究センター紀要 9, 東京: アメリカ・カナダ十一大学連合日本研究センター, 1986 年 6 月
- ▼1292. 東京方言における話しことばの語彙分類
稲垣滋子, 語学研究(Language Research Bulletin)01-01, 三鷹: 国際基督教大学教養学部語学科, 1986 年 7 月
- ▼1293. 植物の方言名にみる命名の民俗的考察
川名興, 日本民俗学 168, 東京: 日本民俗学会, 1986 年 11 月

- ▼1294. 基礎講座・漢語と和語 4 標準語の成立とその用語
飛田良文, 月刊国語教育 06-08, 東京: 東京法令出版, 1986 年 11 月
- ▼1295. 埼玉県南東地方の言語伝播 パタン研究の視点から
佐藤貴裕, 国語学研究 26, 仙台: 東北大学文学部『国語学研究』刊行会, 1986 年 12 月
- ▼1296. 東京語における 3 拍漢語のアクセント変化
三井はるみ, 国語学研究 26, 仙台: 東北大学文学部『国語学研究』刊行会, 1986 年 12 月
- ▼1297. 東京・神奈川における<新方言>の地理的分布 2
石井直子, 日本語研究 8, 東京: 東京都立大学国語学研究室, 1986 年 12 月
- ▼1298. 基礎講座・漢語と和語 5 共通語の成立とその用語
飛田良文, 月刊国語教育 06-09, 東京: 東京法令出版, 1986 年 12 月
- ▼1299. 活用 現代東京方言述部の形態＝構文論的記述 2
屋名池誠, 学苑 565, 東京: 昭和女子大学, 1987 年 1 月
- ▼1300. 東京都民の通話行動分析
橋本弘行, 三省堂ぶっくれっと 66, 東京: 三省堂, 1987 年 1 月
- ▼1301. 〈録音器〉「東京のことば」聞き書 1
秋永一枝, 言語生活 422, 東京: 筑摩書房, 1987 年 1 月
- ▼1302. 各地のねぎらいのことば 1「せいこんがいいな」(埼玉県長瀨町)
村松賢一, 言語生活 422, 東京: 筑摩書房, 1987 年 1 月
- ▼1303. 〈録音器〉「東京のことば」聞き書 2
秋永一枝, 言語生活 423, 東京: 筑摩書房, 1987 年 2 月
- ▼1304. 〈新刊紹介〉「東京都言語地図」作成に携わって
藤田勝良, 月刊言語 16-02, 東京: 大修館書店, 1987 年 2 月
- ▼1305. 特集; お隣りさんはどこの人? — あなたはどの程度東京人? 「大都市の言語生活」面接調査より
[編著者不明], こんにちは 36, 東京: 有朋社, 1987 年 2 月
- ▼1306. 東京圏の方言と共通語—埼玉県女子高アンケート—
井上史雄, 東京外国語大学論集 37, 東京: 東京外国語大学, 1987 年 3 月
- ▼1307. 埼玉県南部・東京都北部地域の毛虫の方言分布
宮岡良成, 東京都立拝島高等学校研究紀要 2, 昭島: 東京都立拝島高等学校, 1987 年 3 月
- ▼1308. 〈録音器〉「東京のことば」聞き書 3
秋永一枝, 言語生活 424, 東京: 筑摩書房, 1987 年 3 月
- ▼1309. 都市社会における敬語意識と敬語行動 1
鈴木勁介, 和光大学人文学部紀要 21, 町田: 和光大学, 1987 年 3 月
- ▼1310. 〈録音器〉「東京のことば」聞き書 4
秋永一枝, 言語生活 425, 東京: 筑摩書房, 1987 年 4 月
- ▼1311. 〈録音器〉「東京のことば」聞き書 5
秋永一枝, 言語生活 426, 東京: 筑摩書房, 1987 年 5 月
- ▼1312. 各地のねぎらいのことば 5「おおぼねだの」(千葉県勝浦市)
村松賢一, 言語生活 426, 東京: 筑摩書房, 1987 年 5 月
- ▼1313. 〈録音器〉「東京のことば」聞き書 6
秋永一枝, 言語生活 427, 東京: 筑摩書房, 1987 年 6 月
- ▼1314. 〈録音器〉「東京のことば」聞き書 7
秋永一枝, 言語生活 428, 東京: 筑摩書房, 1987 年 7 月
- ▼1315. 特集; はなしことばとその周辺 — 〈はなしことばへの招待〉はなしことばの音声 二十世紀初頭東京落語レコード資料の場合

- 清水康行, 国文学 解釈と鑑賞 52-07, 東京: 至文堂, 1987 年 7 月
- ▼1316. 秋永一枝さん及び金田一春彦君へのお答え
服部四郎, 月刊言語 16-08, 東京: 大修館書店, 1987 年 7 月
- ▼1317. 〈録音器〉「東京のことば」聞き書 8
秋永一枝, 言語生活 429, 東京: 筑摩書房, 1987 年 8 月
- ▼1318. 特集; 方言風土記 ――東京
風間喜代三, 月刊言語 16-09, 東京: 大修館書店, 1987 年 8 月
- ▼1319. 東京におけるガ行鼻濁音の消失
永田高志, 言語生活 430, 東京: 筑摩書房, 1987 年 9 月
- ▼1320. 述部のアクセント 現代東京方言述部の形態＝構文論的記述 3
屋名池誠, 学苑 573, 東京: 昭和女子大学, 1987 年 9 月
- ▼1321. 〈録音器〉「東京のことば」聞き書 9
秋永一枝, 言語生活 430, 東京: 筑摩書房, 1987 年 9 月
- ▼1322. 消えてゆく懐かしい方言 東京弁
秋永一枝, 言語生活 430, 東京: 筑摩書房, 1987 年 9 月
- ▼1323. 江戸共通語をめぐって
土屋信一, 香川大学国文研究 12, 高松: 香川大学国文学会, 1987 年 9 月
- ▼1324. 〈録音器〉「東京のことば」聞き書 10
秋永一枝, 言語生活 431, 東京: 筑摩書房, 1987 年 10 月
- ▼1325. 東京語の音調構造
Beckman, Mary E.・Pierrehumbert, Janet B., 音声言語 2, 西宮: 近畿音声言語研究会, 1987 年 11 月
- ▼1326. 東京下町方言のアクセント
山口幸洋, 音声言語 2, 西宮: 近畿音声言語研究会, 1987 年 11 月
- ▼1327. 〈録音器〉「東京のことば」聞き書 11
秋永一枝, 言語生活 432, 東京: 筑摩書房, 1987 年 11 月
- ▼1328. 〈録音器〉「東京のことば」聞き書 12
秋永一枝, 言語生活 433, 東京: 筑摩書房, 1987 年 12 月
- ▼1329. 特集; 千の日本語 わたしの日本語独立宣言 ――話しことばの文字化作業 消えかかる東京方言を紙にとどめる
秋永一枝, 翻訳の世界 12-12, 東京: 日本翻訳家養成センター, 1987 年 12 月
- ▼1330. 東京湾の千葉県側と神奈川県側における《せーはち》・《へーはち》の歴史
佐々木英樹, Sophia Linguistica 23, Tokyo: Sophia University (上智大学), 1988 年
- ▼1331. 語 現代東京方言述部の形態＝構文論的記述 4
屋名池誠, 学苑 577, 東京: 昭和女子大学, 1988 年 1 月
- ▼1332. 特集; 地域文化の均質化に関する総合的研究 ――新方言と言語の統合・分岐
井上史雄, 人類科学 記念号 40, 京都: 九学会連合編/關書房, 1988 年 3 月
- ▼1333. 活用・再論 現代東京方言述部の形態＝構文論的記述 2・補遺
屋名池誠, 学苑 579, 東京: 昭和女子大学, 1988 年 3 月
- ▼1334. 現代首都圏女子大生における可能表現使用の一実態
加藤和夫, 和洋国文研究 23, 市川: 和洋女子大学, 1988 年 3 月
- ▼1335. 江戸語・東京語の当為表現―後部要素イケナイの成立を中心に―
渋谷勝己, 大阪大学日本学報 7, 豊中: 大阪大学文学部日本学研究室, 1988 年 3 月
- ▼1336. 日本の 8 都市における母音の無声化
杉藤美代子, 大阪樟蔭女子大学論集 25, 布施: 大阪樟蔭女子大学, 1988 年 3 月

- ▼1337. 杉本つとむ著「東京語の歴史」
田村達之，月刊国語教育 08-01，東京：東京法令出版，1988 年 4 月
- ▼1338. 「活用論」現代東京方言述部の形態＝構文論的記述 2・補遺 2 1 諸説便覧
屋名池誠，学苑 585，東京：昭和女子大学，1988 年 9 月
- ▼1339. 方言接辞の研究 ―方言に方言人の心理を見つめて 関東域方言に見られる語形成法（2. 接尾辞法）
大橋勝男，方言研究年報 30，広島：広島大学方言研究会，1988 年 10 月
- ▼1340. 東京方言の複合語アクセント記述の体系
岡田英俊，言語研究 94，東京：日本言語学会編，三省堂，1988 年 11 月
- ▼1341. 「活用論」現代東京方言述部の形態＝構文論的記述 2・補遺 2 2 諸説の批判的検討
屋名池誠，学苑 588，東京：昭和女子大学光葉会，1988 年 11 月
- ▼1342. 東京語の歴史 ―東京における言語生活史
岩淵匡，国語と国文学 65-11，東京：東京大学国語国文学会編/至文堂，1988 年 11 月
- ▼1343. 東京語の歴史 ―明治期国語教科書における用語の選定について 否定辞を中心に
京極興一，国語と国文学 65-11，東京：東京大学国語国文学会編/至文堂，1988 年 11 月
- ▼1344. 東京語の歴史 ―戦後における東京語の変遷
寿岳章子，国語と国文学 65-11，東京：東京大学国語国文学会編/至文堂，1988 年 11 月
- ▼1345. 東京語の歴史 ―東京語における男女差の形成 終助詞を中心として
小松寿雄，国語と国文学 65-11，東京：東京大学国語国文学会編/至文堂，1988 年 11 月
- ▼1346. 東京語の歴史 ―言文一致と東京語
森岡健二，国語と国文学 65-11，東京：東京大学国語国文学会編/至文堂，1988 年 11 月
- ▼1347. 東京語の歴史 ―末期江戸語における方言的背景 「夢酔独言」の用語に即して
真田信治，国語と国文学 65-11，東京：東京大学国語国文学会編/至文堂，1988 年 11 月
- ▼1348. 東京語の歴史 ―東京語の待遇表現の変遷
進藤咲子，国語と国文学 65-11，東京：東京大学国語国文学会編/至文堂，1988 年 11 月
- ▼1349. 東京語の歴史 ―東京語の録音資料 落語・演説レコードを中心として
清水康行，国語と国文学 65-11，東京：東京大学国語国文学会編/至文堂，1988 年 11 月
- ▼1350. 東京語の歴史 ―東京語の時代区分
田中章夫，国語と国文学 65-11，東京：東京大学国語国文学会編/至文堂，1988 年 11 月
- ▼1351. 東京語の歴史 ―拡大する東京語圏 旧市域の東京語と新市域の東京語
土屋信一，国語と国文学 65-11，東京：東京大学国語国文学会編/至文堂，1988 年 11 月
- ▼1352. 東京語の歴史 ―山の手言葉の形成
飛田良文，国語と国文学 65-11，東京：東京大学国語国文学会編/至文堂，1988 年 11 月
- ▼1353. 東京語の歴史 ―明治普通文
林巨樹，国語と国文学 65-11，東京：東京大学国語国文学会編/至文堂，1988 年 11 月
- ▼1354. 現代標準日本語のリズムと数詞の長音化
斎藤純男，音声学会会報 189，東京：日本音声学会，1988 年 12 月
- ▼1355. 明治期の東京語における打消助動詞 「浮雲」「金色夜叉」「三四郎」の場合
赤峯裕子，純真紀要 29，福岡：純真女子短期大学，1988 年 12 月
- ▼1356. Dialect classification by standard Japanese forms
Inoue, Fumio・Kasai, Hisako, Japanese Quantitative Linguistics, Bochum : Studienverlag Brockmeyer, 1989 年
- ▼1357. 千葉の植物方言 20 長生郡睦沢町の植物方言 2
川名興，野草 428，鋸南町：川名興，1989 年
- ▼1358. 活用論 現代東京方言述部の形態＝構文論的記述 2・補遺 2 3 諸説の批判的検討（承前）
屋名池誠，学苑 591，東京：昭和女子大学，1989 年 2 月

- ▼1359. 新語辞典の性格 大正期を中心に
松井栄一, 山梨大学教育学部研究報告 39-01, 甲府: 山梨大学教育学部, 1989 年 2 月
- ▼1360. 東京知識層の文体差と方言意識
井上史雄, 東京外国語大学論集 39, 東京: 東京外国語大学, 1989 年 3 月
- ▼1361. 現代日本人の標準語感覚
佐藤亮一, 玉藻 24, 横浜: フェリス女学院大学国文学会, 1989 年 3 月
- ▼1362. 特集; 音声 ー東京語音声分析の問題 単語アクセントを中心に
佐藤亮一, 日本語学 08-03, 東京: 明治書院, 1989 年 3 月
- ▼1363. 白子町の生活 ふるさとのくらし・今昔 2. 方言・訛語 (1) 方言の現状
白子風土記編纂委員会編, 白子風土記, 白子町(千葉県): 白子町, 1989 年 3 月
- ▼1364. 東金方言の「うだてい」について
本多幸恵, 昭和学院国語国文 22, 市川: 昭和学院短期大学国語国文学会, 1989 年 3 月
- ▼1365. 東京語における三拍和語のアクセント変化 複合名詞を中心として
三井はるみ, 文芸研究 121, 仙台: 日本文芸研究会, 1989 年 5 月
- ▼1366. 特集; 日本語大問題集 ー方言と標準語
真田信治, 月刊言語 18-05, 東京: 大修館書店, 1989 年 5 月
- ▼1367. 東京語アクセントの多様性
馬瀬良雄・佐藤亮一, 講座日本語と日本語教育 2 日本語の音声・音韻 上, 東京: 明治書院, 1989 年 5 月
- ▼1368. 東京方言談話資料
久木田恵, 名古屋・方言研究会会報 6, 名古屋: 名古屋・方言研究会, 1989 年 6 月
- ▼1369. 特集; 現代日本語 過去から将来へ ー江戸語から東京語へ
杉本つとむ, 国文学 解釈と鑑賞 54-07, 東京: 至文堂, 1989 年 7 月
- ▼1370. 〈談話室〉話し言葉と標準語
大石初太郎, 月刊国語教育研究 208, 東京: 日本国語教育学会編/謙光社, 1989 年 9 月
- ▼1371. 東京方言話者と福島方言秋田方言話者における母音連続の聞き分けの違いについて 「顔」を含む文の場合
益子幸江, 吉沢典男教授追悼論文集, 東京: 吉沢典男教授追悼論文集編集委員会編/東京外国語大学音声学研究室,
1989 年 12 月
- ▼1372. トライアングラムによる場面差分析 東京～福島の方言調査より
田原広史, 吉沢典男教授追悼論文集, 東京: 吉沢典男教授追悼論文集編集委員会編/東京外国語大学音声学研究室,
1989 年 12 月
- ▼1373. 特集; 日本人はどう話してきたか ー現代若者語の中の江戸語 1 びびる・まぶい
米川明彦, 月刊言語 19-02, 東京: 大修館書店, 1990 年 2 月
- ▼1374. 特集; 日本人はどう話してきたか ー現代若者語の中の江戸語 2 はくい
米川明彦, 月刊言語 19-02, 東京: 大修館書店, 1990 年 2 月
- ▼1375. Stress Assignment in Tokyo Japanese 1 Parameter Settings and Compound Words.
Yamada, Eiji, 福岡大学人文論叢 21-04, 福岡: 福岡大学研究所, 1990 年 3 月
- ▼1376. 特集 I ; 地域文化の均質化Ⅲ ー新方言の分布パターン
井上史雄, 人類科学 42, 京都: 九学会連合編/関書房, 1990 年 3 月
- ▼1377. 標準語形の計量的性格と地理的分布パターン
井上史雄, 言語研究 97, 東京: 日本言語学会編/三省堂, 1990 年 3 月
- ▼1378. 単語アクセントの計量的研究大阪アクセントと東京アクセントの比較
杉藤美代子・田原広史, アジア・アフリカ文法研究 18 特集アクセント 18, 東京: 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所, 1990 年 3 月
- ▼1379. 関東地方の方言研究

- 佐藤亮一, 東条操先生生誕 100 周年記念 日本方言研究の歩み 論文編, 東京: 日本方言研究会編/角川書店, 1990 年 6 月
- ▼1380. Stress Assignment in Tokyo Japanese 2 Stress Shift, and Stress in Suffixation.
Yamada, Eiji, 福岡大学人文論叢 22-01, 福岡: 福岡大学研究所, 1990 年 8 月
- ▼1381. 東京方言の談話展開の方法
久木田恵, 国語学 162, 東京: 国語学会, 1990 年 9 月
- ▼1382. アクセントの変化と変異 2・3・4・5・6 拍形容詞
日比谷潤子, Sophia Linguistica 28, Tokyo: Sophia University (上智大学), 1990 年 11 月
- ▼1383. 現代東京語のアクセント年齢差および辞典との差を中心に
佐藤亮一, 国語論究 2 文字・音韻の研究, 東京: 明治書院, 1990 年 6 月
- ▼1384. アクセント型の支配力 東京都 2 地点の比較から
稲垣滋子, 日本語論考, 東京: 大島一郎教授退官記念論集刊行会編/桜楓社, 1991 年 1 月
- ▼1385. 千葉方言におけるカ行子音の分布と変化
篠崎晃一, 日本語論考, 東京: 大島一郎教授退官記念論集刊行会編/桜楓社, 1991 年 1 月
- ▼1386. 千葉方言における動詞・形容詞の活用
篠崎晃一, 人文学報 225, 東京: 東京都立大学人文学会編/大日本図書, 1991 年 1 月
- ▼1387. 農業語彙の研究 神奈川県高座郡寒川町を中心とする養蚕語彙について
善理信昭・和泉善子, 日本語論考, 東京: 大島一郎教授退官記念論集刊行会編/桜楓社, 1991 年 1 月
- ▼1388. 東日本の音声の調査・研究について
加藤正信, 東日本の音声 論文編 (1) 1, 仙台: 佐藤和之編/加藤正信 (東北大学文学部), 1991 年 3 月
- ▼1389. 生きているアクセント規則の検討 東京語の単純動詞とその転成名詞の場合
相澤正夫, 研究報告集 12 (国立国語研究所報告 103), 東京: 国立国語研究所, 1991 年 3 月
- ▼1390. 人工急増地域における若年層の言語 神奈川県中央地区の場合
田中ゆかり, 国文学研究 103, 東京: 早稲田大学国文学会, 1991 年 3 月
- ▼1391. 大正期の話しことば指導 本田正一・福田謹四郎・稲垣太吉・赤塚吉次郎らを中心にして
有働玲子, 国語科教育 38, 東京: 全国大学国語教育学会編/教育評論社, 1991 年 3 月
- ▼1392. 日本語 (共通語) における外来語のアクセント変化について
李香蘭, 文化 54-03・04, 仙台: 東北大学文学会, 1991 年 3 月
- ▼1393. 特集; 戦後の言語変化 ー方言の中の変化 戦後の新方言
井上史雄, 日本語学 10-04, 東京: 明治書院, 1991 年 4 月
- ▼1394. 特集; 戦後の言語変化 ー東京語アクセントの変化 大正から昭和まで
佐藤亮一, 日本語学 10-04, 東京: 明治書院, 1991 年 4 月
- ▼1395. 江戸語における終助詞の男女差 女性による「な」の使用について
中野伸彦, 国語と国文学 68-04, 東京: 東京大学国語国文学会編/至文堂, 1991 年 4 月
- ▼1396. 新語使用の男女差・年齢差
丹羽一弥, 名古屋・方言研究会会報 8, 名古屋: 名古屋・方言研究会, 1991 年 5 月
- ▼1397. 特集; ことばと女性 ー<ことばの男女差> 方言における男女差 東日本方言
山口幸洋, 国文学 解釈と鑑賞 56-07, 東京: 至文堂, 1991 年 7 月
- ▼1398. 特集; ことばと女性 ー<ことばの男女差> アクセントに現れた男女差
秋永一枝, 国文学 解釈と鑑賞 56-07, 東京: 至文堂, 1991 年 7 月
- ▼1399. 特集; ことばと女性 ー<ことばと女性> 二十世紀初めの小説台詞における女性のことば 東京中流の女性の
ことばと標準語
清水康行, 国文学 解釈と鑑賞 56-07, 東京: 至文堂, 1991 年 7 月
- ▼1400. 特集; 日本のバイリンガリズム ー方言と標準語の使い分け

- 真田信治・勝村聡子, 月刊言語 20-08, 東京:大修館書店, 1991 年 8 月
- ▼1401. 国際化時代の日本語・首都圏世論調査 第 5 回言語環境調査から 1
石野博史・安平美奈子, NHK 放送研究と調査 41-08, 東京: NHK 放送文化研究所, 1991 年 8 月
- ▼1402. 東海道沿線の新語と新方言
井上史雄, 東京外国語大学論集 43, 東京: 東京外国語大学, 1991 年 11 月
- ▼1403. 形容詞アクセントの変化と変異 ランダムサンプリング調査の結果から
日比谷潤子, 慶応義塾大学言語文化研究所紀要 23, 東京: 慶応義塾大学言語文化研究所, 1991 年 12 月
- ▼1404. 千葉県房総南端部の/ai/ /ei/ の融合・長音化について
嶺田明美, 学苑 627, 東京: 昭和女子大学, 1992 年 1 月
- ▼1405. 現代生活と方言 学校生活における方言と共通語の使い分け
尾崎喜光, 日本語学 11-02, 東京: 明治書院, 1992 年 2 月
- ▼1406. 東海道沿線の方言分布パターン グロットグラムデータの多変量解析
井上史雄, 言語研究 101, 東京: 日本言語学会編/三省堂, 1992 年 3 月
- ▼1407. 言葉の馴染み度とアクセントとの関係
秋永一枝・田中ゆかり・松永修一・吉田健二, 早稲田大学日本語研究教育センター紀要 4, 東京: 早稲田大学日本語研究教育センター, 1992 年 3 月
- ▼1408. 進行中のアクセント変化 東京語の複合動詞の場合
相澤正夫, 研究報告集 13 (国立国語研究所報告 104), 東京: 国立国語研究所/秀英出版, 1992 年 3 月
- ▼1409. 大学生の言語生活 関東圏の 35 の 4 年制大学の学生に対するアンケートの結果
島村直己, 計量国語学 18-04, 東京: 計量国語学会, 1992 年 3 月
- ▼1410. 連載; 方言の現在 4 ー大都市の言語生活 統計資料と実態調査にもとづいて
米田正人, 日本語学 11-04, 東京: 明治書院, 1992 年 4 月
- ▼1411. 特集; 方言地図と文法 文法研究の地理的視界 ー<方言分布の性格> 標準語・共通語の地理的背景
佐藤亮一, 日本語学 11-06, 東京: 明治書院, 1992 年 5 月
- ▼1412. 特集; 方言地図と文法 文法研究の地理的視界 ー<助詞から見た各地方言> 関東方言
大橋勝男, 日本語学 11-06, 東京: 明治書院, 1992 年 5 月
- ▼1413. 特集; 方言地図と文法 文法研究の地理的視界 ー<共通語文法と方言文法> 江戸語東京語の表現と方言の助詞
田中章夫, 日本語学 11-06, 東京: 明治書院, 1992 年 5 月
- ▼1414. 「共通語は空から降ってくる?」〈方言の変容〉
篠崎晃一, 月刊言語 21-07, 東京: 大修館書店, 1992 年 6 月
- ▼1415. 埼玉県東部方言の音韻の性格 母音の問題を中心に
吉田健二, 国文学研究 108, 東京: 早稲田大学国文学会, 1992 年 10 月
- ▼1416. 東海道沿線の方言使用と方言意識
井上史雄, 東京外国語大学論集 45, 東京: 東京外国語大学, 1992 年 11 月
- ▼1417. 東京語の文末詞の音調と機能についての考察ー「よ」を中心にー
轟木靖子, 日本語・日本文化研究 2, 箕面: 大阪外国語大学日本語学科, 1992 年 11 月
- ▼1418. 対称詞「あなた」の使用についてー東京の数家族における聞き取り調査からー
水野孝子, 福岡 YWCA 日本語教育論文集 5, 福岡: 福岡 YWCA 日本語教育委員会, 1992 年 12 月
- ▼1419. 東京出身者と大阪出身者による同一音声資料の聞き取り結果
土岐哲, 待兼山論叢 日本学篇 26, 豊中: 大阪大学文学部, 1992 年 12 月
- ▼1420. Dissecting Analogical Leveling Quantitatively: The Case of the Innovative Potential Suffix in Tōkyō Japanese.
Matsuda, Kenjirō, Language Variation and Change 5-1, London: Cambridge University Press,

1993 年

- ▼1421. Tendenzen zum ebenen Akzent in der Umgangssprache von Tokyo; Eine soziolinguistische Untersuchung über die Betonung musikalischer Begriffe.
Takahashi, Hideaki, Sophia Linguistica 33, Tokyo : Sophia University (上智大学), 1993 年
- ▼1422. 東京語の「ゆれ」と言語教育 アクセントを中心に
佐藤亮一・三井はるみ, 日本語音声と教育 (「日本語音声」研究報告書 8) 文部省科学研究費補助金重点領域「日本語音声」総括班 [科研報告書], 東大阪: 杉藤美代子, 1993 年 2 月
- ▼1423. 〈紹介〉飛田良文著「東京語成立史の研究」
諸星美智直, 國學院雑誌 94-02, 東京: 國學院大學, 1993 年 2 月
- ▼1424. 埼玉県秩父地方の俚言考察 言語地理学的手法を用いて
鶴田秀樹, 東洋大学大学院紀要 文学研究科 29, 東京: 東洋大学大学院, 1993 年 2 月
- ▼1425. 〈新刊自己紹介〉東京語成立史の研究 飛田良文
飛田良文, 日本語学 12-02, 東京: 明治書院, 1993 年 2 月
- ▼1426. 方言と標準語 場面による使い分けとことばのイメージ
伊藤隆, コミュニケーションと人間 2, 長久手町(愛知県): 愛知淑徳大学コミュニケーション学会, 1993 年 3 月
- ▼1427. 方言形から共通語形へ 「おそろしい」を表す方言類義語の場合
井上博文, 国語表現研究 6, 大阪: 国語表現研究会, 1993 年 3 月
- ▼1428. 〈新〉方言「チョー」と「メッチャ」 創大生の使用状況
守屋三千代, 日本語日本文学 3, 八王子: 創価大学日本語日文学会, 1993 年 3 月
- ▼1429. 無ア地域における高校生の東京式ア化現象 東北・北関東方言を対象に
森下喜一, 多々良鎮男先生傘寿記念論文集, 宇都宮: 多々良鎮男先生傘寿記念論文集刊行会, 1993 年 3 月
- ▼1430. 日本諸方言についての記述的研究 23 千葉県市原市東国吉方言について
大橋勝男, 新潟大学教育学部紀要 人文・社会科学編 34-02, 新潟: 新潟大学, 1993 年 3 月
- ▼1431. 大学生のコミュニケーション意識 関東圏の 35 の 4 年制大学の学生に対するアンケートの結果 2
島村直己, 計量国語学 18-08, 東京: 計量国語学会, 1993 年 3 月
- ▼1432. 私小説作家川崎長太郎の作品における「神奈川西部方言」
配島成光, 日本文学の伝統, 東京: 三弥井書店, 1993 年 3 月
- ▼1433. 標準日本語のアクセントの移動の再考
田中章, 言語学からの眺望 福岡言語学研究会 20 周年記念論文集, 福岡: 福岡言語学研究会編/九州大学出版会, 1993 年 8 月
- ▼1434. 〈書評〉飛田良文著「東京語成立史の研究」
鈴木英夫, 国語と国文学 70-08, 東京: 東京大学国語国文学会編/至文堂, 1993 年 8 月
- ▼1435. 〈公開学術講演〉東京語と標準語
田中章夫, 國學院大學日本文化研究所紀要 72, 東京: 國學院大學日本文化研究所, 1993 年 9 月
- ▼1436. 〈書評〉飛田良文著「東京語成立史の研究」
田中章夫, 国語学 174, 東京: 国語学会, 1993 年 9 月
- ▼1437. 東京のある中・高校のガ行鼻音の実態及び教員の意識・意見について
李殷芝, 東北大学文学部日本語学科論集 3, 仙台: 東北大学文学部日本語学科, 1993 年 9 月
- ▼1438. 埼玉特殊アクセントの崩壊過程
吉田健二, 国文学研究 111, 東京: 早稲田大学国文学会, 1993 年 10 月
- ▼1439. 明治東京語における連母音アイの音訛 江戸語との比較
小松寿雄, 国語研究, 東京: 松村明先生喜寿記念会編/明治書院, 1993 年 10 月
- ▼1440. 日本諸方言についての記述的研究 24 東京都昭島市拝島町方言について
大橋勝男, 新潟大学教育学部紀要 人文・社会科学編 35-01, 新潟: 新潟大学, 1993 年 10 月

- ▼1441. 〈研究ノート〉新方言辞典稿
井上史雄, 東京外国語大学論集 47, 東京: 東京外国語大学, 1993 年 11 月
- ▼1442. 特集; 日本語の現在—現代語、何が問題か? —<現代日本語事情> 日本語考現学 東京と地方の言語変化
井上史雄, 国文学 解釈と教材の研究 38-12, 東京: 学燈社, 1993 年 11 月
- ▼1443. 日本語考現学 東京と地方の言語変化
井上史雄, 国文学 解釈と教材の研究 38-12, 東京: 学燈社, 1993 年 11 月
- ▼1444. 日本語複合語における平板化形態素の作用域について
窪菌晴夫, 日本語・日本文化研究 3, 箕面: 大阪外国語大学日本語講座, 1993 年 11 月
- ▼1445. 特集; 日本語の現在—現代語、何が問題か? —<現代日本語論への新しい視点> アクセント 地域アクセント研究の現状と課題—社会言語学的な視点から
佐藤亮一, 国文学 解釈と教材の研究 38-12, 東京: 学燈社, 1993 年 11 月
- ▼1446. 特集; 日本語の現在—現代語、何が問題か? —<現代日本語論への新しい視点> 方言
真田信治, 国文学 解釈と教材の研究 38-12, 東京: 学燈社, 1993 年 11 月
- ▼1447. 終助詞の男女差の形成 江戸語における男女差形成の動き
中野伸彦, 山口大学教育学部研究論叢 1 人文科学・社会科学 43, 山口: 山口大学教育学部, 1993 年 11 月
- ▼1448. 「東京」話話者に見る、使用言語意識 「新・東京都言語地図」調査中間報告
高橋永行, 山形県立米沢女子短期大学紀要 28, 米沢: 山形県立米沢女子短期大学, 1993 年 12 月
- ▼1449. 方言接触からみた首都圏西部のアクセント 2・3 拍名詞の場合
田中ゆかり, 音声学会会報 204, 東京: 日本音声学会, 1993 年 12 月
- ▼1450. 形容詞アクセントの変化と変異実時間における変化と現時点における変異
日比谷潤子, 慶応義塾大学言語文化研究所紀要 25, 東京: 慶応義塾大学言語文化研究所, 1993 年 12 月
- ▼1451. 俗語使用の広がり 「チャリンコ」を例として
鈴木豊, 文京女子短期大学英語英文学科紀要 26, 東京: 文京女子短期大学, 1993 年 12 月
- ▼1452. アクセント核の移りと聞こえの方言差—母音の無声化を中心に—
秋永一枝, 音声の研究 23, 東京: 日本音声学会, 1994 年
- ▼1453. 特集; 放送のことば・21 世紀への提言—放送用語委員会 60 周年を迎えて— —地域のことばと放送
井上史雄, NHK 放送研究と調査 44-01, 東京: NHK 放送文化研究所, 1994 年 1 月
- ▼1454. 特集; 美しい日本語 —東京下町ことばの味わい 浅草界限、べらんめえの移り変わり
横田貢, 日本語論 02-01, 東京: 山本書房, 1994 年 1 月
- ▼1455. 特集; はなしことばの現在 —<はなしことばの実態> 東京下町はなしことば亀戸方言
竹内和夫, 国文学 解釈と鑑賞 59-01, 東京: 至文堂, 1994 年 1 月
- ▼1456. 「尻上がり」イントネーションの社会言語学
井上史雄, 国語論究 4 現代語・方言の研究, 東京: 明治書院, 1994 年 2 月
- ▼1457. 外来語におけるアクセント核の位置
柴田武, 国語論究 4 現代語・方言の研究, 東京: 明治書院, 1994 年 2 月
- ▼1458. 首都圏西部におけるアクセント平板化現象の一側面 外来語・地名アクセントの平板化現象
田中ゆかり, 早稲田大学大学院文学研究科紀要 別冊 文学・芸術学編 20, 東京: 早稲田大学大学院, 1994 年 2 月
- ▼1459. 語中ガ行音と語中カ行音有声化の関係 埼玉県東部地域の高年層調査から
吉田健二, 早稲田日本語研究 2, 東京: 早稲田大学国語学会, 1994 年 3 月
- ▼1460. 〈公開学術講演〉録音資料に聴く二十世紀初めの東京語
清水康行, 國學院大學日本文化研究所紀要 73, 東京: 國學院大學日本文化研究所, 1994 年 3 月
- ▼1461. 「涼しさ」など“一サ形名詞”のアクセントの東京語における揺れと変化について
清水誠治・中川美和, 日本語研究 14, 東京: 東京都立大学国語学研究室, 1994 年 3 月
- ▼1462. 東京語形成期における「ね・よ」の一考察

- 増倉洋子, 湘南文学 28, 平塚: 東海大学日本文学会, 1994 年 3 月
- ▼1463. 日本諸方言についての記述的研究 25 神奈川県厚木市飯山方言について
大橋勝男, 新潟大学教育学部紀要 人文・社会科学編 35-02, 新潟: 新潟大学, 1994 年 3 月
- ▼1464. 特集; 日本の大型辞書 ——<各大型辞書の特色と課題> 「現代日本語方言大辞典」の特色と課題
久野真, 日本語学 13-07, 東京: 明治書院, 1994 年 6 月
- ▼1465. アクセントのゆれと今後の動向
秋永一枝, 国文学 解釈と鑑賞 59-07, 東京: 至文堂, 1994 年 7 月
- ▼1466. 特集; 方言学への招待 ——新方言入門
井上史雄, 日本語論 02-08, 東京: 山本書房, 1994 年 8 月
- ▼1467. 特集; 方言学への招待 ——標準語・共通語・方言・地域語
最上勝也, 日本語論 02-08, 東京: 山本書房, 1994 年 8 月
- ▼1468. 特集; 方言学への招待 ——東京弁
風間喜代三, 日本語論 02-08, 東京: 山本書房, 1994 年 8 月
- ▼1469. アクセントの同音語弁別力 東京アクセントと大阪アクセント
柴田武・杉藤美代子・柴田里程・高際睦, 計量国語学 19-06, 東京: 計量国語学会, 1994 年 9 月
- ▼1470. 〈公開学術講演〉消えゆく東京弁
秋永一枝, 國學院大學日本文化研究所紀要 74, 東京: 國學院大學日本文化研究所, 1994 年 9 月
- ▼1471. 千葉県言語地図
伊藤直美, 語文論叢 22, 千葉: 千葉大学人文学部国語国文学会, 1994 年 11 月
- ▼1472. 外房地域における音声特徴についての一考察 スースー弁の実態調査報告
海治美香, 語文論叢 22, 千葉: 千葉大学人文学部国語国文学会, 1994 年 11 月
- ▼1473. 現代語としての『かわいい』と若者言葉一様式論からの分析ー
高木裕子・浅田優子・井出聡子・音羽美幸・佐藤由希子・田中恵美・町川由華・藤本晶子・薬師寺貴子・米尾正美, 関西外国語大学留学生別科日本語教育論集 4, 枚方: 関西外国語大学留学生別科, 1994 年 11 月
- ▼1474. 埼玉県大里郡岡部町方言の自然会話から
青柳精三, ことばの世界 北海道方言研究会 20 周年記念論文集 北海道方言研究会叢書 55, 札幌: 北海道方言研究会, 1994 年 12 月
- ▼1475. 東日本における尊敬表現の分布と考察 お乗りになりますか
飯豊毅一, ことばの世界 北海道方言研究会 20 周年記念論文集 北海道方言研究会叢書 55, 札幌: 北海道方言研究会, 1994 年 12 月
- ▼1476. 千葉県南房総方言と江戸ことばについての一考察 オイナーと「おへねへ」
海治美香, 日本語研究 15, 東京: 東京都立大学国語学研究室, 1995 年 2 月
- ▼1477. 地域社会への新語の浸透 山形県東田川郡三川町と千葉県長生郡白子町との比較
篠崎晃一, 人文学報 266, 東京: 東京都立大学人文学会編/大日本図書, 1995 年 2 月
- ▼1478. 江戸共通語資料としての「物類称呼」 先行本草書類との関連性
山県浩, 群馬大学教育学部紀要 人文・社会科学編 44, 前橋: 群馬大学教育学部, 1995 年 3 月
- ▼1479. 〈公開学術講演〉21 世紀の東京語 ことばの未来予測
城生佰太郎, 國學院大學日本文化研究所紀要 75, 東京: 國學院大學日本文化研究所, 1995 年 3 月
- ▼1480. 形容詞アクセントの実態調査
谷口すみ子, 調布日本文化 5, 川崎: 調布学園短期大学, 1995 年 3 月
- ▼1481. 東海道沿線における東西方言の交流 文法の新方言
井上史雄, 関西方言の社会言語学 (Sekaishiso Seminar), 京都: 世界思想社, 1995 年 4 月
- ▼1482. プロソディーと丁寧表現 東京・大阪・名古屋の方言差を考慮して
河野俊之, 音声学会会報 208, 東京: 日本音声学会, 1995 年 4 月

- ▼1483. 特集；戦後 50 年の言語生活 ―放送用語の 50 年
石野博史, 日本語学 14-09, 東京：明治書院, 1995 年 8 月
- ▼1484. 〈書評〉秋永一枝著 (1995) 「東京弁は生きていた」(ひつじ書房)
川上泰, 音声学会会報 209, 東京：日本音声学会, 1995 年 8 月
- ▼1485. 埼玉県蓮田市高虫方言のアクセント 二拍名詞の変化動向に注目して
大橋純一, 音声学会会報 209, 東京：日本音声学会, 1995 年 8 月
- ▼1486. 東京方言における動詞・形容詞の活用形のアクセント
柳田征司, 鎌倉時代語研究 18 故佐々木峻氏追悼号, 東京：武蔵野書院, 1995 年 8 月
- ▼1487. 東京語話者に見られる文末の「浮き上がり調」について―「意志表現」と「勧誘表現」の場合―
蔡雅芸, 東北大学文学部日本語学科論集 5, 仙台：東北大学文学部日本語学科, 1995 年 9 月
- ▼1488. Final Accent vs. No Accent; Utterance-final Neutralization in Tokyo Japanese.
Vance, Timothy J., Journal of Phonetics 23-04, London : Seminarpress, 1995 年 10 月
- ▼1489. 四音節名詞における東京式アクセント
柳田征司, 国語学論集 築島裕博士古稀記念, 東京：汲古書院, 1995 年 10 月
- ▼1490. 特集；変容する日本の方言 ―<東京>首都方言の威光と言語意識・言語変化
吉岡泰夫, 月刊言語 24-12, 東京：大修館書店, 1995 年 11 月
- ▼1491. 特集；変容する日本の方言 ―<千葉>東京近隣の共通語主流社会における言語意識
篠崎晃一, 月刊言語 24-12, 東京：大修館書店, 1995 年 11 月
- ▼1492. 東京語終助詞「な」の機能について―文末のモダリティ形式との関係―
鷺留美, 日本語・日本文化研究 5, 箕面：大阪外国語大学日本語講座, 1995 年 11 月
- ▼1493. 日本語（東京下町方言）の中止イントネーション ピッチパターンによる類型化の試行
原香織, 日本語の研究と教育 窪田富男教授退官記念論文集, 東京：専門教育出版, 1995 年 12 月
- ▼1494. 東京語における非典型的疑問文の韻律特徴
中川千恵子, 言語文化と日本語教育 10, 東京：お茶の水女子大学日本言語文化学会, 1995 年 12 月
- ▼1495. 「一つハッチャない」から「一つツキヤない」まで江戸語東京語の限定の表現
田中章夫, 日本近代語研究 2, 東京：近代語研究会編/ひつじ書房, 1995 年 12 月
- ▼1496. 特集；現代日本語の敬語は ―<敬語の現在と未来> 敬語表現はどう変わってきたか 明治・大正・昭和
田中章夫, 国文学 解釈と教材の研究 40-14, 東京：学燈社, 1995 年 12 月
- ▼1497. Denasalization of the Velar Nasal in Tokyo Japanese; Observations in Real Time.
Hibiya, Junko, Towards a Social Science of Language 1; Variation and Change in Language and Society.,
[発行地不明]: [発行所不明], 1996 年
- ▼1498. The Velar Nasal in Tokyo Japanese; A Case of Diffusion from Above.
Hibiya, Junko, Language Variation and Change 07-02, London : Cambridge University Press, 1996 年
- ▼1499. 現代日本語における和語 3 拍名詞について 出現位置別に見た音素分布の分析と考察
入江さやか, 同志社国文学 43, 京都：同志社大学国文学会, 1996 年 1 月
- ▼1500. 四音節名詞における京阪アクセントと現代東京アクセント
柳田征司, 愛媛大学教育学部紀要 2 人文・社会科学 28-02, 松山：愛媛大学, 1996 年 2 月
- ▼1501. 日本語東京方言における「聞こえ度」と複合語アクセント規則
岩井康雄, 日本語・日本文化 22, 箕面：大阪外国語大学研究留学生別科, 1996 年 3 月
- ▼1502. 現代日本語のアクセントの型の分布 「電子ブック版 大辞林」を資料として
栗林均, 日本大学文理学部人文科学研究紀要 51, 東京：日本大学文理学部人文科学研究所, 1996 年 3 月
- ▼1503. 明治期の口語法調査の研究 「口語法調査報告書」と「口語法分布図」の比較
高橋玲子, 学習院大学国語国文学会誌 39, 東京：学習院大学, 1996 年 3 月
- ▼1504. 東京・新潟間における新形容詞「違い」の普及の様相 口語レベルからの日本語の変化過程モデル

- 佐藤高司, 語学と文学 32, 前橋: 群馬大学語文学会, 1996 年 3 月
- ▼1505. 大都市と周辺地域の方言
三井はるみ, 方言の現在, 東京: 明治書院, 1996 年 3 月
- ▼1506. 〈書評〉平山輝男ほか編「現代日本語方言大辞典 補巻」
室山敏昭, 国語学 184, 東京: 国語学会, 1996 年 3 月
- ▼1507. 消えゆく東京弁
秋永一枝, 東京語のゆくえ 江戸語から東京語、東京語からスタンダード日本語へ, 東京: 國學院大學日本文化研究所編/東京堂出版, 1996 年 3 月
- ▼1508. 東京・芦安両アクセントにみる接合型の衰退
秋永一枝, 国文学研究 118, 東京: 早稲田大学国文学会, 1996 年 3 月
- ▼1509. 録音資料に聴く二十世紀初めの東京語
清水康行, 東京語のゆくえ 江戸語から東京語、東京語からスタンダード日本語へ, 東京: 國學院大學日本文化研究所編/東京堂出版, 1996 年 3 月
- ▼1510. 語の長さアクセント変化 『東京語アクセント資料』の分析
相澤正夫, 研究報告集 17, 東京: 国立国語研究所, 1996 年 3 月
- ▼1511. 〈公開学術講演会〉東京語と標準語
田中章夫, 東京語のゆくえ 江戸語から東京語、東京語からスタンダード日本語へ, 東京: 國學院大學日本文化研究所編/東京堂出版, 1996 年 3 月
- ▼1512. 〈公開シンポジウム〉「東京語のゆくえ」
[編著者不明], 東京語のゆくえ 江戸語から東京語、東京語からスタンダード日本語へ, 東京: 國學院大學日本文化研究所編/東京堂出版, 1996 年 3 月
- ▼1513. 「東京語アクセント資料」の検証 下町多人数調査結果と比較して
佐藤亮一, 言語学林 1995-1996, 東京: 三省堂, 1996 年 4 月
- ▼1514. 東京弁アクセントから首都圏アクセントへ
秋永一枝, 言語学林 1995-1996, 東京: 三省堂, 1996 年 4 月
- ▼1515. 「大阪・東京アクセント音声辞典」(CD-ROM) の作成
杉藤美代子, 言語学林 1995-1996, 東京: 三省堂, 1996 年 4 月
- ▼1516. 尾高型アクセントの現在位置 「東京語アクセント資料」の分析
相澤正夫, 言語学林 1995-1996, 東京: 三省堂, 1996 年 4 月
- ▼1517. 特集; 「気」の語句 ー東京弁における「気」のアクセント
秋永一枝, 日本語学 15-07, 東京: 明治書院, 1996 年 7 月
- ▼1518. 関東方言における方向を表す「サ」の類の用法 海岸部の方言について
小林隆, 文化 60-01, 仙台: 東北大学文学会, 1996 年 9 月
- ▼1519. 千葉県安房郡および館山市における農家の間取りの呼び名
グロータース, W.A., 日本語研究諸領域の視点 上, 東京: 明治書院, 1996 年 10 月
- ▼1520. 動詞「散る」における進行態・結果態の全国分布 「方言資料叢刊 4 方言アスペクトの研究」を資料として
井上文子, 地域言語 8, 天理: 天理・地域言語研究会, 1996 年 10 月
- ▼1521. 東京弁音声の衰退
秋永一枝, 日本語研究諸領域の視点 下, 東京: 明治書院, 1996 年 10 月
- ▼1522. 江戸東京語のアナタとオマエサン
小松寿雄, 国語と国文学 73-10, 東京: 東京大学国語国文学会編/至文堂, 1996 年 10 月
- ▼1523. 関東方言における方向を表す「サ」の類の分布と用法 内陸部の方言を中心に
小林隆, 日本語研究諸領域の視点 上, 東京: 明治書院, 1996 年 10 月
- ▼1524. 東京アクセント、大阪アクセントおよび平安アクセントの型の特徴 「大阪・東京アクセント音声辞典」

CD-ROM の検索による

杉藤美代子, 日本語研究諸領域の視点 下, 東京: 明治書院, 1996 年 10 月

▼1525. 関東地方の与格助詞ゲー

青柳精三, 日本語研究諸領域の視点 上, 東京: 明治書院, 1996 年 10 月

▼1526. 無核型の一面

川上泰, 日本語研究諸領域の視点 下, 東京: 明治書院, 1996 年 10 月

▼1527. 寒川町と大和市との方言の差異について

善理信昭, 日本語研究諸領域の視点 上, 東京: 明治書院, 1996 年 10 月

▼1528. 東京都の言語実態 言語地図から見る

大島一郎, 日本語研究諸領域の視点 上, 東京: 明治書院, 1996 年 10 月

▼1529. 神奈川県方言の一面 調査の結果を踏まえて

配島成光, 日本語研究諸領域の視点 上, 東京: 明治書院, 1996 年 10 月

▼1530. 東京語、京都・大阪語話者による日本語アクセントの知覚と再現性

代田智恵子, 待兼山論叢 日本学篇 30, 豊中: 大阪大学文学部, 1996 年 12 月

▼1531. 埼玉特殊アクセントの個人差と地域差 三領域間における二拍名詞の体系的変化動向を比較しつつ

大橋純一, 国語学 187, 東京: 国語学会, 1996 年 12 月

▼1532. 地域概況(国内) 関東地方

田中寛, 日本語教育 展望 94, 東京: 日本語教育学会, 1997 年 1 月

▼1533. 連載; [図説] 二十世紀末日本人の言語意識 2 ―あなたは共通語が好きですか

米田正人, 月刊言語 26-02, 東京: 大修館書店, 1997 年 2 月

▼1534. 名古屋のアクセントの推移と東京アクセント化 「日本語音声」東京放送班の資料と対比して

下野雅昭, 金城学院大学論集 国文学編 39, 名古屋: 金城学院大学, 1997 年 3 月

▼1535. 特集; 「甦れ! 東京ことば。」 ―山の手は「行っちゃった」、下町は「行っちゃまった」

田中章夫, 東京人 12-03, 東京: 東京都歴史文化財団, 1997 年 3 月

▼1536. フット境界を越えるアクセント核移動 東京方言複合名詞からの証拠

横谷輝男, 音声研究 01-01, 東京: 日本音声学会, 1997 年 4 月

▼1537. 連載; 話しことば その研究と教育を結ぶ (1) ―方言・共通語・標準語

柴田武, 日本語学 16-04, 東京: 明治書院, 1997 年 4 月

▼1538. 「当時の村山首相」の 2 つの意味と 2 つの読み 名詞句の意味構造とアクセント弱化について

郡史郎, 文法と音声, 東京: 音声文法研究会編/くろしお出版, 1997 年 5 月

▼1539. 明治期話しことば教育の展開

高野光男, 国語教育史に学ぶ (早稲田教育叢書 2), 東京: 学文社, 1997 年 5 月

▼1540. 〈調査報告〉「東京語アクセント資料」と辞書アクセント 尾高型アクセントを事例とした資料評価

相澤正夫, 日本語科学 1, 東京: 国立国語研究所, 1997 年 5 月

▼1541. 「ら」抜き言葉などのいわゆる「言葉の乱れ」について

村上秀夫, 一の坂川姫山国語国文論集, 東京: 関一雄編/笠間書院, 1997 年 5 月

▼1542. 「～のように」にみる新方言の接触 東京・新潟間及び群馬県北部・西部におけるミタク・ミチョーニ・ミトーニ

佐藤高司, 語学と文学 33, 前橋: 群馬大学語文学会, 1997 年 6 月

▼1543. 特集; 日本語の方言と言語行動 ―<方言生活と言語行動(身ぶり)のダイナミックス> マスコミと方言 標準語期/方言復権期/メディア日常化期/マルチメディア期

石野博史, 国文学 解釈と教材の研究 42-07, 東京: 学燈社, 1997 年 6 月

▼1544. 特集; 日本語の方言と言語行動 ―<各地の方言生活の特色―具体例を挙げつつ> 関東 タ方のあいさつ方言生活

大橋勝男, 国文学 解釈と教材の研究 42-07, 東京: 学燈社, 1997 年 6 月

- ▼1545. 「沖縄対話」の明治東京語
金子弘, 日本語の歴史地理構造, 東京: 加藤正信編/明治書院, 1997 年 7 月
- ▼1546. アクセント・イントネーション構造と文法
窪菌晴夫, アクセント・イントネーション・リズムとポーズ 日本語音声 2, 東京: 三省堂, 1997 年 7 月
- ▼1547. 標準語アクセントの基盤としての東京アクセントの実態 東京における多人数調査を資料として
佐藤亮一・三井はるみ, 諸方言のアクセントとイントネーション 日本語音声 1, 東京: 三省堂, 1997 年 7 月
- ▼1548. 化政期～幕末期江戸戯作における合拗音と規範意識
神戸和昭, 日本語の歴史地理構造, 東京: 明治書院, 1997 年 7 月
- ▼1549. 話し言葉のアクセント, イントネーション, リズムとポーズ
杉藤美代子, アクセント・イントネーション・リズムとポーズ 日本語音声 2, 東京: 三省堂, 1997 年 7 月
- ▼1550. 原因・理由を表す助詞の分布と歴史 (ノート) 「方言文法全国地図」の解釈
彦坂佳宣, 日本語の歴史地理構造, 東京: 加藤正信編/明治書院, 1997 年 7 月
- ▼1551. 新方言の誕生
井上史雄, 日本語学のみかた., 東京: 朝日新聞社, 1997 年 10 月
- ▼1552. 連載; [図説] 二十世紀末日本人の言語意識 11 ー ー共通語に対するイメージのパターン分類
米田正人, 月刊言語 26-12, 東京: 大修館書店, 1997 年 11 月
- ▼1553. 終助詞と発話類型ー東京語終助詞「わ」と「な」の談話における働きー
鷺留美, 日本語・日本文化研究 7, 箕面: 大阪外国語大学日本語講座, 1997 年 11 月
- ▼1554. 特集; 流行語 ーいつ、なぜ、どうして?ー<歴史をたどる> 明治・大正の流行語
米川明彦, 国文学 解釈と教材の研究 42-14, 東京: 学燈社, 1997 年 12 月
- ▼1555. 連載; [図説] 二十世紀末日本人の言語意識 12 ー ー方言、共通語、言語意識のパターン分類
米田正人, 月刊言語 26-13, 東京: 大修館書店, 1997 年 12 月
- ▼1556. 連載「NHK 日本語発音アクセント辞典」改訂 2 ー ー若い世代は平らなアクセントがメジャー アナウンサーアクセント調査報告 1 「外来語」
加治木美奈子, NHK 放送研究と調査 48-07, 東京: NHK 放送文化研究所, 1998 年 7 月
- ▼1557. 特集; 「東京語」論 ー ー「東京語」の表象の成立
イ, ヨンスク, 月刊言語 27-01, 東京: 大修館書店, 1998 年 1 月
- ▼1558. 日本語学習者にとっての東京語アクセント
鮎沢孝子, 月刊言語 27-01, 東京: 大修館書店, 1998 年 1 月
- ▼1559. 特集; 「東京語」論 ー ー東京の新方言 「〜ゲニ」の増殖
井上史雄, 月刊言語 27-01, 東京: 大修館書店, 1998 年 1 月
- ▼1560. 特集; 「東京語」論 ー ー東京の女性のことばのいま
遠藤織枝, 月刊言語 27-01, 東京: 大修館書店, 1998 年 1 月
- ▼1561. 〈特別記事 [辞書紹介]〉杉藤美代子著「大阪・東京アクセント音声辞典」(CD-ROM)
金水敏, 月刊言語 27-01, 東京: 大修館書店, 1998 年 1 月
- ▼1562. 特集; 「東京語」論 ー ー方言主流社会の東京語
佐藤和之, 月刊言語 27-01, 東京: 大修館書店, 1998 年 1 月
- ▼1563. 特集; 「東京語」論 ー ー東京語とは何か
柴田武, 月刊言語 27-01, 東京: 大修館書店, 1998 年 1 月
- ▼1564. 特集; 「東京語」論 ー ー東京弁は消えてゆく
秋永一枝, 月刊言語 27-01, 東京: 大修館書店, 1998 年 1 月
- ▼1565. 特集; 「東京語」論 ー ー江戸語はいつ共通語になったか
真田信治, 月刊言語 27-01, 東京: 大修館書店, 1998 年 1 月
- ▼1566. 特集; 「東京語」論 ー ー言語文化としての新東京語の構想

- 杉本つとむ, 月刊言語 27-01, 東京:大修館書店, 1998 年 1 月
- ▼1567. 〈新刊・寸感〉松本裕治・今井邦彦・田窪行則・橋田浩一・郡司隆男著「岩波講座言語の科学 1 言語の科学入門」; 斎藤純男著「日本語音声学入門」; 杉藤美代子著「大阪・東京アクセント音声辞典 CD-ROM」
相澤正夫, 日本語学 17-01, 東京:明治書院, 1998 年 1 月
- ▼1568. 外来語を後部要素とする複合名詞のアクセントについて—杉藤美代子著「大阪・東京アクセント音声辞典 CD-ROM」を用いて—
村中淑子, 日本語研究センター報告 5, 東大阪:大阪樟蔭女子大学日本語研究センター, 1998 年 1 月
- ▼1569. 特集;「東京語」論 —移りゆく東京弁
田中章夫, 月刊言語 27-01, 東京:大修館書店, 1998 年 1 月
- ▼1570. 数詞のアクセント 現代東京方言のばあい
屋名池誠, 東京大学国語研究室創設百周年記念国語研究論集, 東京:汲古書院, 1998 年 2 月
- ▼1571. 東京・新潟間における中学生の方言使用意識
佐藤高司, 上越教育大学国語研究 12, 上越:上越教育大学国語教育学会, 1998 年 2 月
- ▼1572. キミとボク 江戸東京語における対使用を中心に
小松寿雄, 東京大学国語研究室創設百周年記念国語研究論集, 東京:汲古書院, 1998 年 2 月
- ▼1573. Sociolinguistics of Intonation Change in Progress in Tokyo
Inoue, Fumio, 東京外国語大学論集 56, 東京:東京外国語大学, 1998 年 3 月
- ▼1574. The Formation of Standard Japanese
Tanaka, Akio, 学習院大学文学部研究年報 44, 東京:学習院大学, 1998 年 3 月
- ▼1575. 新しい敬語の補助動詞「～テミエル」が保守的な共通語と抗争する方言戦略
江端義夫, 国語教育研究 41, 広島:広島大学教育学部国語科光葉会, 1998 年 3 月
- ▼1576. 「物類称呼」の見出し語 江戸共通語史での位置
山県浩, 群馬大学教育学部紀要 人文・社会科学編 47, 前橋:群馬大学教育学部, 1998 年 3 月
- ▼1577. 特集;アクセント研究の現在 —マルチメディアの辞典「大阪・東京アクセント音声辞典」CD-ROM
杉藤美代子, 日本語学 17-04, 東京:明治書院, 1998 年 3 月
- ▼1578. 動詞・助動詞承接の「です」について 明治大正期を中心に
浅川哲也, 国語研究 61, 東京:國學院大學国語研究会, 1998 年 3 月
- ▼1579. 『神奈川県方言辞典』編集にあたって 問題点の一つ二つと特徴
配島成光, 滝川国文 14, 滝川:國學院短期大学国文学会, 1998 年 3 月
- ▼1580. 明治期の東京語における人称代名詞の研究 明治・大正期の落語の速記本にあらわれた一、二人称代名詞
岡田賢二, 埼玉大学国語教育論叢 2, 浦和:埼玉大学国語教育学会, 1998 年 4 月
- ▼1581. 埼玉大学学生用語集
青木勝彦, 埼玉大学国語教育論叢 2, 浦和:埼玉大学国語教育学会, 1998 年 4 月
- ▼1582. 東京方言の終助詞「ね」「な」「か」の音調について
轟木靖子, ことばの心理と学習 河野守夫教授退職記念論文集, 東京:金星堂, 1998 年 6 月
- ▼1583. 中学生の新語・流行語使用意識 東京・新潟間
佐藤高司, 語学と文学 34, 前橋:群馬大学語文学会, 1998 年 6 月
- ▼1584. 文法から見た東日本方言の形成
小林隆, 月刊言語 27-07, 東京:大修館書店, 1998 年 7 月
- ▼1585. 特集;複雑化社会のコミュニケーション —<対人関係の変化> 大都市居住者の対人関係と敬語行動
荻野綱男, 日本語学 17-11, 東京:明治書院, 1998 年 9 月
- ▼1586. 〈新刊・寸感〉山口佳紀編「暮らしのことば語源辞典」;飯豊毅一・日野資純・佐藤亮一編「講座方言学」全 10 巻;
馬瀬良雄・中東靖恵・小西優香編「首都圏女子大生のキャンパスことば 横浜・フェリス女学院大学」;大阪樟蔭女子大学日本語研究センター編「日本語研究センター報告 6 特集:小笠原諸島の言語文化」

- 吉岡泰夫, 日本語学 17-10, 東京: 明治書院, 1998 年 9 月
- ▼1587. 社会言語学的な調査 音声アンケート式調査の検討を中心として
田中ゆかり, 日本語学 17-10, 東京: 明治書院, 1998 年 9 月
- ▼1588. 「東京京阪言語違」に見る明治期東京語
土屋信一, 共立国際文化 14, 八王子: 共立女子大学, 1998 年 9 月
- ▼1589. 標準語法の性格
田中章夫, 日本語科学 4, 東京: 国立国語研究所, 1998 年 10 月
- ▼1590. 特集; いま、「方言」がおもしろい!? —「新方言」とは何だ? 共通語化が進んでも方言は生まれ続けている
井上史雄, 望星 29-11, 東京: 東海教育研究所, 1998 年 11 月
- ▼1591. 明治後期から大正期にかけての可能表現の変遷についての考察 可能の意味の「れる」形と「可能動詞」形とのかかわり合いを中心に
林綺雲, 解釈 44-11, 東京: 解釈学会編/寧楽書房, 1998 年 12 月
- ▼1592. 指向的解釈の可能性—首都圏西部域高年層アクセントデータによる検討—
田中ゆかり, 国語研究 62, 東京: 國學院大學国語研究会, 1999 年 3 月
- ▼1593. 「～かける」の意味特性と統語構造 東西差に注目して
山川太, 日本語教育学の展開 奥田邦男先生退官記念論文集, 広島: 奥田邦男先生退官記念論文集刊行委員会編/溪水社, 1999 年 2 月
- ▼1594. 『しんにほんごのきそ』1 の「か文」文末イントネーション—共通語話者の上昇調・非昇調についての聴覚的印象から—
稲垣滋子・佐藤由紀子・鈴木庸子, ICU 日本語教育研究センター紀要 8, 東京: 国際基督教大学日本語教育研究センター, 1999 年 3 月
- ▼1595. 首都圏における外来語平板アクセントと馴染み度
加藤大鶴, 早稲田日本語研究 7, 東京: 早稲田大学国語学会, 1999 年 3 月
- ▼1596. 現代日本語の音声めぐって 1999 年における標準的な日本語のばあい
花田康紀, 国士館大学教養論集 24-02, 東京: 國士館大學教養學會, 1999 年 3 月
- ▼1597. 標準語および東京語の使用と言語意識との相關について
玉井宏児, 言語・地域文化研究<東京外国語大学博士後期課程論叢>5, 東京: 東京外国語大学大学院, 1999 年 3 月
- ▼1598. 東京語の疑問文末詞「か」のイントネーション—『しんにほんごのきそ 1』の会話文読み上げ資料の音響的分析を中心に—
熊野七絵・長岡順子・今田滋子, 広島大学日本語教育学科紀要 09, 東広島: 広島大学教育学部日本語教育学科, 1999 年 3 月
- ▼1599. 大阪方言におけるテオク形の用法 東京方言との対照を中心に
高田祥司, 現代日本語研究 6, 豊中: 大阪大学文学部日本学科現代日本語学講座, 1999 年 3 月
- ▼1600. 三浦半島言語地図 (1984) 第 1 分冊
佐々木英樹, 駒沢女子短期大学研究紀要 32, 東京: 駒沢女子短期大学, 1999 年 3 月
- ▼1601. 東京方言の助数詞のアクセント
小野暁・早田輝洋, 大東文化大学紀要 人文科学 37, 東京: 大東文化大学, 1999 年 3 月
- ▼1602. 10 代の文法と言語変異 東京語格助詞「を」ゼロマーク化データから
松田謙次郎, トークス 2, 神戸: 神戸松蔭女子学院大学/神戸松蔭女子学院短期大学学術研究会, 1999 年 3 月
- ▼1603. 複合名詞後部要素のアクセント型保存
上野善道, 言語と文化の諸相, 盛岡: 岩手大学人文社会科学部欧米研究講座編, 1999 年 3 月
- ▼1604. 袖ヶ浦の動物の呼び名と民俗 (上)
川名與, 袖ヶ浦市史研究 7, 袖ヶ浦: 袖ヶ浦市教育委員会, 1999 年 3 月

- ▼1605. 全国推量表現の分布とその解釈 GAJ「書く」「高い」を中心に
彦坂佳宣, 国語研究 62, 東京: 國學院大學国語研究会, 1999 年 3 月
- ▼1606. 江戸語における ae、oi、ui の長母音化
福島直恭, 学習院女子大学紀要 1, 東京: 学習院女子大学, 1999 年 3 月
- ▼1607. 東京と大阪の談話におけるあいづちの種類とその運用
マドセン, ヤスコ, ナガノ・杉藤美代子, 日本語科学 5, 東京: 国立国語研究所, 1999 年 4 月
- ▼1608. 〈新刊・寸感〉馬瀬良雄・中東靖恵・小西優香編「首都圏女子大生のキャンパスことばー横浜・フェリス女学院大学 1998」
伊藤雅光, 日本語学 18-04, 東京: 明治書院, 1999 年 4 月
- ▼1609. 東京都青梅市方言のアクセントの中間報告 (1) 青年層の 1~3 拍体言のアクセントの資料と考察
浜中誠・飯島一行, 日本語研究 19, 東京: 東京都立大学国語学研究室, 1999 年 4 月
- ▼1610. 首都圏の新方言形チッタ
早野慎吾, 名古屋・方言研究会会報 16, 名古屋: 名古屋・方言研究会, 1999 年 5 月
- ▼1611. 一字漢語サ変動詞のアクセント 『大阪・東京アクセント音声辞典』を主資料とした分析
前田広幸, 文法と音声 2, 東京: 音声文法研究会編/くろしお出版, 1999 年 6 月
- ▼1612. 千葉県のカエルの方言
川名興, カエルのきもち 平成 11 年度特別展展示解説書, 千葉: 千葉県立中央博物館, 1999 年 7 月
- ▼1613. 〈新刊・寸感〉早田輝洋著「音調のタイポロジー」; 秋永一枝著「東京弁アクセントの変容」
相澤正夫, 日本語学 18-08, 東京: 明治書院, 1999 年 7 月
- ▼1614. 特集; 日本語のスピード ー現代日本語の自然音声談話のスピード
城生恒太郎, 月刊言語 28-09, 東京: 大修館書店, 1999 年 9 月
- ▼1615. 可能表現における否定主導ー江戸語・東京語資料にみるー
申鉉竣, 学習院大学人文科学論集 8, 東京: 学習院大学, 1999 年 9 月
- ▼1616. 発音からみた夏目漱石の江戸語
佐藤武義, 近代語研究 10, 東京: 武蔵野書院, 1999 年 10 月
- ▼1617. 「新山の手ことばの性格」
田中章夫, 近代語研究 10, 東京: 武蔵野書院, 1999 年 10 月
- ▼1618. 東京京阪言語違のことば
土屋信一, 近代語研究 10, 東京: 武蔵野書院, 1999 年 10 月
- ▼1619. 臨増・地域方言と社会方言 ー<地域方言・社会方言の諸相> 共通語化と社会方言
吉岡泰夫, 日本語学 18-13, 東京: 明治書院, 1999 年 11 月
- ▼1620. 臨増・地域方言と社会方言 ー<新しい方言・古い方言> 新しい方言と古い方言の全国分布ー語彙ー
三井はるみ, 日本語学 18-13, 東京: 明治書院, 1999 年 11 月
- ▼1621. 臨増・地域方言と社会方言 ー<地域方言とその周辺> 公共交通機関の方言 大都市圏鉄道各社の具体例に基づいて
村上敬一, 日本語学 18-13, 東京: 明治書院, 1999 年 11 月
- ▼1622. 臨増・地域方言と社会方言 ー<新しい方言・古い方言> 新しい方言と古い方言の全国分布 ナンダ・ナカタなど打消過去の表現をめぐって
大西拓一郎, 日本語学 18-13, 東京: 明治書院, 1999 年 11 月
- ▼1623. 千葉県東海岸部のことばの世代差に関する一考察 文末表現形式
永島寛子, ことば 20, 東京: 現代日本語研究会, 1999 年 12 月
- ▼1624. 〈書評〉杉藤美代子著「大阪・東京アクセント音声辞典」CD-ROM
金水敏, 国語学 199, 東京: 国語学会, 1999 年 12 月
- ▼1625. 若年層話者のガ行鼻音に対する意識ー近畿以西, 関東, 東北・北海道地域出身者の比較ー

- 中東靖恵, 岡山大学文学部紀要 32, 岡山: 岡山大学文学部, 1999 年 12 月
- ▼1626. 「標準女性語」の概念形成過程—昭和初期から終戦まで—
鷺留美, ことばの科学 12, 名古屋: 名古屋大学言語文化部言語文化研究会, 1999 年 12 月
- ▼1627. 特集; 方言の一世紀 —<二一世紀をむかえる方言> 標準語・方言・新方言の一世紀
井上史雄, 国文学 解釈と鑑賞 65-01, 東京: 至文堂, 2000 年 1 月
- ▼1628. 特集; 方言記述編 2 —<方言記述> 引用表現形式に由来する文末詞の対照 山形市方言ズ; 山口方言チャ;
東京方言ッテ・ッテバについて
船木礼子, 阪大社会言語学研究ノート 2, 豊中: 大阪大学大学院文学研究科社会言語学研究室, 2000 年 1 月
- ▼1629. 東京湾岸言語地図 (横浜市・三浦半島) [1982・83・85] 第 1 分冊
佐々木英樹, 駒沢女子短期大学研究紀要 33, 東京: 駒沢女子短期大学, 2000 年 3 月
- ▼1630. 〈書評〉秋永一枝著『東京弁アクセントの変容』
佐藤亮一, 国文学研究 130, 東京: 早稲田大学国文学会, 2000 年 3 月
- ▼1631. 〈新刊・寸感〉庄司博史編『ことばの二〇世紀』; 佐藤和之・米田正人編『どうなる日本のことば 方言と共通語
のゆくえ』
三井はるみ, 日本語学 19-03, 東京: 明治書院, 2000 年 3 月
- ▼1632. 明治期東京語における「だけ」の限定用法
寺田洋枝, 国語研究 63, 東京: 國學院大學国語研究会, 2000 年 3 月
- ▼1633. オレ・ソチ・ソナタ・ワッチ・ワタイ 明治東京語女性人称形成の一考察
小松寿雄, 国語語彙史の研究 19, 大阪: 和泉書院, 2000 年 3 月
- ▼1634. 袖ヶ浦の動物の呼び名と民俗 (下)
川名與, 袖ヶ浦市史研究 8, 袖ヶ浦: 袖ヶ浦市教育委員会, 2000 年 3 月
- ▼1635. 後部に 2 拍和語をもつ複合名詞アクセント再考
前田広幸, 現代言語学の射程, 東京: 英宝社, 2000 年 3 月
- ▼1636. 「共通語らしさ」と「関西弁らしさ」 「ダ」と「ヤ」と「ネン」
足立雅代, 甲南国文 47, 神戸: 甲南女子短期大学国語国文学会, 2000 年 3 月
- ▼1637. 東京方言が他地域方言に与える影響 関西若年層によるダカラの受容を例として
小西いずみ, 日本語研究 20, 東京: 東京都立大学国語学研究室, 2000 年 4 月
- ▼1638. 近世後期方言書類の江戸語
山県浩, 福岡大学人文論叢 32-01, 福岡: 福岡大学研究所, 2000 年 6 月
- ▼1639. 東京方言格助詞「を」の使用に関わる言語的諸要因の数量的検証
松田謙次郎, 国語学 51-01, 東京: 国語学会, 2000 年 6 月
- ▼1640. 幕末期～明治初期江戸語・東京語における合拗音と洋学資料
神戸和昭, 語から文章へ, 仙台: 「語から文章へ」編集委員会, 2000 年 8 月
- ▼1641. 特集; 音声研究関連データベースの動向 —『大阪・東京アクセント音声辞典』CD-ROM
杉藤美代子, 音声研究 04-02, 東京: 日本音声学会, 2000 年 8 月
- ▼1642. 疑問文イントネーションにおける発話意図と音響要因 若い世代の東京方言の「やる」を例に
鄭恩禎, 東京大学言語学論集 19, 東京: 東京大学文学部言語学研究室, 2000 年 9 月
- ▼1643. 日本語アクセントの発見 『小学唱歌集』初編 (明治 15 年) から『日本大辞書』(明治 25 年～26 年) へ
北村淳子, 国際文化研究紀要 6, 横浜: 横浜市立大学大学院, 2000 年 10 月
- ▼1644. 五音節名詞の東京方言アクセント
柳田征司, 鎌倉時代語研究 23, 東京: 武蔵野書院, 2000 年 10 月
- ▼1645. 江戸弁と東北弁と
萩野貞樹, 国語国字 175, 東京: 国語問題協議会, 2000 年 11 月
- ▼1646. 東京湾岸言語地図 (木更津・君津・富津市) [1986～89] 1

- 佐々木英樹, 駒沢女子大学研究紀要 7, 稲城: 駒沢女子大学, 2000 年 12 月
- ▼1647. 特集; 音声研究の課題 ―日本語のアクセントのトーン性
川上薫, 音声研究 04-03, 東京: 日本音声学会, 2000 年 12 月
- ▼1648. アクセント型の獲得と消失における「意識型」と「実現型」 首都圏西部域若年層における外来語アクセント
平板化現象から
田中ゆかり, 国語学 51-03, 東京: 国語学会, 2000 年 12 月
- ▼1649. 特集; 21 世紀の日本語 ―方言を支える共通語 世紀のはざまに視点を置いて
小林隆, 日本語学 20-01, 東京: 明治書院, 2001 年 1 月
- ▼1650. 〈書評〉社会言語学と国語位相論の連携をめざして 田中章夫 (著) 日本語の位相と位相差
渋谷勝己, 社会言語科学 03-02, 川崎: 社会言語科学会, 2001 年 3 月
- ▼1651. 特集; 確認要求にかかわる形式 ―東京方言のジャンについて
松丸真大, 阪大社会言語学研究ノート 3, 豊中: 大阪大学大学院文学研究科社会言語学研究室, 2001 年 3 月
- ▼1652. 東京語の助詞のアクセント
清水めぐみ, 国語研究 64, 東京: 國學院大學国語研究会, 2001 年 3 月
- ▼1653. 特集; 確認要求にかかわる形式 ―東京方言「ッテ」と「ッテバ」の用法について 文末詞的用法を中心に
辻加代子, 阪大社会言語学研究ノート 3, 豊中: 大阪大学大学院文学研究科社会言語学研究室, 2001 年 3 月
- ▼1654. 同系のアクセント体系を持つ方言間の付属語アクセントの比較 東京方言と信州大町方言を例として
田中宣廣, 国語学研究 40, 仙台: 東北大学文学部『国語学研究』刊行会, 2001 年 3 月
- ▼1655. 埼玉県越谷市旧増林村方言のアクセント
飯島一行, 日本語研究 21, 東京: 東京都立大学国語学研究室, 2001 年 4 月
- ▼1656. 江戸語における打消表現・当為表現のヌ系からナイ系の変遷について 話者と聞き手の社会的関係・親疎関係か
らの一考察
湯浅彩央, 名古屋・方言研究会会報 18, 名古屋: 名古屋・方言研究会, 2001 年 5 月
- ▼1657. 〈書評〉秋永一枝著『東京弁アクセントの変容』
相澤正夫, 国語学 52-03, 東京: 国語学会, 2001 年 9 月
- ▼1658. 東京語と大阪語の外来語アクセントの比較
李香蘭, 日本語学研究 4, ソウル: 韓国日本語學會, 2001 年 9 月
- ▼1659. 首都圏若年層のコミュニケーション行動 インターネット, 形態メール利用を中心に
橋元良明・小松亜紀子・栗原正輝・班目幸司・アヌラグ・カシヤプ, 東京大学社会情報研究所調査研究紀要 16,
東京: 東京大学社会情報研究所, 2001 年 10 月
- ▼1660. 東京語ノ成立 保科孝一講義録
武田佳子, 地域言語 13, 天理: 天理・地域言語研究会, 2001 年 10 月
- ▼1661. 東京湾岸言語地図 3 千葉県千葉市・市原市・袖ヶ浦町[1989-92] 4 東京都・千葉県境界地帯南部[1992-94] 5 東京
都・神奈川県境界地帯東部[1994-97] 第 1 分冊
佐々木英樹, 駒沢女子大学研究紀要 8, 稲城: 駒沢女子大学, 2001 年 12 月
- ▼1662. 文法と日本語のアクセントおよびイントネーション 東京と大阪の場合
杉藤美代子, 文法と音声 3, 東京: 音声文法研究会編/くろしお出版, 2001 年 12 月
- ▼1663. 気づきにくく変わりやすい方言
田中ゆかり, 21 世紀の方言学, 東京: 図書刊行会, 2002 年 6 月
- ▼1664. 東京語の発音とゆれ
秋永一枝, 現代日本語講座 3 発音, 東京: 明治書院, 2002 年 1 月
- ▼1665. 明治期口語研究の新展開に向けて 標準語と保科孝一、尾崎紅葉、そして「トル・ヨル」
増井典夫, 国語論究 9 現代の位相研究, 東京: 明治書院, 2002 年 1 月
- ▼1666. 日本諸方言についての記述的研究 41 埼玉県比企郡小川町古寺方言について

- 大橋勝男, 新潟大学教育人間科学部紀要 人文・社会科学編 04-02, 新潟: 新潟大学, 2002 年 2 月
- ▼1667. 母親の語りのスタイルにおける地域差 東京と沖縄の場合
柿沼美紀・上村佳世子, 発達研究 16, 東京: 発達科学研究教育センター, 2002 年 3 月
- ▼1668. 特集; スタイル切換え ——<方言> 東京下町方言話者のスタイル切換え
松丸真大・辻加代子, 阪大社会言語学研究ノート 4, 豊中: 大阪大学大学院文学研究科社会言語学研究室, 2002 年 3 月
- ▼1669. 終助詞の階層と接続上の音調特性 現代東京語と京都語の対照
前田広幸, 奈良教育大学国文 研究と教育 25, 奈良: 奈良教育大学国文学会, 2002 年 3 月
- ▼1670. 江戸語の比況表現 ミルヨウダ・ミタヨウダについて
鶴橋俊宏, 言語文化研究 01, 静岡: 静岡県立大学短期大学部静岡言語文化学会, 2002 年 3 月
- ▼1671. 大正期高等小学校読本の口語化
島田康行, 読書科学 46-01, 東京: 日本読書学会, 牧書店, 2002 年 4 月
- ▼1672. 流行語としての“まったり”の客観化 首都圏におけるアンケート調査
早川文代・馬場康維, 日本家政学会誌 53-05, 東京: 日本家政学会, 2002 年 5 月
- ▼1673. 江戸東京語における女性の係助詞ハと連母音アイの融合
小松寿雄, 国語と国文学 79-08, 東京: 東京大学国語国文学会編/至文堂, 2002 年 8 月
- ▼1674. 1903 年 2 月録音の東京落語平円盤資料群について
清水康行, 国語と国文学 79-08, 東京: 東京大学国語国文学会編/至文堂, 2002 年 8 月
- ▼1675. 特集; 記述的研究と理論的研究 ——現象と本質 方言の文法と標準語の文法
工藤真由美, 日本語文法 02-02, つくば: 日本語文法学会, 2002 年 9 月
- ▼1676. 付属語「きり」の用法の変遷について 江戸語・東京語を中心に
渡辺ゆかり, 日本語科学 12, 東京: 国立国語研究所, 2002 年 10 月
- ▼1677. 西武秩父仲見世など関東型商業地名「仲見世」の追補
鏡味明克, 鉄道文学 23, 津: 日本鉄道文学研究会 (三重大学鉄道文学研究会), 2002 年 12 月
- ▼1678. <かまきり>と<とかげ>の混乱と適応 東京湾岸言語地図から
佐々木英樹, 駒沢女子大学研究紀要 9, 稲城: 駒沢女子大学, 2002 年 12 月
- ▼1679. 東京市電を扱った落語 二代目桂文之助の「満員電車」
中井幸比古, 鉄道文学 23, 津: 日本鉄道文学研究会 (三重大学鉄道文学研究会), 2002 年 12 月
- ▼1680. 関東地方における当為表現 史的变化・分布からの一考察
湯浅彩央, 論究日本文学 77, 京都: 立命館大学日本文学会, 2002 年 12 月
- ▼1681. 現代日本語における和語 3 拍名詞の音韻構造 語構成別に見た音素分布の分析
入江さやか, 同志社大学留学生別科紀要 2, 京都: 同志社大学留学生別科, 2002 年 12 月
- ▼1682. 幕末明治期の居留地における日本語についての考察—Yokohama Dialect を中心に—
金沢朱美, 目白大学人文学部紀要 9, 岩槻: 目白大学人文学部, 2003 年 1 月
- ▼1683. 「ネサヨ運動」とその周辺 全国展開した「ことば」の教育的運動の実態と背景と位相—忘れ去られた国語教育史— 1960 年代に、鎌倉市腰越から全国展開した「ネサヨ運動」と、筑穂町大分から地域展開した「ネハイ」運動
橋本典尚, 東洋大学大学院紀要 文学研究科 39, 東京: 東洋大学大学院, 2003 年 2 月
- ▼1684. 関東東北東域アクセント事象についての方言地理学的研究 二拍名詞にみえる当域の傾向
河内秀樹, 新大国語 29, 新潟: 新潟大学教育学部国語国文学会, 2003 年 3 月
- ▼1685. 音調句からみた東京方言談話の対人的変異
斎藤有紀恵, 信大日本語教育研究 3, 松本: 信州大学人文学部文化コミュニケーション学科日本言語文化講座日本語教育学冲研究室, 2003 年 3 月
- ▼1686. 東京アクセント末核型の行方
川上葵, 国語研究 66, 東京: 國學院大學国語研究会, 2003 年 3 月

- ▼1687. 東京方言付属語アクセントの記述的研究
田中宣廣, 国語学研究 42, 仙台: 東北大学文学部『国語学研究』刊行会, 2003 年 3 月
- ▼1688. 神奈川県の方言概説
日野資純, 分類神奈川県方言辞典 1 自然・動物・植物 神奈川県民俗調査報告 21, 神奈川: 神奈川県立歴史博物館, 2003 年 3 月
- ▼1689. 用法に地域差が伴う言語表現に対する相互評価 関東と関西の比較
尾崎喜光, 社会言語科学 05-02, 川崎: 社会言語科学会, 2003 年 3 月
- ▼1690. 東京方言と近畿方言における母音の無声化の比較
藤本雅子・桐谷滋, 音声研究 07-01, 東京: 日本音声学会, 2003 年 4 月
- ▼1691. 特集; 舌耕芸・落語誕生 ――<落語名人略伝> 落語の江戸語・東京語
野村雅昭, 国文学 解釈と鑑賞 68-04, 東京: 至文堂, 2003 年 4 月
- ▼1692. 日本語の頭文字語アクセントについて
窪菌晴夫, 音韻研究 6, 東京: 日本音韻論学会編/開拓社, 2003 年 5 月
- ▼1693. 首都圏方言における形容詞活用形のアクセントの複雑さが意味するもの 「気づき」「変わりやすさ」の観点から
田中ゆかり, 語文 106, 東京: 日本大学国文学会, 2003 年 6 月
- ▼1694. 特集; 異文化接触と日本語 ――関東における日本語方言境界線から見た河川地形名の重層とその背景
安部清哉, 国語学 54-03, 東京: 国語学会, 2003 年 7 月
- ▼1695. 東京語における形容詞アクセントの変化とその要因
小林めぐみ, 音声研究 07-02, 東京: 日本音声学会, 2003 年 8 月
- ▼1696. 「どくだみ」と「おおぼこ」による東京湾岸の方言区画
佐々木英樹, 駒沢女子大学研究紀要 10, 稲城: 駒沢女子大学, 2003 年 12 月
- ▼1697. 東京語発話文に施したアクセント核位置操作が句知覚に及ぼす影響
猪狩哲郎, 言語科学論集 7, 仙台: 東北大学文学部日本語学科, 2003 年 12 月
- ▼1698. 調査不能の実態―「調査拒否」を中心にして―
氏家豊, 日本語学 23-08, 東京: 明治書院, 2004 年 8 月
- ▼1699. 〈新刊紹介〉現代日本語研究会編『男性のことば・職場編』
氏家洋子, 国文学 解釈と鑑賞 69-01, 東京: 至文堂, 2004 年 1 月
- ▼1700. 母音長と母音の無声化の関係 東京方言話者と大阪方言話者の比較
藤本雅子, 国語学 55-01, 東京: 国語学会, 2004 年 1 月
- ▼1701. 東京方言の研究 墨田区方言の男女差
今和泉賀世子, 埼玉大学国語教育論叢 7, 浦和: 埼玉大学国語教育学会, 2004 年 2 月
- ▼1702. 同時結節のしくみと東京方言談話
沖裕子, 日本語文法 04-01, つくば: 日本語文法学会, 2004 年 3 月
- ▼1703. 特集; スタイル切換え 3 ――東京山の手方言話者のスタイル切換え
西原菜奈子, 阪大社会言語学研究ノート 6, 豊中: 大阪大学大学院文学研究科社会言語学研究室, 2004 年 3 月
- ▼1704. 明治中期の女性語における「おーなさい系統」表現の考察
大津豊子, 日本語学研究 9, ソウル: 韓国日本語學會, 2004 年 3 月
- ▼1705. 特集; スタイル切換え 3 ――<丁寧体/普通体>と<共通語形式/方言形式>の切換え 津軽・高知・東京下町方言の対照研究
牧野由紀子, 阪大社会言語学研究ノート 6, 豊中: 大阪大学大学院文学研究科社会言語学研究室, 2004 年 3 月
- ▼1706. 東京アクセントの特徴再考 語頭の上昇の扱いについて
郡史郎, 国語学 55-02, 東京: 国語学会, 2004 年 4 月
- ▼1707. 母親の語りに見られる地域差 3 東京と山形の発話構成の比較

- 上村佳世子・柿沼美紀，発達研究 18，東京：発達科学研究教育センター，2004 年 7 月
- ▼1708. 現代日本語におけるガ行鼻音の実態と共通語としての地位
馬瀬良雄・渡辺喜代子・清水千寿子・中東靖恵，ことばと文化 2，松本：長野・言語文化研究会，2004 年 7 月
- ▼1709. コミュニケーション意識と敬語行動にみるポライトネスの地域差・世代差 首都圏と大阪のネイティブ話者比較
吉岡泰夫，社会言語科学 07-01，川崎：社会言語科学会，2004 年 9 月
- ▼1710. 特集；隣のことはば ―現代社会方言の地域分布「山の手ことば」「下町ことば」をめぐって
三井はるみ，月刊言語 33-9，東京：大修館書店，2004 年 9 月
- ▼1711. 東京っばい発音と大阪っばい発音の音声的特徴 東京・大阪方言とも頭高アクセントの語だけから成る文を素材として
郡史郎，音声研究 08-03，東京：日本音声学会，2004 年 12 月
- ▼1712. 現代日本語における形容詞語幹の音韻構造について―音素分布の分析と考察―
入江さやか，同志社大学留学生別科紀要 4，京都：同志社大学留学生別科，2004 年 12 月
- ▼1713. 〈書評〉山口幸洋著『日本語東京アクセントの成立』
岸江信介，日本語の研究 01-01，東京：日本語学会編/武蔵野書院，2005 年 1 月
- ▼1714. 〈新刊紹介〉篠田勝夫著『埼玉のことば[県北版]』
松本泰丈，国文学 解釈と鑑賞 70-01，東京：至文堂，2005 年 1 月
- ▼1715. を格のスタイル切換え 東京下町・大阪市・津軽方言の対照
阿部貴人，阪大社会言語学研究ノート 77，豊中：大阪大学大学院文学研究科社会言語学研究室，2005 年 3 月
- ▼1716. 相の統語的認可と形態的実現 東京方言、北部九州方言および英語の比較による考察
漆原朗子，現代形態論の潮流，東京：くろしお出版，2005 年 3 月
- ▼1717. 江戸東京語の敬語形式オ～ダ
小松寿雄，国語語彙史の研究 24，大阪：和泉書院，2005 年 3 月
- ▼1718. 関東・東北境界域方言の分布パターン
大橋純一，いわき明星大学人文学部研究紀要 18，いわき：いわき明星大学，2005 年 3 月
- ▼1719. 明治期東京語における士族・知識層男性の命令表現の考察
陳慧玲，文化継承学論集 1，東京：明治大学大学院文学研究科，2005 年 3 月
- ▼1720. 日本語方言における談話標識の出現傾向 東京方言、大阪方言、仙台方言の比較
琴鍾愛，日本語の研究 01-02，東京：日本語学会編/武蔵野書院，2005 年 4 月
- ▼1721. 特集；辞書の日本語 ―『東京弁辞典』覚え書
秋永一枝，早稲田日本語研究 14，東京：早稲田大学日本語学会，2005 年 9 月
- ▼1722. 世田谷区立中学校に通う中学生のアクセントとイントネーション 聞き取りアンケート調査から
田中ゆかり，論集 1，東京：アクセント史資料研究会，2005 年 9 月
- ▼1723. 特集；音声データの保存・公開 ―DVD 版「日本語音声データベース」の完成
杉藤美代子・笈一彦，音声研究 09-03，東京：日本音声学会，2005 年 12 月
- ▼1724. 東京首都圏における関西方言の受容パターン 「間接接触」によるアクセサリ的受容
田中ゆかり，関西方言の広がりと言語コミュニケーションの行方（研究叢書 339），大阪：陣内正敬・友定賢治編/和泉書院，2005 年 12 月
- ▼1725. 特集；方言の文法 ―標準語の文法と方言の文法
八亀裕美，日本語学 24-14，東京：明治書院，2005 年 12 月
- ▼1726. 特集；若者の「方言」 ―現代の「若者」が使う方言
久野真，日本語学 25-01，東京：明治書院，2006 年 1 月
- ▼1727. 特集；若者の「方言」 ―携帯メールに現れる方言 「親しさ志向」をキーワードに
三宅和子，日本語学 25-01，東京：明治書院，2006 年 1 月

- ▼1728. 特集；若者の「方言」 ―方言の年齢差 若者を中心に
陣内正敬, 日本語学 25-01, 東京：明治書院, 2006 年 1 月
- ▼1729. 関東・東北境界域における言語意識と共通語化
滝田亜紗子, 地域言語 18, 天理：天理・地域言語研究会, 2006 年 1 月
- ▼1730. 特集；若者の「方言」 ―方言使用の近未来的課題
沢木幹栄, 日本語学 25-01, 東京：明治書院, 2006 年 1 月
- ▼1731. 特集；若者ことば大研究 ―若者ことば全国分布図 二〇〇五年調査の意味するところ
永瀬治郎, 月刊言語 35-03, 東京：大修館書店, 2006 年 3 月
- ▼1732. 方言事象分布における使用語と理解語 『関東・東北境界域言語地図』調査に即して
大橋純一, いわき明星大学人文学部研究紀要 19, いわき：いわき明星大学, 2006 年 3 月
- ▼1733. 東京語の成立と展開
田中章夫, 日本語の現在 GYROS, 東京：勉誠出版, 2006 年 3 月
- ▼1734. 明治スタンダードと言文一致 スタンダードを中心に
野村剛史, Language, Information, Text<東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻紀要>13-01, 東京：東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻, 2006 年 3 月
- ▼1735. 首都圏出身在住の若年層女性の母音調音の実態について
嶺田明美, 昭和女子大学大学院日本文学紀要 17, 東京：昭和女子大学, 2006 年 3 月
- ▼1736. 日本語における外来語アクセントに関する再考察
儀利古幹雄, 音韻研究 9, 東京：日本音韻論学会編/開拓社, 2006 年 4 月
- ▼1737. 語頭有声破裂音における VOT の地域差と世代差 東北から関東の分析
高田三枝子, 日本語の研究 02-02, 東京：日本語学会編/武蔵野書院, 2006 年 4 月
- ▼1738. 明治期東京語における直接命令表現の諸相
陳慧玲, 明治大学日本文学 32, 東京：明治大学日本文学研究会, 2006 年 4 月
- ▼1739. 特集；日本語の謎 ―方言 「東京首都圏」に「方言」はあるのか
田中ゆかり, 国文学 解釈と教材の研究 51-04, 東京：学燈社, 2006 年 4 月
- ▼1740. 東京・関西方言でアクセント型の異なる 2 モーラ名詞の発話について 母語発話と非母語発話の音響的分析から
田中邦佳・田嶋圭一, 音韻研究 9, 東京：日本音韻論学会編/開拓社, 2006 年 4 月
- ▼1741. 明治前期東京語の対称詞 散切物を通じて
永田高志, 国語国文 75-06, 京都：京都大学文学部国語学国文学研究室編/中央図書出版社, 2006 年 6 月
- ▼1742. いま近世・近代語研究で何が問題か 近世～明治期江戸語・東京語研究を中心に
神戸和昭, 日本語日本文学の新たな視座, 東京：おうふう, 2006 年 6 月
- ▼1743. 山の手ことばはどこに
野村雅昭, みやびブックレット 10, 神奈川：みやび出版, 2006 年 7 月
- ▼1744. 〈研究ノート〉最近の首都圏語のアクセント変化
川上葵, 音声研究 10-02, 東京：日本音声学会, 2006 年 8 月
- ▼1745. 3 種の音声データベースの完成とそれらの役割 『日本語音声データベース』『大阪・東京アクセント音声辞典』および『乳幼児エミちゃんと母親との対話音声』
杉藤美代子, 文法と音声 5, 東京：音声文法研究会編/くろしお出版, 2006 年 9 月
- ▼1746. 「とびはね音調」の採否とイメージ 東京首都圏西部域高校生調査から
田中ゆかり, 語文 126, 東京：日本大学国文学会, 2006 年 12 月
- ▼1747. 都下の方言と新しい「東京のことば」
田中ゆかり, 東京都のことば（日本のことばシリーズ 13）, 東京：明治書院, 2007 年 3 月
- ▼1748. Exercises in the Yokohama Dialect と外国語学習
カイザー, シュテファン, 大学における日本語教育の構築と展開 大坪一夫教授古稀記念論文集（シリーズ言語学と言

- 語教育 10), 東京: ひつじ書房, 2007 年 1 月
- ▼1749. 〈書評〉工藤真由美編『日本語のアスペクト・テンズ・ムード体系ー標準語研究を超えて』
井上優, 日本語の研究 03-01, 東京: 日本語学会編/武蔵野書院, 2007 年 1 月
- ▼1750. 江戸語・明治期東京語における接続助詞ケレド類の特徴と変化 ガと対比して
宮内佐夜香, 日本語の研究 03-04, 東京: 日本語学会編/武蔵野書院, 2007 年 1 月
- ▼1751. 談話構造分析の計量的視点による一試案 首都圏大学生話者の場面別談話を対象として
斎藤孝滋, 多文化・共生コミュニケーション論叢 2, 横浜: フェリス女学院大学多文化・共生コミュニケーション学会, 2007 年 2 月
- ▼1752. 首都圏在住女子大学生における場面別形容詞活用体系 1 東日本語者編 1
斎藤孝滋編, 多文化・共生コミュニケーション論叢 2, 横浜: フェリス女学院大学多文化・共生コミュニケーション学会, 2007 年 2 月
- ▼1753. 「横浜ことば」について
伊川公司, 分類神奈川県方言辞典 4 娯楽・行動・性情・時間・空間・その他 神奈川県民俗調査報告 24, 神奈川: 神奈川県立歴史博物館, 2007 年 3 月
- ▼1754. 特集; 会話の文法 話しことばの中の法則性をさぐる ー会話におけるく方言>とく標準語>
岡本成子, 月刊言語 36-03, 東京: 大修館書店, 2007 年 3 月
- ▼1755. 〈ノート〉最近の東京近辺の学生の自称詞の傾向
荻野綱男, 計量国語学 25-08, 東京: 計量国語学会, 2007 年 3 月
- ▼1756. 現代日本語における漢語の音韻構造 『新潮現代国語辞典』第 2 版の見出し語を資料として
入江さやか, 同大語彙研究 9, 京都: 同志社大学大学院日本語学研究会, 2007 年 3 月
- ▼1757. 明治スタンダードと言文一致 2 言文一致を中心に
野村剛史, Language, Information, Text<東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻紀要>14-01, 東京: 東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻, 2007 年 3 月
- ▼1758. 〈新刊・寸感〉山本麻子著『ことばを使いこなすイギリスの社会』; 斎藤希史著『漢文脈と近代日本ーもう一つのことばの世界』; 井上史雄著『変わる方言 動く標準語』
相澤正夫, 日本語学 26-06, 東京: 明治書院, 2007 年 5 月
- ▼1759. 国語教科書における当為表現の変化 明治から昭和二〇年代にかけて
湯浅彩央, 論究日本文学 86, 京都: 立命館大学日本文学会, 2007 年 5 月
- ▼1760. 明治時代語における自称詞の複数形について
祁福鼎, 明治大学日本文学 33, 東京: 明治大学日本文学研究会, 2007 年 6 月
- ▼1761. 持続時間の長い撥音に関する知覚と経験の関連性 近畿方言話者と首都圏方言話者
山岸智子, 言語文化と日本語教育 33, 東京: お茶の水女子大学日本言語文化学研究会, 2007 年 6 月
- ▼1762. 〈書架〉井上史雄著『変わる方言 動く標準語』
小田匡保, 地理 52-06, 東京: 古今書院, 2007 年 6 月
- ▼1763. 速記資料における「全然」の様相をめぐって 明治から昭和にかけて
趙宏, 明治大学日本文学 33, 東京: 明治大学日本文学研究会, 2007 年 6 月
- ▼1764. 特集; 方言と方言研究の現況 ー方言辞典はどうつくられたか ウチの研究者が辞書づくりを決意して滅びゆくことばたちの叫び 『埼玉のことば[県北版]』の場合
篠田勝夫, 国文学 解釈と鑑賞 72-07, 東京: 至文堂, 2007 年 7 月
- ▼1765. 特集; インターネットと言語研究 情報を選び分け、活用するために ーネット上の“言語景觀” 東京圏のデパート・自治体・観光サイトから
田中ゆかり・秋山智美・上倉牧子, 月刊言語 36-07, 東京: 大修館書店, 2007 年 7 月
- ▼1766. 特集; 方言と方言研究の現況 ー方言文法研究の昨今標準語文法と方言文法 述語構造からみた
八亀裕美, 国文学 解釈と鑑賞 72-07, 東京: 至文堂, 2007 年 7 月

- ▼1767. 〈新刊クローズアップ〉佐藤亨著『現代に生きる幕末明治初期漢語辞典』
佐藤亨, 日本語学 26-09, 東京: 明治書院, 2007 年 8 月
- ▼1768. 関東方言の「ウッチャル」の形成に関する一考察
櫛引祐希子, 文芸研究 164 文芸・言語・思想, 仙台: 日本文芸研究会, 2007 年 9 月
- ▼1769. いわゆる“ザアマスことば”の使用と音声の特徴の一考察 イメージと実相
松永修一, 論集 3, 東京: アクセント史資料研究会, 2007 年 9 月
- ▼1770. 方言文法全国地図をめぐる ――各地方言から見る『方言文法全国地図』> 関東方言
新井小枝子, 日本語学 26-11, 東京: 明治書院, 2007 年 9 月
- ▼1771. 東京圏の言語的多様性 東京圏デパート言語景観調査から
田中ゆかり・上倉牧子・秋山智美・須藤央, 社会言語科学 10-01, 川崎: 社会言語科学会, 2007 年 9 月
- ▼1772. 特集; 言と文 ――明治初年の「言」と「文」 言文一致論前史
山田俊治, 文学 隔月刊 08-06, 東京: 岩波書店, 2007 年 11 月
- ▼1773. 特集; 言と文 ――明治期スタンダードと言文一致
野村剛史, 文学 隔月刊 08-06, 東京: 岩波書店, 2007 年 11 月
- ▼1774. 「とびはね音調」の成立と拡張 アクセントとイントネーションの協同的 (collaborative) 関係
田中ゆかり, 音声言語研究のパラダイム (研究叢書 372), 大阪: 今石元久編/和泉書院, 2007 年 12 月
- ▼1775. 「気づきにくく変わりやすい方言」―東京首都圏における I 類動詞連用形尾高型の消失―
田中ゆかり, 論集 4, 東京: アクセント史資料研究会, 2008 年 9 月
- ▼1776. 埼玉県方言における文末表現「べー」「ダンべー」について
古瀬順一, 人文学部研究論集 19, 春日井: 中部大学人文学部, 2008 年 1 月
- ▼1777. 特集; 教育現場から問い直す評価 ――終助詞の音調における地域差と共通点 ―東京・大阪・岡山・香川を例として―
轟木靖子・山下直子, 日本語教育 136, 東京: 日本語教育学会, 2008 年 1 月
- ▼1778. 特集; 資料研究の現在 ――KOTONoha『現代日本語書き言葉均衡コーパス』の開発
前川喜久雄, 日本語の研究 04-01, 東京: 日本語学会編/武蔵野書院, 2008 年 1 月
- ▼1779. 「標準語」の多様性を認める言説についての覚書 特に 1940 年前後に注目して
岡田祥平, 阪大日本語研究 20, 豊中: 大阪大学大学院文学研究科日本語学講座, 2008 年 2 月
- ▼1780. 語の聞き取りに関わる撥音の長さ―近畿方言話者と首都圏方言話者―
山岸智子, 阪大日本語研究 20, 豊中: 大阪大学大学院文学研究科日本語学講座, 2008 年 2 月
- ▼1781. 「ませんでした」は横浜言葉か? 「ませんでした」の昔と今
安田尚道, 国語語彙史の研究 27, 大阪: 和泉書院, 2008 年 3 月
- ▼1782. 明治後期・大正期東京語の対称詞
永田高志, 日本文化の脈 茫洋と閃光と (近畿大学日本文化研究所叢書 3), 名古屋: 近畿大学日本文化研究所編/風媒社, 2008 年 3 月
- ▼1783. 首都圏方言形容詞アクセントの多様性
三樹陽介, 國學院大學大学院紀要 文学研究科 39, 東京: 國學院大學大学院, 2008 年 3 月
- ▼1784. 東京語における句アクセントの研究
竹村和子, ことばと文化 5, 松本: 長野・言語文化研究会, 2008 年 3 月
- ▼1785. 首都圏方言における母音の無声化とアクセント核の移動について
木野景子, 国語研究 71, 東京: 國學院大學国語研究会, 2008 年 3 月
- ▼1786. 東京方言におけるアクセントの実現度と意味的限定
郡史郎, 音声研究 12-01, 東京: 日本音声学会, 2008 年 4 月
- ▼1787. 特集; 話し言葉の日本語 ――話し言葉の音声 方言音声の音響的特徴とその生成に関わる生理学的要因
東京方言と大阪方言における母音無声化の比較

- 藤本雅子, 日本語学 27-05, 東京: 明治書院, 2008 年 4 月
- ▼1788. 明治 20 年代の待遇表現について 言文一致体との関わり
中村夫美, 日本學報 75, 韓国: 韓國日本語學會, 2008 年 5 月
- ▼1789. 東京圏の多言語標示 山手線各駅調査と鉄道会社アンケートから
田中ゆかり・上倉牧子・新坂望, 語文 131, 東京: 日本大学国文学会, 2008 年 6 月
- ▼1790. 首都圏方言の形容詞アクセントの複雑さ 「ークナイ」「ークナル」の形を例に
三樹陽介, 國學院雑誌 109-07, 東京: 國學院大學総合企画部広報課, 2008 年 7 月
- ▼1791. 「マス」から「デス」へ 丁寧体の変容
田中章夫, 近代語研究 14, 東京: 武蔵野書院, 2008 年 10 月
- ▼1792. 自発的なく標準語>音声におけるく促音>化の概観 『日本語話し言葉コーパス』に基づく分析
岡田祥平, 音声言語 6, 西宮: 近畿音声言語研究会, 2008 年 12 月
- ▼1793. 東京方言における平叙文末の下降増大現象 平叙文末は平調か下降調か
郡史郎, 音声言語 6, 西宮: 近畿音声言語研究会, 2008 年 12 月
- ▼1794. 東京語の終助詞の音調と機能の対応について 内省による考察
轟木靖子, 音声言語 6, 西宮: 近畿音声言語研究会, 2008 年 12 月
- ▼1795. 〈研究ノート〉日本語母語話者の撥音の長さに関する規範意識 首都圏方言話者と近畿方言話者
山岸智子, 音声研究 12-03, 東京: 日本音声学会, 2008 年 12 月
- ▼1796. 撥音の長さと感情的印象 首都圏方言話者と近畿方言話者
山岸智子, 音声言語 6, 西宮: 近畿音声言語研究会, 2008 年 12 月
- ▼1797. 日本語におけるフォーカスの生成と知覚 東京方言と大阪方言を比較して
泉谷聡子, 音声言語 6, 西宮: 近畿音声言語研究会, 2008 年 12 月
- ▼1798. PNLP の音声特徴 首都圏方言話者を例に
田頭(谷口)未希, 音声言語 6, 西宮: 近畿音声言語研究会, 2008 年 12 月
- ▼1799. 形式名詞「なか」の意味と機能 明治期と現代との用例比較を通じて
方允炯, 日本語学研究 23, ソウル: 韓國日本語學會, 2008 年 12 月
- ▼1800. 持続時間及びピッチ変動が長音の知覚に与える影響 東京方言話者と熊本市方言話者の比較
嵐洋子, 音声言語 6, 西宮: 近畿音声言語研究会, 2008 年 12 月
- ▼1801. “万端”の《気づかない変化》について—今日と明治～昭和戦前の意味・用法—
新野直哉, 国語学研究 48, 仙台: 東北大学文学部『国語学研究』刊行会, 2009 年 3 月
- ▼1802. 関東・東北方言接触地帯における新方言普及
本多真史, 言文 国文学・国語教育特集号 56, 福島: 福島大学教育学部国語学国文学会, 2009 年 3 月
- ▼1803. 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』に見られる「～てならない」「～てたまらない」「～てしかたない」「～てしようがない」の使い分け—日本語学習者に対する指導への応用—
鄭惠先・小池真理・船橋瑞貴, 北海道大学留学生センター紀要 13, 札幌: 北海道大学留学生センター, 2009 年 12 月
- ▼1804. 近代東京語の行為要求表現の種々相
陳慧玲, 明治大学日本文学 35, 東京: 明治大学日本文学研究会, 2010 年 2 月
- ▼1805. 東京新方言の重力モデル
井上史雄, 明海大学外国語学部論集 22, 浦安: 明海大学外国語学部紀要編集委員会, 2010 年 3 月
- ▼1806. 埼玉県東部地方の方言分布と世代差 (1) —語彙の分布—
亀田裕見, 文教大学文学部紀要 23-02, 越谷: 文教大学, 2010 年 3 月
- ▼1807. 現代東日本方言の「べー」—その用法の全体像—
玉懸元, 中京国文学 29, 名古屋: 中京大学国文学会, 2010 年 3 月
- ▼1808. 首都圏の大学に通う大学生の敬語意識
三樹陽介, 首都圏方言の研究 01, 東京: 國學院大學大学院文学研究科久野研究室, 2010 年 3 月

- ▼1809. 新方言として終助詞化した「し」の命令・禁止・勧誘表現について
小林美沙子, 首都圏方言の研究 01, 東京: 國學院大學大学院文学研究科久野研究室, 2010 年 3 月
- ▼1810. 副詞「ふつうに」の判断基準—自己に基準を置いた判断について—
本間美奈子, 首都圏方言の研究 01, 東京: 國學院大學大学院文学研究科久野研究室, 2010 年 3 月
- ▼1811. 神奈川県座間市の方言における, 「必要」を表す「ようだ」
野島本泰, 地球研言語記述論集 2, 京都: 総合地球環境学研究所インダスプロジェクト, 2010 年 3 月
- ▼1812. 特集; 日本社会の変容と言語問題 —現代東京の話しことばにおける言語形式「たしかに」—大学生による
日常会話をデータとして—
原田幸一, 社会言語科学 13-01, 川崎: 社会言語科学会, 2010 年 8 月
- ▼1813. 埼玉県東部地方の方言分布と世代差 (2) —文法事象の分布—
亀田裕見, 文教大学文学部紀要 24-01, 越谷: 文教大学, 2010 年 9 月
- ▼1814. (書評) 土屋信一著『江戸・東京語研究—共通語への道—』(勉誠出版 2009)
鶴橋俊宏, 日本語の研究 06-04, 東京: 日本語学会編/武蔵野書院, 2010 年 10 月
- ▼1815. 特集; 標準語, 共通語, 方言 —「標準語」の時代から「共通語」の時代へ
屋名池誠, 三色旗 752, 東京: 慶応義塾大学通信教育部, 2010 年 11 月
- ▼1816. 特集; 標準語, 共通語, 方言 —標準語形の地理的背景
佐藤亮一, 三色旗 752, 東京: 慶応義塾大学通信教育部, 2010 年 11 月
- ▼1817. 特集; 標準語, 共通語, 方言 —方言と共通語のはざまで—生き残り, 生まれ, 広がる方言—
三井はるみ, 三色旗 752, 東京: 慶応義塾大学通信教育部, 2010 年 11 月
- ▼1818. 特集; 言語接触の世界 —日本語方言の形成過程と方言接触 —東日本方言における“受け手の論理”—
小林隆, 日本語学 29-14, 東京: 明治書院, 2010 年 11 月
- ▼1819. 明治時代の横浜の言語景観
早坂直記, 明海日本語 16, 浦安: 明海大学日本語学会, 2011 年 2 月
- ▼1820. 『NHK 日本語発音アクセント辞典』改訂 調査結果にもとづく作業方針の検討—アクセント辞典改訂専門委員会 (第 5 回) から—
塩田雄大, NHK 放送研究と調査 61-03, 東京: NHK 放送文化研究所, 2011 年 3 月
- ▼1821. 現代東日本方言の「ペー」(2) —用法分化の論理—
玉懸元, 中京国文学 30, 名古屋: 中京大学国文学会, 2011 年 3 月
- ▼1822. 日本語のゆれに関する研究,
大野裕佳子, 東京女子大学言語文化研究 19, 三鷹: 東京女子大学言語文化研究会, 2011 年 3 月
- ▼1823. 役割語から読む「サザエさん」(後) —類型化および作画との関連性—
中村一夫, 国文学論輯 32, 東京: 国士館大学国文学会, 2011 年 3 月
- ▼1824. 「テモラッテモイイですか」の使用に関する一考察
平田真美, 国際交流センター紀要 05, さいたま: 埼玉大学国際交流センター, 2011 年 3 月
- ▼1825. 東京方言におけるアクセントの平板化—外来語複合名詞アクセントの記述—
儀利古幹雄, 国立国語研究所論集 1, 東京: 国立国語研究所, 2011 年 5 月
- ▼1826. 首都圏方言における大学生の言語生活—挨拶表現と音声変化の例—
久野マリ子, 國學院雑誌 112-05, 東京: 國學院大學, 2011 年 5 月
- ▼1827. 特集; 言語資源としての日本語 —明治期の日本語の揺動 (あゆぎ)
今野真二, 文学 12-03, 東京: 岩波書店, 2011 年 5 月
- ▼1828. 特集; 多文化共生を考える —多国籍タウン・東京都新宿区大久保地区の多文化共生
[編著者不明], コミュニティ 146, 東京: (財)地域社会研究所, 2011 年 5 月
- ▼1829. 言語意識による地域の類型化と分類の試み
田中ゆかり, 語文 140, 東京: 日本大学国文学会, 2011 年 6 月

▼1830. 現代東京語の姓のアクセント

ローレンス,ウエイン, 日本語の研究 07-03, 東京: 日本語学会編/武蔵野書院, 2011 年 7 月

▼1831. 『やばい言語学』あるいは『すごい言語学』—2011 年前半のワード・ウォッチングから—

土井清史, ことばとくらし 23, 新潟: 新潟県ことばの会, 2011 年 10 月

▼1832. 語末が「ズ」であるチーム名・グループ名のアクセント分析

儀利古幹雄・大下貴央・窪菌晴夫, 国立国語研究所論集 2, 東京: 国立国語研究所, 2011 年 11 月

▼1833. 江戸と東京

秋永一枝, 論集 7, 東京: アクセント史資料研究会, 2011 年 11 月

▼1834. 「とびはね音調」は同意要求表現か?

田中ゆかり, 論集 7, 東京: アクセント史資料研究会, 2011 年 11 月

3. 予稿集

▼1835. 亀井・馬瀬アクセント論の発展

川上葵, 日本方言研究会第 2 回研究発表会発表原稿集, 東京: 日本方言研究会, 1965 年 11 月

▼1836. 東京方言文法覚え書き

都竹通年雄, 日本方言研究会第 2 回研究発表会発表原稿集, 東京: 日本方言研究会, 1965 年 11 月

▼1837. 「浮世風呂」「浮世床」のことばと神奈川方言

日野資純, 日本方言研究会第 5 回研究発表会発表原稿集, 東京: 日本方言研究会, 1967 年 11 月

▼1838. 東京方言の文における声の高さの型について

早田輝洋, 日本方言研究会第 8 回研究発表会発表原稿集, 東京: 日本方言研究会, 1969 年 5 月

▼1839. 東京語のある四拍名詞のアクセントの推移について—いわゆる A・B 型を中心として—

清水郁子, 日本方言研究会第 12 回研究発表会発表原稿集, 東京: 日本方言研究会, 1971 年 5 月

▼1840. 格助詞「ニ」とその周辺—房総半島南端地域における言語地理学的研究—

成田康昭, 日本方言研究会第 14 回研究発表会発表原稿集, 東京: 日本方言研究会, 1972 年 5 月

▼1841. 埼玉県東北部アクセントの変化について

木野田れい子, 日本方言研究会第 14 回研究発表会発表原稿集, 東京: 日本方言研究会, 1972 年 5 月

▼1842. “カマキリ”と“トカゲ”—言語地理学・社会地理学・文化地理学的研究の照合—

谷口信雄・玉野直樹, 日本方言研究会第 15 回研究発表会発表原稿集, 東京: 日本方言研究会, 1972 年 10 月

▼1843. 標準語形と方言形

永瀬治郎, 日本方言研究会第 24 回研究発表会発表原稿集, 東京: 日本方言研究会, 1977 年 5 月

▼1844. かまきり方言の変遷—38 年間の追跡調査から—

上野勇, 日本方言研究会第 24 回研究発表会発表原稿集, 東京: 日本方言研究会, 1977 年 5 月

▼1845. 日本言語地図 (LAJ) と関東地方域方言事象分布地図 (DAK) の比較—方言地理学の方法論についての考察

W.A. グロータース, 日本方言研究会第 26 回研究発表会発表原稿集, 東京: 日本方言研究会, 1978 年 5 月

▼1846. 語彙体系の変化—房総南端の「蛙」類

佐々木英樹, 日本方言研究会第 26 回研究発表会発表原稿集, 東京: 日本方言研究会, 1978 年 5 月

▼1847. 大都市東京の北辺における方言分布の実態

小沼民江・真田信治, 日本方言研究会第 26 回研究発表会発表原稿集, 東京: 日本方言研究会, 1978 年 5 月

▼1848. 関東地方域の方言についての方言地理学的研究—とくに埼玉県東部地域における 2 音節同音異義名詞アクセント事象の分布に注目して

大橋勝男, 日本方言研究会第 29 回研究発表会発表原稿集, 東京: 日本方言研究会, 1979 年 10 月

▼1849. 埼玉県東北部における特殊アクセントの諸相

大野真男, 日本方言研究会第 30 回研究発表会発表原稿集, 東京: 日本方言研究会, 1980 年 5 月

- ▼1850. 大都市における言語調査
野元菊雄・南不二男・江川清・米田正人，日本方言研究会第30回研究発表会発表原稿集，東京：日本方言研究会，1980年5月
- ▼1851. 関東北部における「新方言」
佐藤高司・井上史雄，日本方言研究会第32回研究発表会発表原稿集，東京：日本方言研究会，1981年5月
- ▼1852. 東日本方言サル形動詞の意味と分布
中田敏夫，日本方言研究会第32回研究発表会発表原稿集，東京：日本方言研究会，1981年5月
- ▼1853. 「竹馬」の日本語史—埼玉県方言・全国諸方言文献から
安食邦明，日本方言研究会第34回研究発表会発表原稿集，東京：日本方言研究会，1982年5月
- ▼1854. 東京北部およびその周辺地域におけるアクセントの実態
都築直也，日本方言研究会第34回研究発表会発表原稿集，東京：日本方言研究会，1982年5月
- ▼1855. 東京方言アクセントにおける尾高型から非尾高型への移行—いわゆるA型B型のゆれをどう捉えるか—
相沢正夫，日本方言研究会第38回研究発表会発表原稿集，東京：日本方言研究会，1984年5月
- ▼1856. 周辺地域から東京中心部への新表現の流入について
荻野綱男・井上史雄・田原広史，日本方言研究会第39回研究発表会発表原稿集，東京：日本方言研究会，1984年10月
- ▼1857. 言語変化と言語意識—東京における—
永田高志，日本方言研究会第41回研究発表会発表原稿集，東京：日本方言研究会，1985年10月
- ▼1858. 東京から福島に向けての共通語化の状況—地域・年齢・言語意識から—
田原広史，日本方言研究会第41回研究発表会発表原稿集，東京：日本方言研究会，1985年10月
- ▼1859. 東京語における3拍漢語のアクセント変化
三井はるみ，日本方言研究会第42回研究発表会発表原稿集，東京：日本方言研究会，1986年5月
- ▼1860. 千葉県上総・安房地方における小・中学生のk音脱落意識
佐々木英樹，日本方言研究会第44回研究発表会発表原稿集，東京：日本方言研究会，1987年5月
- ▼1861. 千葉方言におけるk音の変化
篠崎晃一，日本方言研究会第45回研究発表会発表原稿集，東京：日本方言研究会，1987年10月
- ▼1862. 現代東京語アクセントの諸特徴—年齢差及び「辞典」との差を中心に—
馬瀬良雄・佐藤亮一，日本方言研究会第45回研究発表会発表原稿集，東京：日本方言研究会，1987年10月
- ▼1863. 東京方言の文末イントネーション
山口幸洋，日本音声学会第3回全国大会発表予稿集，東京：日本音声学会，1989年9月
- ▼1864. 東京方言の談話展開の方法
久木田恵，日本方言研究会第49回研究発表会発表原稿集，東京：日本方言研究会，1989年10月
- ▼1865. 大阪方言、東京方言、英語にみられる音調の相違
中路信子，日本音声学会第4回全国大会発表予稿集，東京：日本音声学会，1990年9月
- ▼1866. 東京都足立区におけるペー・ダンバー
上條厚，日本方言研究会第51回研究発表会発表原稿集，東京：日本方言研究会，1990年10月
- ▼1867. 現代日本語におけるサ行子音の一変化について
伊藤秀樹，日本方言研究会第52回研究発表会発表原稿集，東京：日本方言研究会，1991年5月
- ▼1868. 東京方言疑問文のイントネーション
前川喜久雄，日本音声学会第5回全国大会発表予稿集，東京：日本音声学会，1991年9月
- ▼1869. 埼玉県東部アクセントの地理的分布
吉田健二，日本方言研究会第55回研究発表会発表原稿集，東京：日本方言研究会，1992年10月
- ▼1870. 講演—外来語のアクセント核の位置について
柴田武，日本音声学会第6回全国大会発表予稿集，東京：日本音声学会，1992年10月

- ▼1871. 「とびはねイントネーション」の使用とそのイメージ
田中ゆかり, 日本方言研究会第56回研究発表会発表原稿集, 東京: 日本方言研究会, 1993年5月
- ▼1872. 「よ」「ね」の音調と機能—東京語の場合—
轟木靖子, 平成5年度日本語教育学会春季大会予稿集, 東京: 日本語教育学会, 1993年5月
- ▼1873. 東京方言複合語アクセント規則再考
岩井康雄・窪菌晴夫, 日本音声学会第7回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 1993年9月
- ▼1874. 「平板型」の動詞のアクセントについて
轟木靖子, 日本音声学会第7回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 1993年9月
- ▼1875. 外来語のアクセントを決める要因
佐藤大和, 日本音声学会第7回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 1993年9月
- ▼1876. 東京方言と大阪方言に指定すべき韻律表示の相違について
妻木淳子, 日本音声学会第7回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 1993年9月
- ▼1877. 外来語アクセントの平板型採用とそのイメージ
田中ゆかり, 日本音声学会第7回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 1993年9月
- ▼1878. 女性東京語話者に見られる意志表現と勧誘表現の文末浮き上がりイントネーションについて
蔡雅芸, 日本音声学会第7回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 1993年9月
- ▼1879. 日本語母音の無声化の地域差に関する音声学的研究
吉田夏也, 日本音声学会第8回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 1994年9月
- ▼1880. 埼玉特殊アクセントの動向—蓮田市における二拍名詞の年代的調査から
大橋純一, 日本音声学会第8回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 1994年9月
- ▼1881. 東京方言の複合名詞アクセントと音節構造
窪菌晴夫, 国語学会平成8(1996)年度春季大会発表予稿集, 東京: 国語学会, 1996年5月
- ▼1882. 発音の骨惜しみとアクセントの変化
川上蓁, 国語学会平成8(1996)年度秋季大会発表予稿集, 東京: 国語学会, 1996年5月
- ▼1883. 東京語の文末下降調疑問文に関する研究—聴取実験結果報告—
中川千恵子, 平成8年度日本語教育学会春季大会予稿集, 東京: 日本語教育学会, 1996年5月
- ▼1884. 母音の無声化に影響を与える要因
吉田夏也, 国語学会平成9(1997)年度春季大会発表予稿集, 東京: 国語学会, 1997年5月
- ▼1885. 東京の大学生のことば—「地元語」と「東京語」をめぐる移住の及ぼす言語変化—
波多野円, 日本方言研究会第64回研究発表会発表原稿集, 東京: 日本方言研究会, 1997年5月
- ▼1886. 標準語法の性格
田中章夫, 国語学会平成9(1997)年度秋季大会発表予稿集, 東京: 国語学会, 1997年10月
- ▼1887. 言語地理学から見た方言境界線“関東・越後線群”と方言区画論
安部清哉, 国語学会平成10(2001)年度春季大会発表予稿集, 東京: 国語学会, 1998年5月
- ▼1888. アナウンサーのアクセントはここ15年でどう変化したか—現役アナウンサー500人調査から(用言の分析)—
塩田雄大, 国語学会平成10(1998)年度春季大会発表予稿集, 東京: 国語学会, 1998年5月
- ▼1889. 東京方言格助詞「を」の使用に関わる言語的諸制約の数量的検証
松田謙次郎, 国語学会平成10(1998)年度春季大会発表予稿集, 東京: 国語学会, 1998年5月
- ▼1890. 終助詞「ね」と「よ」の相違—特に「受け手発言」における判断処理の観点から—
村山康雄, 国語学会平成10(1998)年度春季大会発表予稿集, 東京: 国語学会, 1998年5月
- ▼1891. 移住先アクセントの受容・統合能力に関わる主要因間の相関性—首都圏への移住者を対象にして—
余健, 日本方言研究会第66回研究発表会発表原稿集, 東京: 日本方言研究会, 1998年5月
- ▼1892. 東京方言・大阪方言の音調と情緒—表現と認識の側面から—

- 渡辺徹, 日本音声学会第 12 回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 1998 年 9 月
- ▼1893. 東京方言と近畿方言における母音の無声化の比較
藤本雅子・桐谷滋, 日本音声学会第 12 回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 1998 年 9 月
- ▼1894. 首都圏における共通語化に見る地域共同体の流動化に伴う権威構造の変化
丸山千歌, 日本方言研究会第 67 回研究発表会発表原稿集, 東京: 日本方言研究会, 1998 年 10 月
- ▼1895. 東日本における方言音声の動態
大橋純一, 日本音声学会第 13 回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 1999 年 9 月
- ▼1896. 複合名詞アクセント規則獲得過程におけるペナルティメット・フットの関与
白勢彩子・桐谷滋・窪田晴夫, 日本音声学会第 13 回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 1999 年 9 月
- ▼1897. 方言談話資料の収録事業—NHK 記録事業「ふるさと日本のことば」への提言—
大橋勝男・久野マリ子・柴田実・日高貢一郎(登壇者)/吉岡泰夫(司会), 日本方言研究会第 69 回研究発表会発表原稿集, 東京: 日本方言研究会, 1999 年 10 月
- ▼1898. 首都近郊若年層のことばの地域差・属性差について—埼玉県南部の中学校におけるアンケート調査より—
鎌水兼貴, 日本方言研究会第 69 回研究発表会発表原稿集, 東京: 日本方言研究会, 1999 年 10 月
- ▼1899. 「標準女性語」の概念形成過程—昭和初期から終戦まで—
鷺留美, 国語学会平成 11 (1999) 年度秋季大会発表予稿集, 東京: 国語学会, 1999 年 10 月
- ▼1900. 関東と関西の敬語使用に見られる地域差と年齢差 11
荻野綱男・間瀬洋子, 第 5 回社会言語科学学会大会発表論文集, 川崎: 社会言語科学学会, 2000 年 3 月
- ▼1901. 文末表出から見る一考察—神奈川県内の高校生におけるコミュニケーション行動から
橋本典尚, 第 5 回社会言語科学学会大会発表論文集, 川崎: 社会言語科学学会, 2000 年 3 月
- ▼1902. 埼玉県東部地域のアクセント再考—〈久喜式アクセント〉の 1~3 拍名詞を手がかりに—
飯島一行, 日本方言研究会第 70 回研究発表会発表原稿集, 東京: 日本方言研究会, 2000 年 5 月
- ▼1903. 東京方言の名詞—語文—イントネーションはすなわち高さの変動か— (口頭発表)
江崎哲也, 2001 年度日本語教育学会秋季大会予稿集, 東京: 日本語教育学会, 2001 年 1 月
- ▼1904. 東京語の句頭上昇イントネーションの音響的分析—東京語話者及び学習者の発話—
河津基, 日本音声学会第 15 回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 2001 年 9 月
- ▼1905. 地域語の接触・使用状況と言語共同体への意識—千葉市土気における地域ごとライフ・スタイルの分析から—
丸山千歌, 第 8 回社会言語科学学会大会発表論文集, 川崎: 社会言語科学学会, 2001 年 9 月
- ▼1906. 「ネサヨ運動」とその周辺—1960 年代に鎌倉市腰越から全国展開した「ことば」の教育的運動の実態と背景—
橋本典尚, 第 9 回社会言語科学学会大会発表論文集, 川崎: 社会言語科学学会, 2002 年 3 月
- ▼1907. 脳科学の立場から
今泉敏, 日本音声学会第 16 回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 2002 年 9 月
- ▼1908. 東京弁の音声を紹介する
秋永一枝, 日本音声学会第 16 回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 2002 年 9 月
- ▼1909. インターネット上で方言情報を共有する試み—東京都言語調査から—
出野憲司・大島一郎・久野マリ子・竹林暁, 日本音声学会第 16 回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 2002 年 9 月
- ▼1910. 『アクセントの多様性と変遷』・『方言アクセント音声データベース』—日本語音声の教材 CD-ROM の開発—
杉藤美代子・山田恒夫・真田信治・都染直也・前田広幸・森山卓郎, 日本音声学会第 16 回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 2002 年 9 月
- ▼1911. アクセントの個別変化と集団変化
川上薫, 日本音声学会第 16 回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 2002 年 9 月
- ▼1912. 幽霊になった東京弁
風間喜代三, 日本音声学会第 16 回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 2002 年 9 月

- ▼1913. 日本語音声の教材CD-ROM、『アクセントの多様性と変遷』および『方言アクセント音声データベース』について
杉藤美代子・山田恒夫・真田信治・都築直也・森山卓郎・前田広幸・鳥谷善史，国語学会 2002 年度秋季大会発表予稿集，東京：国語学会，2002 年 11 月
- ▼1914. 東京語アクセントの聞き取りテストー東京語話者と台湾における学習者との比較ー（口頭発表）
阿部新・河津基・鮎澤孝子，2003 年度日本語教育学会春季大会予稿集，東京：日本語教育学会，2003 年 5 月
- ▼1915. 母音長と母音の無声化の関係ー東京方言話者と大阪方言話者の比較ー
藤本雅子，国語学会 2003 年度春季大会発表予稿集，東京：国語学会，2003 年 5 月
- ▼1916. 日本語の母音無声化と母音の持続時間について
吉田夏也・窪菌晴夫，日本音声学会第 17 回全国大会発表予稿集，東京：日本音声学会，2003 年 9 月
- ▼1917. 日本語らしさの許容度の実態調査ーアクセント核の移動が影響する日本語らしさー
崔壮源，日本音声学会第 17 回全国大会発表予稿集，東京：日本音声学会，2003 年 9 月
- ▼1918. 東京首都圏における関西方言の受容パターン
田中ゆかり，第 12 回社会言語科学学会大会発表論文集，川崎：社会言語科学学会，2003 年 10 月
- ▼1919. 関西方言の広がり与会話上の機能についての考察ー全国 6 都市調査からー
友定賢治・陣内正敬，第 12 回社会言語科学学会大会発表論文集，川崎：社会言語科学学会，2003 年 10 月
- ▼1920. 東京っぽい発音と大阪っぽい発音ー東京・大阪方言とも頭高アクセントの語だけから成る文を素材としてー
郡史郎，日本方言研究会第 77 回研究発表会発表原稿集，東京：日本方言研究会，2003 年 11 月
- ▼1921. 「19・20 世紀東京弁録音資料のアーカイブ化」のテスト版方針とテスト版
秋永一枝・松永修一・田中ゆかり，国語学会 2003 年度秋季大会発表予稿集，東京：国語学会，2003 年 11 月
- ▼1922. アクセントの型，音調の型
川上葵，日本方言研究会第 78 回研究発表会発表原稿集，東京：日本方言研究会，2004 年 5 月
- ▼1923. 方言音声データベースの作成と普及についてー『日本のふるさとことば集成』の紹介ー
田原広史・井上文子・鳥谷善史・佐藤亮一・江川清・真田信治，日本語学会 2004 年度春季大会発表予稿集，東京：日本語学会，2004 年 5 月
- ▼1924. 日本語高低アクセントに見られる「方言らしさ」：東京方言と比較した場合の近畿方言の音響特性
網野加苗，日本音声学会第 18 回全国大会発表予稿集，東京：日本音声学会，2004 年 9 月
- ▼1925. アルファベット頭文字語のアクセントと音節構造ー東京，大阪，鹿児島三方言の比較ー
窪菌晴夫・福井美佐，日本語学会 2004 年度秋季大会発表予稿集，東京：日本語学会，2004 年 11 月
- ▼1926. 東京アクセントの非弁別的特徴ーもう 1 つの見方ー
大和シゲミ，日本語学会 2005 年度春季大会発表予稿集，東京：日本語学会，2005 年 5 月
- ▼1927. 東京方言における平叙文の文末音調ー「文末の下降増大作用」についてー
郡史郎，日本音声学会第 19 回全国大会発表予稿集，東京：日本音声学会，2005 年 9 月
- ▼1928. 母語方言の違いが単語アクセントの生成および知覚に与える影響ー 2 モーラ名詞のピッチパターンからの考察ー
田中邦佳・田嶋圭一，日本音声学会第 19 回全国大会発表予稿集，東京：日本音声学会，2005 年 9 月
- ▼1929. 全国の母音の無声化生起にかかわる言語学的要因と社会言語学的要因
邊姫京，日本語学会 2005 年度秋季大会発表予稿集，東京：日本語学会，2005 年 11 月
- ▼1930. 共通語の複合動詞アクセントの由来について
大和シゲミ，日本語学会 2006 年度春季大会発表予稿集，東京：日本語学会，2006 年 5 月
- ▼1931. 明治期東京語における「命令表現＋終助詞」
陳慧玲，日本語学会 2005 年度秋季大会発表予稿集，東京：日本語学会，2006 年 5 月
- ▼1932. 保科孝一論再考ー発見された「講義録」から見えるものー
武田佳子，日本語学会 2006 年度秋季大会発表予稿集，東京：日本語学会，2006 年 11 月

- ▼1933. 日本語の二十世紀
秋永一枝・清水康行・屋名池誠・小林隆/石井正(司会), 日本語学会 2007 年度春季大会発表予稿集, 東京: 日本語学会, 2007 年 5 月
- ▼1934. 東京方言の自然会話に見られるアクセント弱化の実態
郡史郎, 日本音声学会第 21 回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 2007 年 9 月
- ▼1935. 首都圏方言の形容詞のアクセントー若年層の調査を通してー
三樹陽介, 日本音声学会第 21 回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 2007 年 9 月
- ▼1936. 10 代後半から 20 代後半における東京式方言の平板式アクセントの中高型化
増田斐那子・菅原勉, 日本音声学会第 21 回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 2007 年 9 月
- ▼1937. 母音の無声化によってアクセント核が移動する現象についてー首都圏方言の調査からー
木野景子, 日本音声学会第 21 回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 2007 年 9 月
- ▼1938. 持続時間及びピッチ変動が長音の知覚に与える影響の方言差ー東京方言話者と熊本市方言話者の比較ー
嵐洋子, 日本音声学会第 21 回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 2007 年 9 月
- ▼1939. 東京圏の言語景観ー山手線各駅調査と鉄道会社アンケートからー
田中ゆかり・上倉牧子・新坂望, 日本語学会 2007 年度秋季大会発表予稿集, 東京: 日本語学会, 2007 年 11 月
- ▼1940. 埼玉特殊アクセントの現在ー若年層のアクセントを中心にー
三樹陽介, 日本音声学会第 22 回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 2008 年 9 月
- ▼1941. 昭和初期の『ことばのゆれ』と放送での語彙規定ー漢語の読みを中心にー
塩田雄大, 日本語学会 2009 年度春季大会発表予稿集, 東京: 日本語学会, 2009 年 5 月
- ▼1942. 東京若年層の日常会話における動詞「違う」の使用
原田幸一, 日本語学会 2010 年度秋季大会発表予稿集, 東京: 日本語学会, 2010 年 10 月
- ▼1943. 神奈川県の JR 東海道線沿線地域における地名のアクセントについて
坂本薫, 日本音声学会第 24 回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 2010 年 10 月
- ▼1944. 特別講演 1「鼻濁音考」
上野善道, 日本音声学会第 24 回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 2010 年 10 月
- ▼1945. 神奈川県座間市と相模原市の方言における、「結果残存」を表す補助動詞「おく」
野島本泰, 日本方言研究会第 91 回研究発表会発表原稿集, 東京: 日本方言研究会, 2010 年 10 月
- ▼1946. 東京東北部のアクセントー「型」と「ゆれ」の観点からー
林直樹, 日本語学会 2011 年度春季大会発表予稿集, 東京: 日本語学会, 2011 年 5 月
- ▼1947. 首都圏若年層による動詞「言う」のテ形ウ音便の使用ー文頭部に使用される「ゆうて (も)」に注目してー
原田幸一, 日本方言研究会第 94 回研究発表会発表原稿集, 東京: 日本方言研究会, 2012 年 5 月
- ▼1948. 共通日本語におけるアクセント核の分布
トーマス,ダリン, 日本音声学会第 26 回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 2012 年 9 月
- ▼1949. 「～会」のアクセントの平板化と言語内的要因
儀利古幹雄, 日本音声学会第 26 回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 2012 年 9 月
- ▼1950. 日本語話し言葉コーパス (CSJ) に現れた形容詞アクセントのゆれについて
中川千恵子・田川恭識, 日本音声学会第 26 回全国大会発表予稿集, 東京: 日本音声学会, 2012 年 9 月
- ▼1951. 地理的言語データの統合的分析ー首都圏形容詞アクセントを事例とした試行ー
林直樹・田中ゆかり, 日本語学会 2012 年度秋季大会発表予稿集, 東京: 日本語学会, 2012 年 11 月

編者

吉田 雅子 （実践女子大学文学部 非常勤講師）

三樹 陽介 （国立国語研究所時空間変異研究系 プロジェクト非常勤研究員）

国立国語研究所共同研究報告 13-02

首都圏の言語の実態と動向に関する研究 成果報告書

『首都圏言語研究の視野』別冊

首都圏の言語に関する研究文献目録（稿）

2014（平成 26）年 2 月 25 日発行

編者 吉田雅子 三樹陽介

発行 JSPS 科研費挑戦的萌芽研究 25580103

新規言語事象の集中的多角的調査による首都圏の言語状況の把握

研究代表者：三井はるみ

大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立国語研究所

〒190-8561 東京都立川市緑町 10-2

電話 042 (540) 4300（代表）

<http://www.ninjal.ac.jp/>
